琉球大学学術リポジトリ

受講ノート：高野博士 統計學一

メタデータ	言語:
	出版者:
	公開日: 2018-04-16
	キーワード (Ja): 矢内原忠雄
	キーワード (En): Yanaihara Tadao
	作成者: 矢内原, 忠雄
	メールアドレス:
	所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/38510

矢内原忠雄文庫

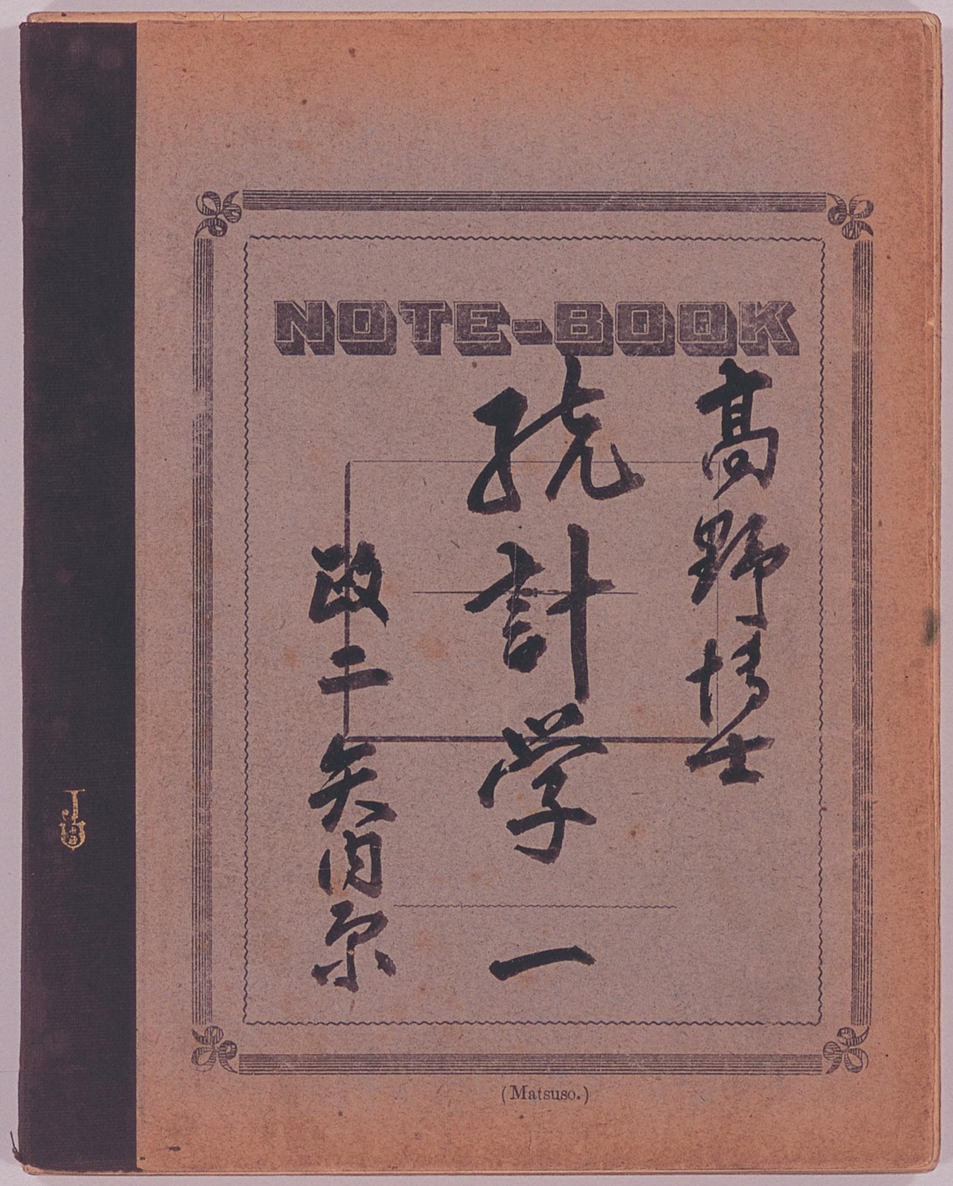
史　料　名	高野博士 統計學一［第一編 汎論］
封筒番号	548
原文所所蔵者	琉球大学附属図書館
撮影年月日	平成 17 年 11 月 24 日
撮　影　者	富士写真フイルム　株式会社
備　　考	

矢内原忠雄文庫

封筒番号： 548

史料名	高野博士 統計學一［第一編 汎論］
資料形態	ノート
枚　数	64
頁　数	128
縦（cm）	21
横（cm）	16.5
厚さ(cm)	
書誌的事項	受講ノート 記述は全頁にわたる 今泉分類記号： Y

琉球大学附属図書館


NOTE-BOOK
高野博士
統計学 一
改正矢内京
(Matsuso.)

Inches
Centimetres
KODAK Color Control Patches
© The Tiffen Company, 2000
Kodak
LICENSED PRODUCT
Blue
Cyan
Green
Yellow
Red
Magenta
White
3/Color
Black

1/10

統計学ノ定義.
社会現象ヲ観察シテ出来アガリタル数字(社会的数字)ヲ取扱フ学。
即 統計ノ力ニテ社会現象ヲ研究スル学。
統計学研究ノ困難
1. 統計作製ノ困難
2. 統計学ハ他ノ諸力群ニ遅ラズ
Young Science トハルル理論学ニ比シ
ナホ younger science ナリ
人口統計学
經濟統計学
道德統計学

Mayo Smith.
Part II. 理論統計論.
Part I. 之ヲ除キタル残部. アマリ簡略ニスグ

Schott, Statistik. 1913. (Geistesleben). aus Natur- und Welt

Statistik ノ譯語

明治初年 太政官、政表課置カル。

明治七年 津田眞道 訳、表記提要 一名 政表学論

統計学ノ語

政表学

全年 箕作麟祥 訳、統計学 一名 国政略論

スタチスチック

九年、杉亨二 スタチスチック。

——一者

——雑誌。

Status、Statistik トマガラズ。 Statistik ハ伊太利 A. 原語 Status ト同説

況ンヤ 英ヨリ 来レルマガシレルナリ。(吹天)

日家ノ有様ニ関スル学問ナリトモハルベカリ。異論トハヘシ。

第一編 汎論

第一章 統計学ノ歴史

第一款 Statistik ノ語源

統計学ノ語ハ Statistics. Statistique. Statistik ノ語ヲ訳セシモノナルガ 往前ハコノ外ニ政表学ナル語ノ如キヲ用ヒラレタリ 又我日ニ於ケル統計学ノ祖トモイフベキ杉氏ノ如キハ ミダリニ訳語ヲ用ヒズシテ原語ヲ用フベシトイヘリ。元来統計ハ合計スルコトヲ意味ス 而モ統計学ハ単ニ合計スル学ニアラサル故モノ語ハ適当ナリトハ言フヲ得サレド既ニ我日ノ学問界ニ於テ広ク此言葉ヲ慣用セルカ故ニ敢テ之ヲ改ムル必要ヲ見ズ、況シテ合計スル作用ハ統計学ノナスベキ我分ノ一部分ヲ表ハスニ適カナリ。然ラバ統計学トイフ語ノ原ニ溯リテモノ原語ガ如何ナル意味ヲ有スル語ヨリ出デシヤヲ研究スルニ、Statistik ノ語源ニ就テハ議ヲ久シク爭アリシガ 1860 ノ頃迄ハ独リ統計学者ハモノ語ガ羅典語ノ Status ヨリ来レルニ一致セリ。Status ハ元来「有様」トイフヲ意味シ後国家トイフヲモ意味スルニ至リ、故ニ学者ハ Statistik ハ語源ヨリ考ヘテ有様ニ関スル学問又ハ国家ニ関スル学問トナセリ

Achenwall. — Göttingen大学教授
Wappäus — Achenwall ニオクレテ Göttingen
ニ於テヤハリ Statistik ノ講義ヲ担ク

伊太利ノ諸ノ Venice ハ中古ニ繁栄シタルガ故ニ、自国発達上必用ノ事情ヲ集メテ政治地理トイフベキ知識ヲ生ジタリ。コレガ Ragione die stato 即チ Stato (condition) of state ト称スル学問ヲ生ジ、此ノ学問即チ応用政治学 practical politic トイフベキ学問ヲ心得ルモノヲ statista 即チ政治家トイヒ、更ニ政治家的ナル意味ノ statisticus ヨリ Statistic 及ビ名詞ガ出テタリ。(Latin 語ノ Status ガ変シテ Statistik トナリシニハアラズ)

B. Ragione di stato ヨリ出テタリトノ説
1861 (Wappäus)

然ルニ1861ニ至リ Wappäus ガ旧派統計学ノ祖ト呼ハルル Achenwall ノ手帳(manuscript)ニ就テ研究シ其成果ヲ人口統計論ニ公ニシテヨリ此問題ハ解決セラレタルモノト認メラルルニ至リ、之ニヨレバ Statistik トイフ文字ハモト Latin ノ Ragione die stato ヨリ起リ、Ragione di stato ハ国情論ヲ意味シ主ニ現在ノ国家現勢ニ関スル知識ヲ集メテ構成セラレテヲリテ中世ノ末伊太利ニテ Renaissance ト共ニ世間ノ需要ニ応ジテ起ルベキ学問ナリ。Ragione di stato ヨリ伊太利ガ statista ナル語ヲ作リ statista ハ statesman ヲ意味ス。コノ statista ガ更ニ形容詞トナリテ statisticus トナリ此ノ形容詞ノ形ニ於テ用ヒラレテ disciplina politico-statistica トイフ学問ノ名称起リ、之ヲ縮メテ終ニ statistica ナル語ヲ成スニ至リ、

斯ノ如ク統計学ハ其成保ニ倣ハント政治家ノ心得ベキ学問ヲ意味シ即チ此意味ニ於テ始メテ一ノ学科トシテ独立ノ大学ニアラハレタル其後ニ於テ主ニ発達セリ。後ニ独立派ノ統計学或ハ独立大学派統計学トイフヤウナ名ヲ以テ後ニ記ス政治算術派ノ統計学ヨリモ別セラル

統計学ノ起初ノ地位

Seckendorf. Deutschen Fürstenstaat. 1656
独ノ国家組織ニ関スル材料ヲ纏メテ書キシモノ

Conring. Herimstadt大学.
"Notices about public things"
コレラノ学問講義ヲ独ノ国家組織ガ始ッテ出来上ラントスル頃ノ時代ノ要求ニ応ジテ生ジタモノ

Conring

Notitia rerum publicarum (1660)

分類ガ大部門

国勢学

実際ノ始祖ハ Conring トイフベキナリ.
Statistik ニ於ケル Achenwall .. Political Economy ニ於ケル Adam Smith ニ比セリ (Wagner).

Achenwall

旧派統計学ノ始祖

第二款 旧独逸大学派統計学

統計学ノ起源ハ既ニ述ベタル如ク純然タル分類的記述的学科ニシテ政治家ノ心得ベキ種々ノ知識ヲ[1]地理[2]人口[3]資源等ノ事項ニ[4]ツキ秩序正シク排列シテ説明スルヲ職分トセリ. 而シテ斯カル学科カ始メテ講義ノ教目トシテ表ハレシハ第17世紀ノ後半ニ独ノ大学ニ於テセリ. ソノ講義ノ始祖ヲハ Conring トス. Conring ハ 1660年来 Notitia rerum publicarum ナル名称ノ下ニ欧州諸国ノ状況ヲ口述セリ. 即チ氏ハ Spain. Portugal. France. England. Germany 及 Turk. China Japan ニ至ル迄, 材料ヲ纏メタル[1]土地, [2]人民, [3]国家組織, [4]国家行政ノ形式, [5]国家ノ目的ヲ達スル手段即チ財政軍備等, 項目ヲ設ケ其下ニ材料ヲハ適当ニ配列シ因前後ニ分チタル迄ナリ. 而シテ独ノ大学ニ於ケル最初ノ Conring ニ倣ヒ同様ノ講義ヲ続ケル名目ノ下ニ同様ノ著ハシタル又之ニ倣フル著書ヲ発ニセシコトアリ. 但シ Statistik ナル名称ハ第18世紀ノ終リ頃ニ始メテ之ヲ別ニ学課ニ附スルニ至ルモマダト称セラル.

斯ノ如ク Conring ニ於テ始メラレタル科学ハ第18世紀ノ中葉ヨリ Göttingen 大学教授 Achenwall ニ於テ大ニ整頓セラレテ一ノ独立ノ学科ニ発達ノ十分備フルニ至リ, 氏ハ又此学科ニ対スル世人ノ興味ヲ喚起シテ此学問ノ普及ニ力ヲ尽ス後世氏ヲ呼ンデ旧派統計学ノ始祖トイフ。氏ノ説キシ所ハ後来ノ統計学ノ特色ヲ明ニスルヲ得ルヲ以テ之ヲ[1]指摘[2]説明セントス.

		1. Statistik ノ対象 國家顯著事項
Staatsverfassung. 國家根本制度. 國家. Staatsmerkwürdigkeit 國家顯著事項.	國家根本制度	
		II. 材料ノ分類法 土地 人民 < 自然人 / 國家
Staatsinteresse. 國家利益論 國家政策論 politic ナリ。 然レドモ之ハ今ノ所論ノ限ニアラズ。何ヲトスル國家顯著事項トスルカハ人ニヨリテ異ナル故、自己ガ特ニ國家顯著事項トスルモノヲ分類シテ政治家ノ考慮ニ供スルヲ本旨トス。	國家利益論	
		III. 記述ノ方法 (民族學) Ethnographische Methode. 要点 1. 實用的記述 2. 形式的說明

I. 先ツ國家内ニ現ハルル事項ニシテ其国ノ安寧幸福ヲ第ニ進捗スル迄ニ実ハレタル国家顯著事項ニアラズ 国家顯著事項ノ全体ヲ国家根本制度トイフ 名ハ、国家根本制度ニ関スル学問ガ即チ所謂Statistik ナリ 即チStatistik ハ一般ニ抽象的ニ国家ノ理論ヲ論スルモノニアラズ 現ニ存在セル国家ニ就テ一々説明ヲ試ムルモノナリ。

II. 第二ハ Statistik ニテ扱フ目的物タル国家顯著事項ハ之ヲ大別シテ土地及人民トナスヲ得、土地ニ就テハ政治上重大ナル関係ヲ有スル一切ノ地理的事項殊ニ土地ノ産物ヲ論ス、次ニ人民ニ就テハ関係ノ方面ヲ二ニ分チ一方ニ於テハ自然人トシテ人民ノ数並ニソノ自然的及肉体的(精神的)性質能力ヲ説キ他ノ一方ニ於テハ之ヲ国民トシテ観察シ其国ノ安寧及百般ノ行政組織ヲ説クノ必要アリ。最後ニナホ国家利益論ヲカヘ名国家ガ其国ノ幸福ヲハ内外ニ進ムカ為メニ取ルベキ政策ヲ論スベキナリ。

III. 第三ニ Achenwall ガ国家顯著事項ヲ記述スル方法トシテ採用セル国別法即チ各国別ニシテ順序ヲ追フテ記述スル方法ニシテ之ヲ Ethnographische Methode トイフ。

要スルニ Achenwall ノ言フ所ノ所謂 Statistik ハ処ニ於テハ国家ヲ以テ境トシタル狀況ニ限リ実用ヲ事トシテ組織セラレタル記述的 descriptive ノ学問ナリ、事実ニ基イテ国家現象ニ関スル面地面則ヲ発見スルカ如キ其ノ努メタル処ニアラズ、又主ニ国家ノ形式的ノ方面ヲ観察セルカ故ニ数

Achenwall ノ政治学ハ数字ヲ研究セス.
Wagner ノ評言.
Achenwall ガ数ヲ除キシハ便宜上ノ理由ニ由リシ
又 Land und Leute 等ノ説キテ多ク行政区域
等ノ主トセルニアラサル故 比較的口数ヲ主眼トセル
ニアラサルハ明カ

3. 比較的口数注意

Büsching

Büschingische Methode (1758)
(学説の起源)

1. 実際的経済的事実ノ蒐集

2. 理論面別ノ発見

数字的材料ノ増加

Anchersen
(数字的表) (1741)

5

学的材料極メテ乏シカリキ. 但シ其実際的ノ際ノ諸口ノ事ヲ論述セントスル其外就中見レバ「比較的口数」ノ説ヲ呈セリ。」
Achenwall ノ事実ヲ記述スル口別ニ ヒリタリシカ氏ハ
後年ニナラ地理学者トシテ有名ナル Büsching ガ 1758年ニ
事項ニヨリテ各国ノ材料ハ配列スルノ可ナルヲ唱ヘタル故ニ
此ノ方法ヲ称シテ Büsching 法トイフ. 要来国家ニ関スル形式的政治的事実ハ簡単ニシテ配列シテ比較スルニ不便ナルニ反シ実際的経済的事実ハ密多ニシテ数字ニアラハスヲ得又比較ニモ便利ナリ. 故ニ Büschingische Methode ヲ採用スレハ自ラ後者ノ事実ノ分量多キヲカネテ. 又此方法ニセハ一定ノ項ニ関スル各国ノ材料ヲ同時ニ配列セラルルカ故ニ又自ラソノ内ニ存在セル原理面別ノ発見容易ナリ、併セテ比較ノ Büsching 自身モ. 又其後ニ傚ヒシ人モ特ニ注意シタルモノナカリシナリ。
Achenwall ハ又事実ヲ記述スルニ主トシテ文章ヲ用ヒテ数字ハ
ハ其補助トシテ採用シタルニ過キサリシカ一般住居, 交通, 所謂
宮庭統計, 直税ニ伴ヒ数字的ノ材料次第ニ多クナリ, 後ニハ
之等数字的材料ヲ他ノ非数字的材料ト併セ一国ノ国家的事実ヲ眼ニスルヲ得ル如キ表ニ作ルヲ起リ, 此ノ点ニ
於テ Achenwall ト同時代ニ于ル, 学者 Anchersen
ガ 1741年ニ始メタリシカ久シキ間ニ傚フモノナカリシ 19世紀ノ七十年代ニ到テモ頻ニ発行セラレタリ。数字的ノ材料ヲ更ニ幾何的ノ図ニアラハスヲモ (graphical) 1782年ニ発ノ

Tabellenstatistiker 政表家
Tabellenknecht

Crome
(graphic) 1782

Schlözer

1835歳

Schlözer ハ面白キ言葉ヲ発シタルモノ。国体学、政治上ニ於テハ一頁価ハ値アリ。

vires (原動力)
unitae (原動力ノ状態)
agunt (原動力ノ行動)

然レ共統計学ハ時代ノ内ハ一国情ヲ記述スル学ナリトスル説ハ然レモ多クノ人ハ之ニ反対シ現在ノ情ヲ記述スルモトス。和ノ如ク政治家ハ勿論、学者タル統計学者教授ハ皆之ニ反対ストス。
Schlözer ハ史学ニ用ヒ統計学ハ教ヘ難シト云ヘリ、然レモ今日ハ統計学ハ一科トナルニ至ル。

学者 Crome カ之ヲ始メテ行ハシタリ。従来ノ Achenwall 派ノ学者ハ甚シク之ニ対シテ感情ヲ抱キ之等ノ人々ハ嘲リテ政表家或ハ表ノ奴隷ト称セリ。併シ之等ノ嘲弄ハ勿論一時ノ感情ニ過ギズシテ所謂政表家モ旧派ノ統計学者ト共ニ事実ヲ記述スルニ努ムルニシテ政表家ハ言語ヲ以テセスシテ主ニ数字ヲ利用シテ表ヲ作リ図ヲ作リタルニ過ギザルモノ。

Büsching ノ方法ハ当時世ノ賞讃ヲ得タリシガ久シキ間之ニ倣フモノナカリキ。又用表用図ノ方法ハ在来ノ学者ノ嫌ヒシ処ナルカ Achenwall 以後ニ出テタル多クノ統計学者ハ常スルニ Achenwall ノ跡ヲ追ヒテ甚タ大同小異ナルニ過ギサキ。然ルニ十九世紀ノ始ニ至リ Schlözer 出テテ Achenwall ノ説ヲ敷衍増訂シ旧派統計学ノ理論ヲ一層明カナラシメタリ。Schlözer ハ Achenwall ト同ジク統計学ヲ国家学ノ一部分トナシ国家ノ顕著ナル項ヲ説明スル学科ナリトシタルモ大ニ国家ノ実質的経済的ノ項ニ重キヲオキ且ツ或ハヘタ精密ナル数字的ノ材料ヲ採用スルニ力ヲトメタリ。統計学ノ材料ハ氏ノ言フ処ニ従ヘバ vires, unitae, agunt ナル各方式ノ下ニ簡単ニ掲ケタリシ得。vires ハ原動力ヲ意味シ土地人民生産物並ニ流通貨幣ヲ指ス。unitae ハ原動力ノ結合ヲ意味シ国家組織ヲ称ス。agunt ハ原動力ノ行動ヲ意味シ政府及行政ヲイフ。而シテ此ノ簡単ナル方式ノ下ニ掲ケタリセラルヘキ材料ハ独リ現在ニ関スルモノニ限ラズ、先人ノ若シクハ一定ノ時其月ニ於テ下史ヲ異ニシ、コノ異ニシタル有様ニ於テ国家ヲ記述スレハ

Niemann. Kiel大学教授

Niemann

1807

「政治的予測 統計的」

旧派統計学ノ衰運終ニ

従来ノ統計学者ハ独リノ日情ヲ統計学ニヨリテ論ジ自国ヲ極ム強大ナルノトセリ。然ルニ Napoleon ノ一撃ニ遂ヒテ細等ハ驚愕セリ。

Lüder

此処ニ過去ノ統計学ヲ作リ得、かかる訓来ヒテ Schlözer ハ甚タ有名ナルモ甚タ曖昧ナル立場ヲ出ヘタリ 即チ氏ハ曰ク「統計学ハ静止セル史ニシテ史ハ進行スル統計学ナリ」ト。

Schlözer ニ次テハ 1807年ニ Niemann カ地学科ノ地位ヲ明ニシ殊ニ国家ノ政治的予測ト共ニ社会的予測、即チ国民ノ独自的 個性的ノ予測ヲ併セ説クヲ要スルヲ論ジタルヲ以テ最モ有名トシ、其他ノ人々ニ至リテハ特ニ挙クルニ足ルモノナシ。独リ以外ノ諸国ニ於テモ十八世紀終マテハ僅カ独リ影響ヲ受ケテ地学ニ関スル著述アラハルルニ至レリ。

斯ノ如ク旧派ノ統計学ハ Schlözer、Niemann 等ニヨリテ稍々面目ヲ改メタルモ他方ニ於テハ統計表ノ性質範囲等ニツキテ学者ノ意見統一ヲ欠カ又地派ノ学者カ頻ニ戦メタリシ所謂政表家ハ実際ニハ着々功ヲ奏スルニ至リ遂ニ十九世紀ノ始ニ於ケル政治上ノ大変カ国家ノ強弱ニ就テ従来統計学ノナシタル豫言ヲ打破リテ既ニ天地カ Napoleon ニ蹂躙セラレタルヲシテ独リ Göttingen 大学ノ教授 Lüder ハ永キヲ従旧派統計学ノ為ニ力ヲツクセシニモ拘ラス断然之ヲ攻撃スルヲ始メ統計学カ不確実ナル材料ニヨリテ国々ノ real ノ力ヲ測ルハ笑フヘキ空想ニシテ従来ノ統計学者ハ何等貢献スル処ナキ無用ノ長物ナリト罵リテ此ノ学科ノ破壊ヲ試ミタリ。併シ乍ラ此ノ Lüder ノ攻撃ハ痛切ナルモノアリシモ当時格別ノ反響ナクシテ止ミタリ。蓋シ国家ノ状態ニシテ政治上重要ナ

Industrial Revolution ハ数字的科学ヲ興ス

新旧両派ノ分離

1835

旧派学風今日迄伝ハル

大学

英国

ハ事項ニ関スル記述的ノ学科ハ今モ昔モ其効用ヲ感セラルル所ニシテ若シ Lüder 氏ガ統計学カ此需求ニ十分応スルヲ得ストスレハ進ンテ其改良ヲ計ルカ至当ニシテ、不完全カラシメタル直ニ根柢ヨリ破壊ヲ試ミルカ如キハ到底極端ニ馳セルモノト云ハサルヘカラス. 故ニ Lueder 以後ニカレモ旧派ノ統計学ハ依然トシテ続キ多ク著述世ニ出ツタリ、彼等ノ著述ハ往来アラハレレトモ要ノ国家ノ経済的社会的状態ヲ顧ミル了解カ多クナリ、且ツ数字的ノ材料ニ表ノ利用ヲ甚シク増セリ

斯ノ如クシテ旧派統計学ハ其外観ニ於テ新派ノ政治算術派ノ統計学ト類似シ来リシカ元来事実ノ分類記述ヲ任トセル学科ト事実殊ニ数字的事実ニヨリテ其中ニ共通セル通理通則ヲ発見セントスル学科トハ其目的性質ヲ異ニスルヲシテ安ニ之ヲ合同スト能ハス、政治算術派ノ発達ニ伴ヒ分離ノ必要益々明カトナリ遂ニ1835年ニ新学派ノ大家タル Quetelet ノ著書出ツルニ及ヒ二学派ノ相違著シク明カトナリ茲ニ或学者カ二者ノ調和ヲ試ミタルニモ拘ラス遂ニ Statistik トイフ学問ノ名称ハ旧学派ニ取リ去ラレテ新学派ニ冠セラルルニ至リ 爾来ソノ中ニ於テモ旧学派ノ学風ハ依然トシテ大学ノ中ニモ又著述界ニモ存続シ伝ヘテ今日ニ及ヘリ、大学ノ中ニ於テモ此学風ヲ伝フルモノハ墺太利ノ大学最モ著シク、同国ノ大学ニテハ講義ノ教目トシテ常ニ墺太利統計学又ハ欧羅巴各国統計学等ノ名称行ハレ今日ニテモ一般ニ此教授及ヒ墺太利統計学ナル名称普通ニ採用サルル又著述界ニ於

Kalwer.—"Weltwirtschaft" 独国ノ経済
事情ヲアツカヒnasニテ年々ニ出ス
Neumann-Spallart ノ書モ立ト
同性質ノモノナリ

新派統計学ト英国

Mulhall. 便利ナ本ナレトモ材料ハ玉石混
淆ナリ、人ヲ誤リヤスシ。

17.8世紀 Mercantilism. 先国ガ国勢ヲ発達セシメントス。
ソノ勢ガ拡ビニ之伴ハリ先国ノ国情ヲ知ルガ為ニ旧派ノ
政治学ガ起ルモ偶然ニアラズ (政治地理)。

John Graunt
1662

実験科学 …… 英吉利ニ起ル Bacon 以来。
実験的ノ学風ガ先ヅ自然的現象ニ用ヒラレ次ヲ社会的
現象ニモ起ル。英国ニ於テハ実験的社会現象研究
ガ早クヨリ備ハリ。1537 Henry VIII ノ時人口
登録ノ法発行。 (政治算術)。

論文ノ要点
A. London ノ死亡
1. 男女数ノ割合
2. 出生ノ男女ニ対スル
3. 死亡数ト出生数
4. 移住
5. London ト England

Graunt 以ハ呉服ノ小売商人 (John ノ統計学者)。
呉服屋ノ番頭ー中官ノ番頭数ヲ一 London 市庁ノ役人ニ選ル。
Royal Society 1660年ニ立ツ。62年ニ Charles II
ガ之ニ Charter ヲ与ヘ之ヲ Royal ト名ヲ冠ス。
Graunt 後ハ "Philosophical Transactions." 論文集ニ
ノセラル、彼ハコノ会員ニアケラレタリ

テハ例ヘバ Mc Culloch ノ著ル Statesman's Year-book ニ至ル迄多々ノ著書ニ於ケル学科ノ系統侍ハル。

第三款 新政治算術ニ派統計学

旧独乙大学派ノ政治学ニ代リテ出ル Statistik ハ名称ヲ得ルニ至ル所謂政治算術ハ第十七世紀ノ半頃ヨリ独乙ノ旧学派ガ独乙ニ起ルト時ヲ同ジクシテ彼ノ実験科学ノ興隆ニ乗ジテ英吉利ニ起リ即チ1662年ニ London ノ小売商人ノ出身ニシテ London 市庁ノ役人タリシ John Graunt ガ London ノ材料ニ基キテ一片ノ論文ヲ草シテ ~~London ノ出生死亡~~ 之ヲ Royal Society (公立理学協会) ニ提出シタリ。ソノ文ハ概シテ "natural and Political Observations" etc. ト称シ全ク1603年以来 London ノ材料ニヨリテ絶々ノ研究ノ結果ヲ述ベタルモノナリ。其主ナル点ヲアラハセバ、A. (1) 人口中ニ於ケル男女ノ数ハ略同数ナルコト。(2) 男ノ出生ハ常ニ女ニ勝ル。(3) London ニ於ケル死亡数ハ其出生数ニ勝ル。併シ London ノ人口ガ絶ヘズ増加スルハ外部ヨリ人口ノ夥シク流入スルヲ証明スルモノナリ、而シテ地方ノ小都会ハ常ニ人口減ウス。(4) 戰爭ト移住トニヨリテ男女両性間ノ適当ナル比例保タル。(5) London ハ England ナル body ニ対シテハ餘ニ大ニシテ又怖ラク餘ニ強キ

1. 今日ニ目的

2. 男14：女13. コノ比例ハ今日ソノマヽニハアラサレドモ男ノ方ガ婚女ヨリ出生多キハ古今東西ヲ問ハス

3. 出生数ト張ラナイハ洗礼ヲ受ケル者ノ数ナリ。人口ノ分配ニ就テハ代表ノ分配率ヲ要スベシト論ス。(小都会ト大都会)。

4. Quetelet ハ此点ニ就テ名ヲナシタリ。

Graunt ノ文ハ実ニ Petty ノ作ナリトノ説アリ。(Halley 等)
Hall, John 等ハ之ヲ Graunt ノ作トス。
Petty ノ人格ハ山師的ナリ。

Graunt
死亡率 100人中6才迄ニ36人、16才ニ至ル24人、26才ニ15人……。

Petty.
1. Graunt ノ研究ヲ一層多方面ニス
2. P. a. ナル名ヲ用ヒシ。

6. 婚姻ト出生

7. 自殺、発狂、溺死、堕落

8. 人口、人口ノ集団

9. 年齢階級ノ死亡率

数字的材料ヲ主ナル基礎トセル社会的研究

Petty.

人口問題、経済問題

"Political arithmetic"

Halley 1693

年齢ニ就テノ死亡率

head ナド、即チコノ頭ノ部分ハソノ身体 body ヨリモ増加ノ速度ニ傾ケリ。(6) 婚姻一ニ就テ平均四人ノ出生アリシト。(7) 発狂、自殺、溺死、堕落等ニ関シテモ一定ノ数字的関係ヲ認メタルヘキカ如キモ之等ノ事柄ハ大ニ土地ノ状況、季節、職業ニ影響セラレ未タ学問上確実ナル政策ヲ得タリト云ハサルヘカラス」更ニ出生死亡名表ヨリ全国ノ人口ヲ算定セリ又一歩ヲ進メテ年齢ノ階級ニ応シタル一般ノ死亡率ヲ設定セリ。斯スルニ数字的材料ヲ主ナル基礎トシテ社会的研究ヲナシタルモノニシテ吾人ハ直ニ之ニヨリテ旧派統計学ト異ル明ニスルヲ得。タトヘ Graunt ノ利用シタル材料ハ氏自ラ認メタル如ク不完全ニシテ往テ研究ノ成果モ亦不十分ナリシカ、社会的研究ニ一ノ新方面ヲ開拓シタルモノニシテ当時著ル世ノ賞讃ヲ博シタルモ当然ニシテ後ニ統計学上最初ノ論文ト称スルヲ得ヘキナリ。

Graunt ニ次テ其友人 Petty カ同ジ範類ノ研究ヲナシテ一段ノ進歩ヲナセリ。Petty ハ ① London, Dublin, Paris, Rome 等大都会並ニ英仏蘭等ノ諸国ノ材料ニ基キテ人口ノ問題並ニ経済上ノ問題ニ就テ有益ナル結果ヲアゲ ② 其研究ハ "Political Arithmetic" 等ノ著書ニアリ。即チ Political Arithmetic ナル名称ハ Petty ノ比ノ新学科ニ附セラルルニ至レリ。

以上二人ニ続イテ London ノ有名ナル天文家 Halley カ 1693年ニ独リ Breslau ノ死亡者ノ表ヲ材料トシテ各年齢

Halley 高等教育ヲ得ル
Breslau ハ人口ノ増減ナキ地ナリ.
(stationary population). Halley ノ友人 Neumann ハ Breslau ノ人口統計ヲ得タリ.

研究範囲ノ拡張.

Süssmilch. geb. 1707 in Berlin.
Jena ノ Halle ニ於テ数学ヲ法律、次ニ医学、次ニ神学ヲ研究ス. General ノ家庭教師トナル. ソコデ物質ヨリウケテ統計的ノ研究ヲセントト伝ヘラル年代.. Achenwall ト殆ト同一ナリ.

Süssmilch

1741

野心ニ於ケル Achenwall

研究ノ要旨 人口現象
1. 婚姻ヨリ出スル出生数ハ Graunt ト同ジク4人ト計算ス
2. 男女数ノ比ハ今日モ同様ナリ. 100:105 = 20:21
氏ハ此ノ比例ニ於テ一様ナル神ノ秩序ヲ見タリトナリ

1. 婚姻
2. 出生

mortality table ニ於ケル死亡率表ヲ算出セリ. Halley 以後英国並ニ其他ノ国ニ於テ Halley ニ倣ヒシモノ少カラズ. 又 Graunt. Petty 流ノ研究ニ従フモノ人ヲ多カリキ. 併シ乍ラ要スルニ 17世紀ノ末ヨリ 18世紀ノ半ニ亘リテ出テタル著書ハ多クハ人口数ノ見積リ、又ハ人口ノ低カルベキ時期ノ算定、若クハ保険業ニ応用スル為ニ死亡率ノ計算ヲナスカ如キ研究ノ一方ニ偏シテ未タ厳密ニ科学的ニ人口問題ノ全般ヲハ系統的ニ論述シタルモノアラサリキ. 此ノ欠ヲ補ハントシタルモノハ Prussia ノ僧侶 Süssmilch ノ書ニ始マル. Süssmilch ノ著書 "Die göttliche Ordnung in den Veränderungen der menschlichen Geschlechts, etc" ト題セラレ 1741年ノ出版ニカカリ更ニ増補セラレテ第二版ハ 1761年ニ公ニセラレタリ. 氏ハ此著書ニ於テ新派統計家ノ業ヲ開キ故ニ人口論ニ於ケル Achenwall ト同様ノ位置ニ立ツモノナリ.

Achenwall ガ実用ヲ目的トシテ国家ノ現状ヲ記述スルニ努メタルニ反シ Süssmilch ハ数字的材料ニヨリテ婚姻出生死亡人口増加等ノ人口現象ニ就テ通則ヲ見出スヲ主トセリ. 今 Süssmilch ガ独リ外ニナホ英仏蘭瑞典及ビ伊等ノ諸国並ニ之等ノ諸国ニ於ケル大都会ノ材料ヲ少カラズ集メテ之ニヨリテ研究セル結果ノ主ナルモノヲ挙ゲハ、彼ハ先ヅ①年々ノ結婚ノ数ヲハ人口ノ数ト比シ又婚姻ヨリ生ズル出生ノ数ヲ論ス. 次ニ②出生ニ就テハ出生児ノ男女ノ関係ハ一定ノ秩序アリ凡ソ男21人ニ対シテ女20人ナリト

出生数ニ対シテ都会ト田舎トヲ比較シテ考フベシトス

婚姻時期ニ於ケル女ノ方ガ男ヨリモ多シ之ハヤハリ神ノ法則ニシテ男ノ戦争ノ為ニ婚期ノ女ヲ取リテ方ケルナリトス。

3. 死亡

4. 人口増加

5. 原因及ビ対策

道徳現象

神ノ秩序

説明ノ方法

(外形ノ演繹的)

物的的

説ケリ。③. 死亡数を人々、男女別、年齢ノ差等ニヨリテ一定ノ規律存在スルコトヲ説キ且ツ死亡率ヲ計算セリ ④. 死亡数ト出生数トヲ対比シ後者ガ常ニ前者ニ勝リ従テ人口ハ常ニ増加ス、而シテ此ノ差ノ生ズベキヲ論ジルノ論ス。⑤. 之等ノ人口現象ニ影響ヲ及ス種々ノ現原因ヲ探リ又之等ノ為ニ採ラルベキ政策ヲ述ベタリ。

要スルニ Süssmilch ハ人口統計ニ関スル材料ヲ多ク集メテ之ニヨリ巧ミニ利用シテ人口現象中ニ存在セル種々ノ通則ヲ発見シ知ルベキトヲ示スヲ得シ但シ氏ハ人口現象、殊ニ人口道徳的現象ニモ亦一定ノ秩序ガ存在セルヲ信ジ此点ニ於テ彼ハ Graunt ト同ジク後世 Quetelet ニヨリテ用ヒラレタル道徳統計論ノ魁ヲナスモノト言ハン。氏ハ此等ノ通則ヲアケテ婚ニ一見不規律ナル現象ノ中ニ自然的秩序アルヲ讃美シタリシカ氏ハ元来宗教家ナルヲ以テ此ノ秩序ヲ神ノ意思ナリ神ノ定メタル秩序ナリト説キ、例ヘハ人口増加ノ迅速ナルモ聖書ニアル神ノ言 即チ 産ミ殖エヨ 殺セ 産ミ殖ヤセ 産ミ殖ヤセ ettc. ノ命令ノ実行ニスギズ、又一夫一婦ノ為ニ男女数ノ大差ナキコトニヨリテ甚天則ナルコト明カナリトセリ。かくの如く Süssmilch ノ説明ノ方法カヲノ外形ニ於テ演繹的ニシテ先ツ明示又ハ推定ノ神ノ意思ニ基ク秩序ヲ信ジ之ル後ニ予実ヲ以テ之ヲ証明セントセリ。実ハ彼ノ推理ノ仕方ハ全ク物的的ナリ、氏ハ統計的材料ニヨリテ発見シ得タル通則ヲアケテ之ヲ神ノ秩序トナシタルニ過ギズ、又氏ノ集メタル材料ハ

功労

Malthus. abnormal ナル材料ヲ normal ナルモノトシテ之ニ擬シタル点アリ。

Malthus ノ悠歓後ハ彼自身及ソノ者ガノ英国ノ情況ニヨリ、英国ニテハ Mercantilism ノ人口増加論ニ対スル反動ノ時代ナリキ。

Malthus ノ書ハ人口統計論ニ基ク、論スベキモノニアラズ。寧ロ人口政策論ノ視ルベキモノトスル。

Malthus + 人口論 1798

其他特別問題ノ研究者

Laplace
Fourier

甚タ不完全ナルニ拘ラズソノ論統大略ニスギテ寧ロ附合ノソシリヲマネカレタルカナリキ。要スルニ、若者ハ上述ノ如キ欠点アリシ為従来ノ改良算術的ノ学者ノ部分的研究ニテ一歩ヲ進メコレニテ一層言ヒ易カラズ見地ヨリ社会現象ヲ研究シテ新版統計学ノ基ヲ築キシ功労ヲ認メザルヲ得ズ。

Süssmilch ノ著ハカヽル如ク偉大ナリシモノナルニ拘ラズ Achenwall ノカラニ劣ル一学科ヲ呼起スニ至ラザリキ。Süssmilch 以後 1835年ニ Quetelet ノ著ハ人間論ノ現ハルル迄七十餘年ヲ統計学上特ニ重要ナル著ハ公ニセラレザリキ。タヾ 1798年ニ出テタル Malthus ノ人口論ハ人口ニ関スル種々ノ統計材料ヲ集ミ又此材料ニ上ル議論ノ基ヲ形ヅクリタルニ拘ラズ、ソノ本質ニ於テハ単ニ人口統計論ニ属スルモノナラズ。併シ此人口統計ニ一定目的ヲ与ヘ其応用ノ甚タ広クスベカラザルモノアルヲ示シタル点ニ於テハ此学問ノ上ニ甚タ功労アリ。然レドモ著者 Knapp ガ評シテ曰ク、若シ Süssmilch ヲシテ前人ノ論説ヲ綜合シテ人口統計ニ形体ヲ与ヘタル功アリトスレバ Malthus ハ此形体ニ向テ精神ヲ吹キ入レタル (einseelen) 人ナリトイハルル甚タ色ヲ得タリトイフベシ。而シテ Malthus ハ外ニ種々ノ特別問題ヲ研究シタル著者数ヲカラザルナリ。教学ノ応用ヲ人口現象ニ試ミタルモノニアラザレバ保険事業ノ応用ヲ目的トセルモノヽ外ハソノ数甚タ少キモノニシテ

1829年の論文 — Guerry et Balbi.
仏国司法行政年報 1825年以来.
1830年 — 仏国道徳統計 — 銀行, 論文 及び
英国 〃 〃 犯罪

Guerry 1829
道徳統計論, 犯罪

Quetelet.
人口統計
道徳 〃

Quetelet

(1) Augusto Comte, 実証哲学. …… 研究対象.
(2) Industrial revolution. — 社会的政治的, 経済. 数学的研究, 望遠…… 材料

1766 Ghent に生ル. 18才 Ghent の Gymnasium, 教育, 教師になる
24才 Akademie der Wissenschaften, 会員になる
1826 Quetelet, 長官 Brussel に天文台が出来 28年に初代長官となる. 出来 次々の統計, 方に年々染む

著書
人論 1835

天文学 … observation. → natural law を発見セントス
人事社会 … observation

研究, 主眼

方法
範囲

也等, 学者ハ自ら主トシテ人口統計, 範囲ニ限ラレタリ. 然ルニ 1829年ニ至リ佛人 Guerry ガ19世紀, 始メ以来トトノヒタル仏国, 犯罪統計, 材料ニヨリテ小論文ヲ公ニシ該ニ始メテ道徳統計論, 予実上, 語源ヲ開クト称セラル.

然ルニ Guerry ト殆ド同時ニ出テタル人口統計並ニ殊ニ道徳統計ニ亘リテ高人, 語源ヲ作セシ者, 自家, 集メタル材料, 為シタル研究ヲカヘテ一定, 方針, 下ニ全部ヲ系統的ニ論述シテ一方ニハ政治算術派統計学ハ大成シ他, 一方ニ数学者天文学者タル Quetelet ナリ. Quetelet, 此学問ニ関スル著名論文ハ略シテ以下ノ通リニ決メシ.

1. Sur l'homme etc. 1835 (人間論).
2. System sociale 1848
3. Physique sociale 1869
4. Anthropometrie 1870 (人体測量論)

Quetelet ハ人事, 生活中ニ存在セル法則ヲ発見スルヲ以テ研究, 主眼トシ此目的ヲ達スル方ニ全然選擇法ヲ排除シテ専ラ数学的, 材料ヲ集メ之ヲ吟味スル方法ヲ採リ Quetelet ハ研究, 範囲ハ多クハ単純ナル人口現象ニ止マラズシテ更ニ人事精神的道徳的現象ニモ及ヘリ. 元ハ社会人トシテ人事ヲ研

数学的材料、心的現象研究ニ於ル人間学

犯罪ト年齢トノ関係。25才ヨリ以下犯罪数ノ極大トス、男ハ女ヨリモ身体ニ対スル犯罪多ク、女ハ男ヨリモ財産ニ対スル犯罪多シ。

Q氏ガ未ダ研究セスシテ後人ノ研究ニヨレルモノハ較價ノ多少ト犯罪トノ関係ハ、後人之ヲ研究シタル結果較價ノ高低ト犯罪ノ多少ト相 parallel ノ関係ニ及ヒ較價ノ高低ト身体ニ対スル犯罪トノ関係ハ reverse ナリ
〃 財産 〃 parallel ナリ。」
然シテ今日ハ立第ノ関係明カナラサルニ至レリ。

道徳統計論トイフモ不道徳統計ノ方多シ、主ナルモノハ犯罪統計ナリ其外ニ私生児、売淫、離婚ノ統計等アリ

功績

1、人口統計論

2、道徳統計論

犯罪

1、犯罪ノ種類

2、犯罪ト社会

欠点

1、犯罪現象ノ見解不明瞭

究スルニ止ラス実ニ個々独立ノ自然人トシテノ人ニ就テモ研究セリ。故ニ換言スレハ彼ノ研究ハ一方ニ於テハ社会学的ナリモ他ノ一方ニ於テハ人類学的殊ニ人体学的ナリ、斯ノ如クニシテ彼ハ人ニ関スル社会学的ノ観察ト自然科学的ノ観察トヲ併セテ人ニ関スル一ノ完全ナル研究ノ結果ヲ出サント欲セリ、換言スレハ彼ハ「数学的材料、心的現象ニ於ル人間学」ナルモノヲ形成セントヲ試ミタルモノナリ。

今所カQuetelet ノ統計学上ノ功績ヲ挙ルニ先ツ人口統計論ニ於テハ彼ハ多クノ材料ヲカヘタルニスギズ、ソノ研究ハ前人ノ為シタル所ニ一歩ヲ進メタリト称スルヲ得ズ。而ニ道徳統計論ニ於テハ確ニソノ創設者タルノ名誉ヲ負ヘルモノナリ

Quetelet ハ論ノ、犯罪統計学ニ於ケル、犯罪統計ニシテ犯罪ノ数カ年々驚クヘキ秩序ヲ以テ繰返サレ犯罪ノ種類ハ逐年然ル程度ノ割合ニテ規則正シク行ハルルヲ説ケリ。又犯罪ト年齢、男女別、季節、気候、職業、教育、貧困ノ程度、社会的地位ノ高下等トノ関係ヲ論シテ社会ハ実ニ其中ニ犯罪ヲ育クム基礎ヲ含ムト説キテ大ニ世人ノ注意ヲ惹キタリ

但シQuetelet ノ犯罪現象ニ関スル見解ハ明瞭ヲ欠カ大体ニ於テ氏ハ犯罪ヲ以テ一面ハ其発生ノ原因外界ニ存シ他ノ一面ハ各犯罪者ノ自身ニ有ルカラ考シタルニ、又往々犯罪ヲ惹起スルハ社会ニシテ各個人ハタハ其機械トナリテ犯罪ヲ起スニ過キサルノミナリト言フルニ至アリ、此点ハ果シテ人ニ責任自由意思アリヤ否ヤノ問題ニ関係シ大ニ学者ヲ

(2) 人命統計時代の区分

3. 人類学殊に人体学

4. 平均人間 Homme moyen

penchant au crime トハ
犯罪総数ヲ人口ニテ割リタル一人宛ノ犯罪平均数ヲイフ

議論ヲ惹起シタリ。　又氏ノ利用シタル材料甚タ少ク而シテソノ論旨ハ多方面ニ渡リテ大略ニ失シタル欠点アリ。併シ乍ラ翌スルニ氏カ直接統計論トカ特方面ノ統計ニ向ヒタル功績ハ之ヲ賞讃セサルヲ得ス。尚ホ彼ノ Knapp ガ Malthus ニ対シテ下シタル説ヲ引用シテ Quetelet ハ実ニ犯罪統計ニ精神ヲ吹入シタル人ナリト評セシト欲ス。

(第三) Quetelet ハ更ニ此研究ノ範囲ヲ広メ全一ノ方法ニヨリテ人間ノ身長、重量、腕力、呼吸、脈搏ノ数等ヲ測定シテ人類学殊ニ人体学ノ範囲ニ侵入セリ。コレラハ理学者タル Quetelet ニトリテ怪シムベキモノニアラスト雖モ、之ヲ以テ人間ニ関スル社会学ト全一ノ題目ニ置キタルハ当時ノ学術ノ進歩ヨリ見テ頗ル興理ノ業ト言ハサルヘカラス。Quetelet ガ此点ニ於テ成功セサリシハ寧ロ当然ナリ。

(第四) Quetelet ハ人間ニ関スル各方面ノ研究ヲ綜合シテ茲ニ氏ノ所謂 homme moyen 平均人間ナルモノヲ案出セリ。平均人間トハ凡テ人間ノ精神的肉体的能力性質ニ関スル測定ノ平均ヲ集メテ抽象的ニ構造セルモノナリ。換言スレバ一国人民ノ身長、重量、腕力等ノ平均ト、其平均ノ生存年齢、平均婚姻年齢並ニ氏ノ所謂犯罪ノ傾向 penchant au crime 等ヲ合スレバココニ其国ノ平均人間ヲ生ズ。此平均人間ヲバ其国民ノ typical 且ツ normal ナル人間ナリ又善ト美ノ権化ナリト見做セリ。

コノ平均人間思想ハ Quetelet ノ晩年ニ至ルマデ常ニ好ンテ用ヒシ処ナルカ到底一奇想タルヲ免レズ。蓋シ人間ニ関スル

然ルニ平均ノ集ケテ役ニ立ツ人ト見ナスハ必スシモ不当ナラス 何者カ以テ人民ノ type ナリ、normal ナル人ナリト見做スハ夫自身ノ考トシテハ誤リ、何トナレハ平均ハ必スシモ type ニアラズ normal ニアラサレハ也、況シテ所謂平均人ヲ以テ美ト美ノ標化ナリトスルハ甚タ奇ナリ、何トナレハ平均人ヲ形成セル諸物ノ平均中ハ能ク偏倚ノ傾向ヲ矯ムル美ハ少ケレトモ之ヲ含ムガ故ナリ

要スルニ Quetelet カ物理学者タリシ天文学者タリシニツノ後一人ニ実ニ研究ノ範囲ヲ拡ケ卸ケ之ヲ固定セル社会学的研究ヲ始ケ又屢々論者ノ考ヘ方ノ不徹底ヲ生シタリ、加之氏カ利用シタル材料ハ未タ甚タ不十分ナルニ拘ラス至上ニ屢々大胆ナル論断ヲ試ミタリ、かゝる欠点アリシ氏ノ錯誤ナル論断、至当ナル議論、至功巧妙ナル設定ノ方法等ハ未タ大ニ世人ノ注意ト至興味トヲ惹起シ又学者ノ研究ヲ鼓舞シタル点ハ勿論ナリトアリタリ。而シテ Quetelet ノ活動ハ単ニ学問界ニ止ラス実際ノ方面ニ於テモ Belgium ノ統計行政ノ首尚者トシテ久シキヲ手腕ヲ振ヒ官廳統計ノ進歩発達ニ大ナル貢献ヲナセリ、就中 1846年 Belgium ニ於テ学問上ノ要求ニカナヒタル人口調査ヲハ行ヒテ也他ノ調査ノ模範ヲ示セリ、且ツ Quetelet ノ率先シテ国際統計会議 Congrès international de statistique ヲ起シテ国際的統計ノ統一ヲ計リテ少カラズ至成功ヲ見ルニ至レリ、実ニ氏ハ也当時ノ統計界ニ於ケル大立物トシテ各方面ニ力ヲ振ヒテ成績ヲ挙ケタリ、後世氏ヲ以テ最新統計学ノ創設者ナルトナスニ至レリ。

欠点

長所

六、実際方面ノ功労

a. 官廳統計ノ進歩

b. 人口調査ノ施行 1846年

c. 国際統計会議

コノ会議ハ先後ニブレタルモ、之ヲ継承シタル所謂統計会議

6. "Political arithmetic" ガ Statistics ト称セラルニ至ル

独乙ニ於ケル別個ニ派ノ名称等ニ

同様ノ説 Fallati Jonak

Bilder-Statistik ノ名ヲ与ヘタルモノ Knies 1850

Rümelin 1863

Knies: Politische Economie vom Standpunkte der Geschichte.

Knies ハ旧派ヲハ treues Bild ヲ写スニアリトヘリ。
旧派ハ Gegenwart Kunde 又ハ Staatskunde der Gegenwart ト称スルヲ可トストヘリ。
Knies ハ Fallati ニ反対シ、Jonak ハ Knies ヲ斥ケ、Rümelin ハ Jonak ヲ斥ケタリ

最初ニナホ一言スヘキハ Quetelet ガ 1835年ニ出シタル Sur l'homme ナル書ガ従来用ヒラレタル political arithmetic ナル名ニ変化ヲ生ゼシメタルコトナリ。蓋シ之以前ニ於テ Malthus、Fourier 抔ガ political arithmetic ニ関スル若干論文ニ於テ statistic ナル名称ヲ用ヒタルガ別ニ人ノ注意ヲ惹クニ至ラザリキ。然ルニ Quetelet ガ Sur l'homme ノ劈頭ニ於テ「此著書ハ従来余ガ statistique ニ関シテ作リタル論文ノ résumé (撮要) ナリ」ト曰ヘリ。コノ世界ガ著名ノ士ニ行ハレ従テ又旧派政治家ノ根據地タル独乙ニテ勢力ヲ及ボスニ至リシ新乙ノ学界ニ於テ別個ニ派ノ名称ノ人々ヲシテ名称ニ関スル争論ヲ惹起セリ。但シ宗者ハ Fallati (1843. Einleitung in der Wissenschaft der Statistik) ノ如キ、又ハ Jonak (1856. Theorie der Statistik) ノ如キハ世界ニ名ヲ知ラザル一ノ学科トシテスラニ若ノ関和ヲ計ラントセシガ 1850年ニ Knies ノ Statistik als selbständige Wissenschaft ナル書出テテ銳利ナル論旨ヲ以テ旧派ト新派トノ差ヲ明カニシ、ニ者ノ宜シク之ヲ分離スベシ、而シテ Statistik ナル名称ハ之ヲ政治算術派ニ与フルヲ可トスト論ジタリ。Knies ニ続キテ Rümelin (1863. Zur Theorie der Statistik) モ此意見ニ賛成シ遂ニ旧派政治学ハ古来オビ来リシ名称ヲ取ラズシテ之ヲ Quetelet ニ与ヘテ拡張セラレシ political arithmetic ニ与ヘルコトニ至レリ。故ニ Quetelet ノ著ハ一方ニハ旧派政治

計算ニ関スル学問ヲ政治的ノ事項ニ適用シタルモノヲ今日ニ於テ Politische Arithmetik トイフ。例ヘバ公債制度ノ計算等、重利法ノ計算ヲ政治上ニ応用セル如シ。
(Verrechnungswissenschaft.)

最近時代ノ統計学。

Statistik ノ意味

官庭統計。

中央統計局
西班牙 1802
普魯西 1805
Bayern 1813
仏国 1833

材料ノ豊富

統計局

産業革命

立憲思想

立憲思想発達ノ結果 統計材料ノ公開ヲ見ルニ至リ
貿易統計公開。
仏 1816.
英 1832

材料ノ品質 (統計方法ノ改良)

統計ノ各向各

Engel 1850—58. Saxony ノ統計局長.
1860—82 Prussia 〃

Engel
Hermann
Görnig

経済統計図書室ノ library ハ Engel ノ Bibliothek ヲ買ヒ入レシガ基ヒ。

学ノ名ヲ有シ一方ニハ political arith. 改名ノ動機ヲ作リタルノミ。

第四款 最近時代ノ統計学

従来唱ヘラレタル statistik ハ元来、国家ノ現状ヲ記述スル学科ナルモ数字的材料ニシテ主ニ人口現象ニ関スル面則ヲ発見セントスル政治算術ノ為ニソノ地位ヲ占メラルルニ至リ、更ニ Quetelet ニシテ人口現象ニ加ヘテ道徳現象ヲ以テ Eulnmis ス一般ニ人事ニ関スル学科ナリト為サルニ至リ、茲ニ此学科ノ基礎タル数字的材料ハ主ニ何人ガ供給スルカトイフニ、ソハ主ニ国家ノ官庭ナリ。十九世紀ノ始以来各国ニ統計局ナルモノ次々ニ設置セラルルニ至リ、且ツ産業革命行ハレテ経済界ノ発達ガ著シキニ至リ統計ノ必要ガ益々一般ニ感セラルルニ至レルヲ以テ之等数字的材料ガ甚タ豊富ヲ増加セリ、且ツ世紀ノ末立憲思想発達シ其結果之等ノ材料ガ永久ニ世ニ公ニセラルルニ至リ、且ツ統計ノ材料ヲ集ツテ之ヲ編纂整理スル方法即チ所謂統計方法ガ十九世紀ノ半以来甚ダ改良セラレソノ為ノ材料ノ品質高マリ、如上統計局ニアタル者其人ヲ得テ例ヘバ Engel, Hermann, Mayr, Görnig ノ如キ人々ガ統計材料ハ自ラ学問的ニ編纂シテ材料ノ価値ヲ世人ニ示セリ、茲ニ近時ノ統計学ノ材料ガ分量的ニモ品質的ニモ共ニ著シク増加

Quetelet以後ノ趨勢

研究ノ基礎

研究ノ範囲
Quetelet — 人間
Wagner — 人間

Körösi — 人口現象

Dufau — 人間現象 — 為人間ノ社会的研究

Statistik ノ性質ニ関スル須知

en ノ以テ統計学ノセイセスノ学問トシテ漸次ニ発達スル様迄ニ向ヘリ。

Quetelet以後、統計学界ノ有様ヲ通観スルニ氏以後ノ統計学ノ性質其研究ノ対象ニ就テ学者ノ議論一ニ帰セズ、多ク所謂大量観察ノ結果ナル数字的材料ヲ研究ノ基礎トスル点ニ於テハ略説ヲ一ニセル如シ。但シQuetelet、モ他ノ材料ニ基イテ人間ヲ社会学的ニ研究シテスルミナラズ広ク人間ニ就テ研究スルニ至リシハ前ニ述ベタル如シ。然ルニ或学者ハ更ニ研究ノ範囲ヲ広メ1.ノミテ大量観察ヲ適用シ得ベキ現象ハ人間ニ関スル自然ニ関スルトヲ問ハズ一切之ヲ研究スベキモノトセリ。例ハ挙ル所ノWagner(Adolf)ノ如キ書ノ如キ説ヲ唱ヘタリ。他ノ学者ハ之ニ反シ研究ノ範囲ヲ狭メ2.単ニ人口現象ニ止ムベキモノトス。白耳牙ノKörösiノ如キ是ナリ。今仮ニ今多数ノ学者ハ統計学ナルモノハ以テ3.大量観察ニ基ク人間ノ社会的研究ナリト見ナス、即チ統計学ノ研究ハ人間以外ニハ渉ラサレドモ人間ヲハ単純ナル自然科学的ニ研究スルハ範囲外ト外ナリ、人間ニ関スル社会的事実ヲバ精確ナル数学的材料ニ基キテ研究スルモノナリ。Mayrノ説ヲ以テスレバ精確ナル社会学ナリ。此考ハ既ニ1840年仏国ノ学者Dufauノ Traité de Statistique ニ於テ述ベシ処ニシテ至後ニ於テ仏、独、米、ノ諸国ニ於テ有力ナル学者ノ賛成スル処ニシテ現今ニ於テ最モ有力ナルモノトシテ認メラル。但シ之ト同様ニ又学者ノ多クハStatistikナル名称ヲハ専ラ大量観察ノ方法、

Statistik { als Wissenschaft / als Methode

甲 Statistik < 実質的学問 / 形式的学問

乙、単ニ形式的学問トノミ見ル

数学派

統計学ノ発達

論文ノ増出

1. 経済統計学

2. 社会統計学ノ各部ノ研究

全部若クハ一部ノ系統的論文

若クハ大概概念ノ方法学ヲ表ハスモノトス。換言スレバ Statistik ハ一方ニ於テハ一ノ学問、或ハ実質的学問ニシテ他ノ一方ニハ一ノ方法又ハ一ノ方法ニ関スル形式的学問ヲ表スモノナリ。後者トシテハ単ニ社会現象ノミナラズ広ク其他ノ現象ニモ及ブモノナリト云ヘリ。例ヘバ Engel. Mayr. Wagner 等ナリ。然ルニ或学者ハ Statistique ヲ全然一ノ実質的学問ト見スシテ単ニ一ノ方法又ハ方法ニ関スル形式的学問ナリト主張ス。例ヘバ英国ノ Bowley、瑞西ノ Reichesberg、独ノ Meitzen 等ナリ。此派ノ学者中特ニ高等数学ノ応用ニ重キヲ置クモノヲ挙シテ数学的統計学、数学派ト称セラル。英国ニ於テ最モ行ハル。Bowley ノ如キ Yule ノ如キ其他墺ノ Forcher ノ如キハ此学派ニ属スルモノナリ。米国ノ Mayo-Smith モ然リ。

カクノ如クシテ Statistik ノ性質ニ関スル議論ハ今日ニ至レモナホ仍一致サルカ、一方ニ於テハ国勢ノ官庁其他ヨリ供給スル統計材料ハ至ル所其分量ヲ加ヘ統計ヲ作ル為ニ志ル者カ自ラソノ材料ニヨリテ研究シテ其結果ヲ公ニスルモノ甚多カラズ。又他ノ一方ニ於テハ統計経済其他社会的ノ学科ニ従事セル学者ガ研究ノ成果タル論文ヲ盛シテ世ニ出デタリ。但シ之等ノ論文ハ之ヲ通観スレバ所謂人口統計論ノ範囲ニ属スルモノ最モ多シ。近頃ニナリテ経済統計論ニ関スルモノ続々出デタリ。其他ノ範囲ニ亘ルモノハ未タ甚タ少シ。而シテ之等ノ特別研究ノ結果ヲ綜合シテ此学問ノ研究範囲ノ全部若クハ一部分ニ就テ系統的ニ論述ヲ試ミタルモノハ僅ニ

個々ノ特別研究時代

サレ、全部ニ関スル著述トシテハ、Mayo-Smith. Bertillon, Schnapper-Arndt, Conrad, Mayr 等ノ著述ヲ挙クルヲ得ン。一部ニ関スル著述トシテハ（目次ノ末ニ PP. 5. 6）

要スルニ現今ノ統計学ハ、其主トシテ個々ノ特別研究時代ニアリ、之ヲ比較的ノ発達未ダ日浅サキヲ考フレハ、敢テ怪シムニ足ラス、之カ全部整然ト内容充実セル一ノ学理ノ体系ヲ備フルハ之ヲ将来ニ期待セサルヲ得ズ。

Method of "Massenbeobachtung".
or Method of masses.

Wathins:—On Statistic Units.

大量観察法ノ性質
(統計方法)

例ヘハ人口統計.
一定ノ集団的現象、mass —— 人口.
個々ノ分子 --- 各個人.

観察単位
(個々ノ分子)

観察単位 < 個々ノ分子ノ性質
個々ノ分子ノ quality. 例ヘハ男女、年齢等.

統計ノ定義

観察単位.
計量単位. < 単位 = 各人ノ有スル計量上ノ単位 --- 一つニ一つ.
measure of measurement.
観察者ノ欠点ナケレバ結果ミダレズ
交通係ノ時ノ位置等.
means of measurement ヲ用フ.
means ニ欠点アレバ結果ミダル.
貨幣.
貨幣ソノモノノ価値ノ変動止マサル故
結果甚タ乱ル.

(大量観察ノ結果ハ数字ナリ)

計量単位

統計.. 個々ノ個々トシテ数字ニアラズ、マタニアラズ.
個々ヨリ全体ヲ統ベ計ルナリ.

第二章 統計学ノ性質

第一款 大量観察法ノ性質

Methode des Massenbeobachtung.

統計学ハ如何ニモヲ解釈スルモ所謂大量観察法ニ関係アル学科ナリ、故ニ先ツ大量観察法ノ何タルカヲ説明セントス。

大量観察法 ハ普通ニ、統計方法ト呼ハル、此方法ノ性質ヲ述ブレバ、大量観察ハ文字ノ如ク略ボ若干スカ為ノ時ト処トニ於テ限ラレタル一定ノ集団的現象ヲハ其個々分子ニ就テ全部観察スルナリ。従テ其個々分子ヲ換言スレバ観察ノ単位ガ各人ノ識別ニ容易ナルニ従ヒ、観察ハ容易且ツ正確ニ行ハル、而シテ大量観察ノ結果ガ純ニ数字即チ絶対数字又ハ関係数字、換言スレバ実数或ハ比例数平均数ノ値数ニアラハサレタルモノヲ統計トイフ。故ニ統計ハ一ノ数字ナリ。併シ大量観察ノ結果ハ数字ナルヲ要ス。即チ各観察ノ単位ニ関シテ計量上ノ単位ヲ以テ数ヘ計リタル結果ノ表レノ集ハリ。観察ノ単位ニ就テ観察セラルベキ項ヲハ計量スルニアタリ、単純ニ一、二トイフガ如キ各人ノ抽象的計量単位ヲ充当シテ数字ヲ作ル場合アリ、又ハ長量衡、時間、温度等ノ計量単位ヲ充テハムル場合アリ、又ハ貨幣ヲ以テスル価値ノ計量単位ヲ充テハムル場合アリ。此最後ノ場合ニアラハルル数字ガ最モ一時的ノ価値アルニ過ギザル数字ナリ、何トナレバ計量ニ用ヒラルル貨幣ソノモノノ価値ガ常ニ変動シテ止マサルヲ以テナリ。

要スルニ統計ハ大量観察ノ結果トシテ生ズル数字ナリ、故ニ見積リ

見積り ″ 統計ニアラス

1. 明治四十年ノ人口ヲ同四十五年ノ人口ヲ見ツケル
2. 戸数ヲ人口ヲ見ツケル.
3. 横浜ノ鶏卵ノ年ノ産出ヲ見ツケル 或ハ vice versa

直接 — 巡査ノ制ノ訪問
間接 — 戸籍簿ニ依テ ＞ 戸口調査.

観察ハ直接ノ観察ナレトモ有リ得ス、何等カノ medium ヲ要ス

Le Play. 鉱山ノ engineer.
Les Ouvrier Européan (1855)

統計
|
統計ノ方法
|
「統計的研究」

個別観察(模型的観察)ノ方法

Le Play.

estimation ハ統計ト区別セサルヘカラス、見積リニハ極メテ粗雑ナル数字ヲ以テ立ル搭キテナキ種々ノ見積リアリ、即チ一定ノ時又ハ処ニ於ケル数字ニ基キテ他ノ時他ノ処ニ於ケル同ジ一現象ニ関スル数字ヲ見ツケルコトアリ、又或ハ?アル一ノ現象ニ関スル数字ヨリ他ノ現象ニ関スル数字ヲ見ツケルコトアリ、又?実ハ一部分ノ数字ヨリ全部ノ数字ヲ見ツケリ又ハ又逆ニ全部ノ数字ヨリ一部分ノ数字ヲ見ツケルコトアリ、シカルモ等ノ場合ニ於テ見ツケタル基礎ナル数字ガ実際ノ観察ニ出テタルカ或ハ立ニ近キモノナルニ従ヒ、又見積リノ手続方法ノ中ニ於テ実際ノ観察ノ結果ヲハ利用スルコトノ多キニ従ヒ、其統計ナルニ近ラコト益々大ナリトモ、苟クモ厳密ナル意味ニ於ケル統計ニアラサルコトニ於テハ一ナリ。

一定ノ集団的現象ヲハ其単位ニ就テ一時ハ或ハ連続シテ観察シ共直接又ハ間接ニ観察シテ始メテ統計ナルモノ有ルナリ。而シテ大量観察ヲ実行シ且ツ其結果ヨリ種々ノ数字ヲ算出シ整理スル方法ヲ称シテ統計ノ方法トイフ、之等ノ数字ヲ応用シ之ニ基イテ研究ヲ加フル統計的研究トイフ、

統計ノ方法ハ又之ヲ個別観察又ハ模型的観察 Einzel- oder Typische Beobachtung ノ方法ト対照スルトキハソノ特色ヲ明ニスルヲ得。個別観察ノ方法ハ観察者カ自己ノ利害ニ於テ或ル物ノ type ト認メラルル各個ノ場合ヲトリテ之ヲ精密ニ研究シソレヨリ得タル結果ニ基テ其同種ノモノ全体ノ性質ヲ推論セントスル方法ナリ、此方法ハ例ハ鉱物学者カ各個ノ鉱物ヲ取リテ試験スルカ如キ自然科学者カ好ンテ採用スルモノナリ、之ヲ社会研究ニ適用シタルハ仏国ノ学者 Le Play (1806–1882) ト称セラルル此方法ヲ一ニ又

Le Playsche Methode

'Rümelin: Zur Theorie der Statistik.
"Im Reich der Natur ist das Einzelne typisch, in der Menschenwelt individuell."

生物ヨリ有機物ニ進ムニ従ヒ個々ノモノハ typische ガ individuell ニ変ズル。即チ differenciation ガ益々大トナルナリ。

統計ト比較方法

統計…… 1. 発足点 …… 学問的現象
　　2. 結果ガ必ズ数字トナル
Le Playsche Methode …… 1. 個々ノ場合
　　2. 必ズシモ数字トナラズ。

統計ノ方法ノ応用

Enquête.

英国ニ於テ多ク用ヒラル。学問ヲ多ク伴フ調査ナリ。(学問的調査) アル問題ニ就テノ例実関係 表面ニ或場合ニ一人ニ者ヲハ書面或ハ口頭ニテ学問シタル言見ヲ問ヒ父答ナル件ニ対シ決ヒシテ材料ヲ集フル方法ナリ。此方法ニアリテハ言見ヲ意見トシテ聞キ、統計的ノ数字ナル form トシテ表ハルルヲ要件トセズ。

独乙ニテモ近来家族問題、Kartel 問題等ニ就キ個別観察、統計的方法モ利用実関係数ニ多クノ十分ノ結果ヲ収メ能ハザル為ニ此ノ方法ヲ採用スルニ至レリ。

Le Playsche Methode ト呼ハル。Le Play ハ殊ニ労働者ノ家族状態ヲ其個々ニツキ精密ニ研究シ労働者ノ有形的精神的ノ状況ヲ明ニシタル功績アリ。此方法ハ社会研究方法ノ発達ノ現況ヨリ見テ十分勘カラズ益アリ。又此方法ヲ採用スルモ其研究ノ結果ノ中ニ自ラ公報ノ数字アラハル。但シ此方法ノ特色ハ個々ノ場合ヲ深ク研究シテ其場合ノ全部ヲ推シハカルニアリ。故ニ研究ノ目的物ノ多数ニ就テ之ヲ数量的ニ観察シテ其結果ヲ数字ニアラハスヲ目的トスルモノニアラズ。二ツノ方法ハ観察ノ発足点ヲ異ニス。又考察ノ物差ヲ同ジクスルモノニアラズ。

以上述ヘタル統計方法ハ種々ノ学問ニ於テ広ク適用サレ、例ヘバ気象学ニ於テ雨量ヲ観察シ其結果雨量ト生命トノ関係ヲ発見スルアリ。其他医学人類学言語学等ノ学科ニ於テ近来殊ニ応用セラル。但シ此方法ハ人間社会ニ関スル学問ニ於テ最モ広ク適用セラレ用ヒテ適用セラレタル結果統計学ナル一ノ学問ガ構成セラルルニ到レリ。

医学ト統計学。— Pettenkofer ガ医学ニ統計方法ヲ適用シテ重大ナル結果ヲ収メタル始メノ人。München 大学教授。
チブスト地水 Grundwasser トノ関係ヲ統計的ニ観察シ之ヨリチブス菌ヲ発見セリ。(病源菌ノ統計的研究)

統計学ノ定義

1. 人ト社会ニ関スル学問

2. 社会現象ノ其全体ニ於テ研究スル学ナリ

第二款 統計学ノ定義

余ハ前ニ述ヘシ統計学ノ歴史ニ一般ニ社会ニ関スル諸学ノ分化発達ノ現状ニ徴シテ統計学ヲ次ノ如ク定義セントス。統計学トハ人ト人ノ社会現象ノ全体ヲ取リテ研究スルモノニシテ主ト大量観察法ニ基キテ社会現象中ニ存在セル通則ノ発見ヲ目的トセル学問ナリ。今其ノ定義ヲ分析スレバ、第一ニ統計学ハ人ト社会ニ関スル学ナリ。即チ余ハ Wagner ノ如クニ此学ノ研究ノ範囲ヲ自然界ニマデモ及ボスモノニアラズ、学者中又統計学ヲバ人ト社会ヲ研究スルモノニシテ人ヲ人ニシテ個々別々ノ一ノ自然物ノ如ク見ナシテ研究スルコトヲ例ヘハ医学ニ於ケルガ如キハ、統計学ノ範囲ニ属セズ換言スレハ統計学ノ研究対象ハ人ノ集団体現象ニアリ。此ノ見解ハ統計学ノ従来ノ発達ニ徴シテ穏当ナリトイフヲ得ヘク又現今学者ノ概ネ一致セル処ナリ。勿論大量観察法ハ自然科学ニモ適用スルヲ得レトモ人ト社会ヲ研究スル学者ハ之ヲ自然ノ現象又ハ自然ノ産物トシテノ人ヲ研究スル学問トハ分離シテ論スルヲ便宜トス、一ノ研究方法ガ之等二者ニ共通ヲリ得ルニ基キテ之ヲ合シテ一ノ学科トナスハ妄ニ統計学ノ研究範囲ヲ拡張シテ研究ノ統一ヲ妨クル弊アリト云ハサルヘカラス。

第二ニ統計学ハ社会現象ヲ其全体ニ於テ研究スル学ナリ。単ニ経済現象トイフ如キ一ノ方面ノミ限リテ論スルモノニアラズ又一定ノ時ト処トニ当然限局サルルモノニアラズ社会現象ノ全部ヲ取リ之ニ由リテ独立セラルル社会カ為

研究範囲ノ制限

a. 大量観察法ヲ適用シ得サルモノ

労働ノ結果ハ計量スルヲ得

b. 適用シ得ルモ信ズヘキ結果ヲ得ル能ハサルモノ.

古ノ材料ヲ統一シテ之ニ生命ヲ入ルル試ミ。
統計学ノ使命.

c. 最近世代ノ文明ニ属スル

d. 大量観察法ニヨリテ社会現象ヲ研究スル学ナリ.

何ニ構造セラルルカ、如何ニ変動スルカ、又如何ニ有形的世形的ニ生活シ発達スルカヲ研究シテ之ニ関スル知識ヲ集メテ至統ヲ与ヘント欲スルモノナリ。但シ実際ニ於テハ統計学ノ研究ノ範囲ハ少カラス制限セラル。即チ先ツ所謂大量観察法ヲ適用シテ一定ノ単位ヲ以テ計量ヲ試ミ数字的ノ材料ヲ集ムルヲ得サルモノ例ヘハ人間ノ労働能力或ハ人ノ面貌ノ如キハ統計的研究ノ及ハサル処ナリ。斯ノ如ニ比マラスシテ本来ハ大量観察法ヲ適用シ得ヘキモノナレトモ信スヘキ結果ヲ納ムル能ハサル理由モリ実際研究ノ範囲以外ニ置カルルモノ亦少カラス、例ヘハ所得、収穫ノ精密ナル状況、或ハ家計ノ収支状態ノ如キ殊ニ統計経済統計論ノ範囲ニ於ケル比ノ欠点著シ。加之統計学ノ研究ノ範囲ハ現時ハ主ニ十九世紀以来殊ニ最近時代ノ文明ニ限ラル。蓋シ其以前ニアリテモ其内諸国ニ於テ統計的材料ハ存在シタリシモ多クハ断片的ニシテ其数亦多カラス且ツ不完全ニシテ信憑スルニ足ルモノ少シ、又現今ニ於テモ未開半開ノ国ニ於ケル統計ノ材料甚シク不備ナルヲ以テナリ。

第三ニ統計学ハ大量観察法ニヨリテ社会現象ヲ研究スル学ナリ。故ニ単ニ統計学トイフトキハ統計的社会学或ハ社会的統計学トイフヲ一層適当トスヘキモ従来我国ニ於テ統計学ナル名称ハ上述ノ如キ意味ニテ用ヒ来ラシタルヲ以テ殊ニ奇異ノ名称ヲ附スル要ナカルヘシ。而シテ大量観察法ヲ社会現象ニ適用シテ統計学ガ独立セラルルニ至リ、蓋シ社会ハモトヨリ個人ノ集積的集合ニ過ギサルモ兎ニ角個人ニヨリテ独立セラル個

社会現象ハ集団現象ナリ

「統計学ハ構成サレタル社会学ナリ」

数学的トイフノミニテハ不十分ナリ。
統計ニ関スル数学的トイフヲ正当トス

4. 大量観察法ニヨリ社会現象ヲ研究シ面地面ヨリ発見スルヲ目的トス。

統計学ヲ以テ一ノ学問ニアラストスル意見

人ノ出入ニヨリテ其個体ノ大サヲ変シ、個人ノ消滅ノ集合ニヨリテ生活シ発達スルモノナリ。カク観スレハ、社会現象ハ一ノ大量現象、一ノ集団現象ニシテ、故ニコノ大量観察法ノ適用ヲウケベキ物体ナリ、モノ多個ノ物体ニ対シ此方法ヲ適用シテ統計学成ヲスルナリ。然ルニ、Mayr ガ統計学ト一結合サレタル社会学ナリト化仏人 Levasseur ガ統計学ト一社会的事実ノ数学的研究ナリト云ヘルハ、共用決ニハ多分ノ批難アリ得ベキモ統計学ノ性質ヲアラハス語意ニ於テハ穏当ナリト信ス。

(四) 統計学ハ大量観察ノ方法ニヨリテ社会現象ヲ研究シテ其中ニ存スル面地面ヨリヲ発見スルヲ以テ目的トス、蓋シ前ニ述ヘシ所ニテ明カナルカ如ク統計学ノ固有ノ特色ハ大量観察法ヲ社会現象ニ適用スル所ニアリ、故ニ統計学ハ如何ナル方法ガ各方面ノ社会現象ニ現ニ適用セラレ又ハ改良ヲ計ルカ如何ニ適用セラルベキカヲ常ニ先ツ以テ論及スルヲ要ス。乍併ハ学問ノ目的トスル処ハカカル方法ソノモノニ関スルモノニアラズ、又統計的事実ヲバ有ノママニ秩序正シク排列記述スルヲ職分トスルモノニアラス。之等ノ事実ニ基キテ其中ニ存スル面ヨリヲ探リ社会ガ如何ニ組織セラレ又如何ニ生成発達スルカニ関スル概括的知識ヲハ与ヘ現象ノ中ニ存在セル面ヨリ、ソノ因果関係ヲ闡明スルヲ目的トス。

統計学ノ地位ニ以上述ヘタル如キモノナルカ或ハ之ニ対シテ此地位ヲ認メテ之ヲ以テ一ノ独立ノ学問タラシムトスルモノアリ。之等ノ論者ノ云ニシテハ所謂統計学ハ大量観察法ニヨリテナサレタル社会現象ノ各方面ニオケル研究ヲ特殊的ニ蒐集シタルモノニスキス。其ノ故ニ

Wissen の Shaft. 知識ノ統一性

1、実地研究上

2、大量観察法適用ト商ハル社会現象

3、統計材料及研究ノ供給

今ノ知識ハ往ヲ社会現象ニ関スル部分的ノ知識ノ集リニ過キズトアス。既往学者ガ一種ノ研究ニ於ル知識ノ集リヲモ知識ガ社会現象全体ニ関スル知識ノ全部ヲ包含セザル事実ニシテ其ノトメザル所ナリ。今仮令本来一ノ大量現象ト認メラルベキモノニシテ大量観察法ノ適用ニ基ク商ハル社会現象ヲ研究ノ対象トシテ之ヲ比較ニ於テ研究シ其結果自ラ迎ル多数ノ集リ来ルベキ知識ノ全体ヲ併セテ之ヲ系統的ニ排列シ論述スルコトガ何故ニ一ノ学問ヲ形成スルヲ得サルカ、余ハ之ニ其理由ヲ知ルニ苦シム。凡ソ学問文化ノ分科ノ独立的課題ナルモノハアラユル多ク実地研究ノ道程ニ於テ其便宜上独立ノ分科ヲ設ケルニスギズ。吾人ハ今ヤ宇宙万象ニ関スル実地ヲ開拓スル道ニアリ而モ今ハマダ吾人ノ達シ得ル処ハ未タ其一方部分ニスギズ、宜シク各独ノ方面モリ、又去彼ノ手ヲ打ツシテ偏ヘニ其開拓ニ従事スベキナリ。カカル状況ノ下ニ於テ一ノ研究方法ヲハ其適用ニ基ク商ハル現象ニアテハメ為ニ一ノ独立的学科ヲ形成スルハ、何等妨ケナキ所ナリト信ズ。此意味ニ於テ今ハ政治学ヲ一ノ学問トシテ社会的学科ノ中ニ特別ノ地位ヲ与ヘント欲ス。況シテモ各国ノ材料ハ所謂政治材料ハ今ハマダ既ニ影シテ供給サレ将来ハ益々多キカラントノ傾向ニアリ又材料ニ基ク研究ハ既ニ少カラズ表ハシ之ガ為ニ其数ノ加ハルノ趨勢ニアリ、カカル際ニアメリ之等ノ多量ノ材料ト研究トヲ一様シテ今ニ之ニ系統ヲ与ヘ之ヲ綜合スルハ実際上ハ甚ダ困難有益ナルノミナラズ併セテ又其材料ノ段階ニ基ク研究ノ進歩トニ欠ル禅益スル処アリト認メラル。

第三章 大量観察法ノ技術

大量観察法ノ性質ニ就キ、之ヲ説明シタリ。茲ニハ其技術ニ就キ述ベタル外ナシ。今後本章ニ於テハ之ヲ実行セントシテ各種ノ統計ト成ルモノヲ説明セントス。

第一節 統計材料ノ徴収

統計材料ノ徴収

社会諸般ノ現象ニ対シテ大量観察法ヲ遂行スルニハ、国家ノ外ニ地方団体、私人団体等アリ。然ルニ国家ノ行フモノガ最モ大規模ニシテ且ツ其観察ノ範囲多方面ニ亘リ、従テ之ニ統計ヲ供給スルモノ即チ所謂統計生産者ハ国家ヲシテ最モ主ナルモノトナス。但シソノ供給スル統計ハ主トシテハ国家ノ時々ノ行政上ノ必要或ハ便宜ニ基ケテ作成セラルルモノニシテ、ソノ属ス学問上ノ要求ニ十分応スルニ足ラサルヲ免レス。併シナガラ国家其他ノ統計生産者ガ先ツ大量観察ヲ実行シテ統計ノ原材料ヲ徴収セントスルニ当リ始メヨリ統計ヲ作ル目的ヲ以テ第一ノ手段ヲ観察シテ材料ヲ徴ル場合ト也一反シテ既ニ他ノ目的ノ為ニ存在セル材料ヲハ更ニ統計ノ目的ノ為ニ利用スル場合トアリ。所謂第一次(或)統計(Primary, primär S.)及第二次(或)統計(secondary or derivative, S)ノ区別ハコヽニ生ス。

材料徴収法ニ基ク統計ノ分類

第一次統計
第二次 〃

2 観察ノ目的物ノ全体ヲ或一定ノ時ニ於テ一時ニ観察シテ材料ヲ集ル場合ト、之ニ反シテ観察ノ目的物ノ表ハルルニ従ヒテ逐次的ニ之ヲ観察スル場合トアリ。一時的観察(徴収)ニ於テハ逐次的観察ノ結果ヲ以テモノ比較スルヲ得。而シテ第一次統計

一時的観察
逐次的 〃

統計材料ノ Collection

統計生産者
国家

一時的 — 静態的 ←
連続的 — 動態的 — 給料スル家ニ届ケテアル、ソレを強ひて調査スル。

統計作製ノ準備

3種ノ統計. 国勢ノ国家ナトニテ統計ノ目的ヲ調査。
之ヲノ材料ヲ要ス統計ニ利用スル材料。統計ヲ作ル外ノ目的ヲ統計ヲつくる為ニ材料ヲ集めるノニアラズ。
組織的ニ為ニ徴集シタ材料ガ統計トナルタメニハ不十分ナ所ハ、統計ノ目的ノ為ニ調査手続ヲかけフル事。(第一次ト第二次)。

計画

統計的企業. 株式的企業 …… 複雑的大企業.
統計消費者ノ関係

統計的空想

関係現象観察

人口調査ノ準備トシテノ住家調査.

計画ニ採定スベキ事項

観察ノ目的物. 観察ノ単位 家一軒. 人一人等.
統計的空想.

1. 観察ノ目的物

観察ノ能ト不能及得失

主義

出生ノ調査 出生ノ定義 …… 何月以上何尺以上.
住居ノ定義 …… 定住. 通勤者. 不定. 小舟等.
第物者 — 一時的ノ第物者ナモ気ニセズ.

ハ必スシモ一時的観察ダケヲ要セサレド其然ル場合ガキヲ占ム. 其適例ハ人口調査、営業調査、工場調査等ナリ。又第二次統計ハ必スシモ連続的観察ダケヲ要セサレド其然ル場合ガキヲ占ム. 例ヘハ婚姻、出生、死亡、死産、外国貿易ニ関スル調査ノ如キ是ナリ。材料徴収ノ方法ハ上述ノイフレニモシテ兎ニ角大量観察ヲ行ヒテ統計材料ヲ徴収スルニハ、多ク人ヲシテ其任ニ当ラシムルヲ適例トス. 多ク人ヲシテ観察ノ実行ニアタラシムル為ニ統一ヲ保チテ一様ニ行ハルルカ為メニハ観察ノ如何ニアタリテ深ク考ヘテ一定ノ計画ヲ樹立セサルベカラズ. 此計画ノ中ニ於テ豫定スベキ事柄ハ観察ノ目的物、観察ノ範囲、観察ノ事項、第観察ノ時ト処、観察ニ用フル用式(formula)、観察実行ノ機関並ニ其審査監督機関、観察ノ費用等ノ諸点ナリ。但シ爾ク此計画ニ従テ未来ノ観察ヲ実施スル前ニ先ツ之ヲ一部分ニ試ミ、或ハ観察ノ目的物ト関聯セル他ノ現象ヲ観察シテ本観察ノ準備トナスコトアリ、殊ニ斯奇且ツ大規模ノ観察ノ場合ニハ之ガ有用ナリ。今之等ノ計画ニ豫定スベキ事項ノ主ナルモノニ就テ述ベンニ、(第一)ニ観察ノ目的物ヲ定ムルニアタリテハ先ヅ其時其処ノ事情ニ照シテ果シテ観察シ得ベキモノナリヤ否ヤ又ソレニ観察シ得ベキモノナラバ果シテ如何ナル結果ヲ挙ゲテ其方ニ効ヲ収メ得ルヤ否ヤ. 一言スレバ可能ノ観察ノ可能不可能、其得失ニ就テ考ヘサルベカラズ。又観察ノ目的物ノ意義ヲ能ク明確ニ定ムルヲ要ス 若シ実際ニ於テハ其意義甚タ曖昧ナル場合ガ部ヲ占メルモノナリトスル。

アメリカノ Census …… 結果綿密ヲ尽シ学問上価値ナレ。

2、観察ノ範囲

3、観察スヘキ事項

3、イ、

一ノ個体事項…之ヲ他ノ事項ト関係セシメザレバ其価値キワメテ少シ。

一ノ事項ノ場合ハ単数列ノ意味ニ相当シ

人口調査ニ於テ男女別ヲ調査スレバ数列ハ2トナル。之ニ年齢トイフ一ノ事項ヲ加フル代ハリ一ヤヨリ百才マデニ亦男女各人数ヲアラハスガ故ニ数列…2×100＝200トナル。

4、観察ノ時ト処

組織ニ対スル花柳ノ影響

不具者調査ニ対スル要厳情

年齢ニ対スル厚情（若人…年ヲカタ　若者…年ヲクル　意ヒタガル。

東口ニ於ケル1901年調査

人口10,000ニ対ス		(1901年)
19才	195	82才
20	200	378
21	195	60
29	165	49
30	183	506
31	145	32

東口ニ於テ三歳年齢ヲ用フ　低ルニ人ハ

大凡ヲイフヨリ左表ノ如キ abnormal ナル数字ヲ出スナリ。

5、観察ニ用フル様式

単記票　列記票

単記票 Zählkarte

4。

㋑ 人口調査…人民ガ固定セル時、即チ移動セザル時ヲ選ブ要ス。…秋冬

営業調査…各能ノ事業ガ活潑ニ行ハレル時ヲ可トス。……各ハ不可

家族調査……婚姻期ニ関係

出生調査……出生アル時期毎ニ。

㋺ 人業ニ関セ、営業所ノ所在、出生アル所又ハ最初ノ住所アル所

独ノ帝国ノ兵事及営業調査　1885、1895、1907

第四ノ時ハ十月ノ所ニ、第三ノ代ハ九月ヲ以テ基ヒ調査スト。意見多数ノ為

㋺ 観察ノ範囲ニ就テハ、ミダリニ之ヲ拡張シテ一時ニ二以上ノ観察目的物ヲ併セテ調査スルヨリハ、能フ限リ之ヲ避ケサルヘカラズ。之レハ観察ノ正確ヲ期スル上ニツイテモ又観察ノ結果ノ整理編纂ヲ綿密ニスル上ニツイテモ忘ルベカラサル注意ナリ。

㋩ 各観察ノ目的物ニ就テ観察スヘキ事項モ亦同シク徒リニ多ク設クルハ不可ナリ。統計的観察ノ組織ハミダリニ一時ニ観察ノ事項ヲ多クスルヨリモ寧ロ観察事項ハ少キモ之ヲ精確ニ調査シ且ツ十分ニ整理スルニアリ。而シテ観察スヘキ事項ハ能フ限リ愛安全明瞭ニシテ若クモ被観察者ヲシテ其意義ヲ解釈ニ苦シメテ其観察調査ニ対スル答ニ困難ナラシムルガ如キヲアルヘカラス。又被観察者ニ利害関係アル事柄殊ニ其羞恥ノ念或ハ悪感情ヲ惹起シヤスキ事項ハ成ルヘク之ヲ避クル力或ハ注意シテ調査セサルヘカラス。

㋥ 観察ノ時ト所トハ観察ノ目的、観察ノ事項ニ顧ミテ適切ニ之ヲ撰定セサルヘカラス。殊ニ時ヲ反覆シテ同ジ観察ヲ実行スル場合ニ於テハ前後ノ比較ノ基礎ヲミダサザルガメ一定ビ運ヒタル観察ノ時ト処トハ成ルヘク之ヲ変更セサルヲ可トスルヲ以テ各初ニ於テ能々事情ヲ考慮シテ確定スルコト肝要ナリ。

㋭ 観察事項ト之ニ対スル答トヲ収納スル用式ハ種々アレトモ其主ナルモノハ二アリ、一ハ単記票、他ハ列記票（List Schedule.）トイフ。単記票トハ観察調査ノ目的物一ニツ毎ニ一枚ノ用紙ヲ完ツル場合ニ用ヒラレ、列記票ハ目的物数個ニツキ一枚ノ用紙ヲ完ツル場合ニ用ヒラル。

5. 第一統計ノ材料.
名簿式 カード式 日録式 帳簿式 等.
コノ各種ノ方法ノ統計ノ材料ハスベテ單記式ニ列記式ノ両部アル.
四十三年東京市ノ人口調査…單記票. 之ニ所帯票ヲ附加セル. 即チ人一人ニツキテ一枚ノ調査用紙ヲ宛ツ且ツ household ニツキテ之ヲマトメル為一枚ノ所帯票ハ隣居ノ用紙ヲ附加セルモノ.

6. 観察実行ニ当ル調査員

列記票.
台湾ノ戸口調査. 観察ノ目的物ガ個人ナル時ハ所帯ニマトメテ一所帯ニツキ一枚ヲ宛ツ.
調査員(登録簿)
審査 } 様図
編整 } 様図

記入者.
被観察者. 又ハソノ関係スル人
観察ノ実行ニ当ル人……第二次 統計ノ場合等.
記入ノ容易

6. 東京(四十年戸口調査)…簡単
神戸……市役所 巡査 学校 高等商業学生 雇人等.

五課
実地上ノ便宜……多数ノ調査員
形式上……ソノ上ノ審査様図

統計材料ノ編整

粗整 Ausbeuteung. Abstraction. dépouillement.
精整 Verarbeitung (Bearbeitung)

材料ノ粗整

第六 観察ノ実行ニ当ル調査員ハ又ソレ観察調査ノ性質種類ニ応ジテ適当ナル人物ヲ撰定スルヲ要ス. 殊ニ一般人民ヲ相手トシテ調査ヲ行フ場合ニハ人民ニ危惧不安ノ念ヲ抱カシムル虞アル人例ヘバ警官吏員等ニ対スルヤウナ感ヲ与ヘルヤウナ事ハ可ナラズ. ウカトモ手先又ハ主ニ之ヲ用フルヲ、慎マサルベカラズ.
之ヲ要スルニ観察ノ計画ニ従ヒテ調査員ヲシテ観察ヲ実行セシメ茲ニ其成果トシテ統計ノ素材材料作リ上ゲラルル. 此ノ材料ハ若シ調査員ノ集メテ来タル原始様図ヲ送ル之ニヨリテ材料ヲ富整シ誤リヲ正シ足ラザルヲ補ヒ適ニ其材料ヲ整理編纂シタル様図ノ手許ニ集メラレ大抵観察一段落ヲ告ク.

第二款 統計材料ノ編整.

單純ナル手段ニ依テ簡單ナル方法ニテ観察ヲ為シ統計材料ノ整理編纂モ亦甚タ簡單ナレド. 少シク複雑ナル手段ヲ用ヒテ多分ナリトモ大規模ニテ観察スル場合ニハ材料ノ整頓. 密勿ノ業ハアルベキ整頓ノ仕方ヲ大別スレバ大体材料ノ粗整及ビ材料ノ精整ト名ヅクベキ二段ノ手続トナスヲ得ベシ

第一節 統計材料ノ粗整 Ausbeuteung.

材料ノ粗整トハ原材料ナル調査用式ノ個々ニツキ. 其中ニ含マレタル観察調査事項ニ対スル答ヲ一定ノ計画ニ従ヒテ

職業ニテモ大工ハ No.1. 左官ハ No.2 等ト定メタセバ、個々ノ用紙ニハ No.1. No.2. 等ト記入シ、
又ハ婚姻関係ニツキテモ未婚ハ A、既婚ハ B、寡ハ C、離婚ハ D 等ト定メタセバ、個々ノ用紙ニソノ符号ヲ入ケテ行ク。

整理ノ準備ヲ為ス

整理ノ計画

1、数ヘ上ゲキル調査事項
2、ソノ組合セ
3、分類

整理計画ニ綿密ナル作製ノ所業ガ最部ヲ立ツベキモノ。
「如何ナル事項ヲ如何ニシテ調ブベキカ」
性格ハ調査事項ヲシテ次ノ如クナラシム。之ヲ数字トシテ統計ニアラハスベキアラバ、故ニ整理事項ハ之ヲ省クベシ。
調査事項ノ組合セ、---- 最モ利害関係ノ多キ問題ノ解決ニ強ク
実数ナル事項ハ何ト整理スベキヤ、実数量ノ意見ニ関係ヘカラズ
分類、世代、年ヲ以テ分類スルカ、月ヲ以テスルカ等。
整理ノ順序---年齢ノ若キヨリ、婚姻状態ノ若キ順次等。

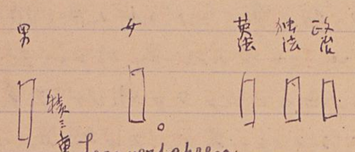
数ヘ上ゲ其孰レモ更ニ他ノ一定ノ用紙ニ記入スルヲイフ。即チ材料ガ整理セラレテ各人ノ物用スル為程、孰レモ一定ニ統一ナルモノニ書キ直ス行ハルル手続ヲ除ク事スルモノナリ。整理ノ手続ヲ行フニ其準備行為トシテ調査用紙ニ番号或ハ略符号等ヲ記入シテ整理ノ手数ヲナルベク簡単ナラシムルヲ要ス行ハル。
凡テ材料ヲ整理セントスル時ハ、又之ニ先チ豫メ一定ノ計画ヲ立ツルヲ要ス即チ事材料中ニ存スル調査事項ノ何ヲ数ヘ上ゲキカ又其ノ組合セヲ如何ニ行フベキカ、又其調査事項ニツキ之ヲ如ノ時ニ如ノ処ニ如リテ分類ヲ設ケル場合ニハ如何ナル程度ニ於テ之ヲ設ケテ調査事項ヲ数ヘ上ゲベキカ、之等ノ諸点ヲ定メオクヲ要ス。之ヲ豫定スルモノデ字ルベキモノ多ルベキ調査事項、凡テニツキ多ルベキ組合セヲ行ヒ又如ヘル組合ニ物ト如ト時トヲ区別シテ材料ノ整理ヲ行フベキニアリ。若シ然ラズシテ単ニ整理ナル数ヘ上ゲヲシテ其ニスル材料ノ実際上及学問上ニ於テ十分ノ利用ヲ之ノ為ニ著シク減殺セラルル惧レアリ且ツ後ニ至リ新ナル点ノ材料ノ調査セントスルモノ実ニ甚タ困難ナルヲシテ立ツベシテ行ハルルノ部ヲ要因ナリ。故ニムシロ必メマデ十分ニ細カニ材料ヲ整理シタル方ガ善カルベシ也。又此計画ニ従ヒテ整理ヲ行フニ当リ如何ナル順序ニテ之ヲ調ブベキカノ点モ亦大ニ注意ヲ要ス。而シテスベテ之等ノ点ニ関スル計画ハ実ニ材料徴収ノ始メ即チ観察ノ始メニ於テ樹立スルヲ要ス。之ヲ為スニハ夫々観察ノ目的物ニ就テノ学問ノ学識並ニ経験技能ヲ肝要トス。
材料ヲ整理スルニ当リテ用ヒラルル技術的方法ノ主ナルモノヲアラバ

例ヘバ
一家族五人ナルトキ アタハス劃線。 按要ノ結果等
正 𝍸 𝍸

粗整ノ技術的方法

1. 劃線法

2. 計票法



Legeverfahren.

單記票ト列記票トノ優劣

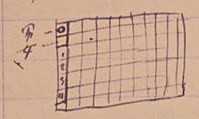
(1.) 劃線法 Tick-System. 即チ数ヘラルル事項一つ一つニツキ各々一線ヲ一定ノ用紙ニ記入シテ之ヲ数ヘ上ル方法ナリ、此方法ハ記入ノ用紙ニ多クノ場所ヲ要シ且ツ陸続ノ為ニ数ヘ上ゲノ検査ヲ行ヒ難キ便アリ、然レ共簡単ナル方法ナルガ故ヲ現今ナホ之ヲ行ハル、場所ニ相当多キ場合ニ於テ然リ。

(2.) 計票法 Slip-System. モシ材料ノ徴集ニ單記票ヲ用ヒタル場合ニハ通例ハ之ニ之ヲ計票トシテ用フルヲ得。即チ一定ノ標準ノ下ニ(商品ニ之ヲ分離シテ)多クノ銘ミ重ネヲ作リ然ル後ニ各銘ミ毎ノ該数ヲ数ヘソノ結果ヲハ一定ノ様式ニ記入スル也。之ニ反シテ列記票ヲ材料ノ徴収ニ用ヒタル時ハ先ヅソノ列記票ニテ各級票ノ用紙ニ従テ個数ニ応ジテ必要ナル事項ヲ各々一枚ノ小札ニ書キ上ケ、此小札ヲ計票トシテ用ヒ前ト同様ノ手続ヲハ施スナリ。モノ本ニノ方法ハ之ヲ前ノ方法ニ比スレバ一層簡単ニシテ且ツ仕事ノ検査ヲ行フニ便ナリ、但シ材料徴収ニ單記票ヲ用フレバ直ニ本ニノ方法ヲ施スヲ得ルガ故ニ單記票ヲ用フルヲハ材料ノ徴収並ニ其処理ノ上ニテ大ニ手ヲ煩ハシ如キモノ多シ。即チ戸籍吏ガ婚姻出生等ノ單記票ヲ作ルガ如キ場合ニ書キ誤シニ慣レタル者ガ單記票ヲ書ク代リニ直ニ之ヲ計票トシテ利用シテ大ニ便ナケレド人口調査ノ如ク多数ノ人ヲ対象トシテ調査ヲ行フ場合ニハ單記票ヲ用フルハ人民ヲ累スコト尠カラズ。然ルニ記入セラレタル單記票ハ之ヲ計票トシテ用フルニ便利ナラズ、故ニ人口調査ノ如キ場合ニハ材料徴収ニハ即チ列記票ヲ用ヒ之ヲ別ニ計票トナスベキ票ヲ作リテ之ヲ算上スル方便利ナリ。

1

3. 電気集計機法

特別ノ小票ニ記号ヲ穿ち、其穴ノ位置ニ依リテ、直角ニ線ノ引キ。未婚者ナラバ未婚ノ穴ニ孔ヲアケルナリ。(コノ小票ハ一人ニツキ一枚ヅツ完ツルナリ)。



0ノ穴ハ孔ヲアケバ男。
又1ノ未婚、2ノ既婚、3ノ生別者、4ノ死別者トスレバ、1ノ穴ニ孔ヲ穿チバ未婚者ナリ。

Hollerith 1889

Hollerith 生レハ Elsace ナリ。

川口式。片ハマダ本ニ紹介セズ。

"Industrial Revolution of the Statistical Technic"

材料粗整ノ様式

中央集査
地方分査

中央集査ノ長所

1. 手数ノ少ナキ
2. 効力ノ大キ
3. 取扱ノ一変
4. 実用ノ便

第1… 地方分査ノ system ヲ多ク採ル

(3.) 電気集計機ヲ用フル方法。 電計機ヲ用ヒタトスル件、先ツ会報界ノ見解ヲ一つ一つ名々一枚ノ小票ヲ作ルヲ要ス、但シ此小票ハ事材料ヲ写シ上クルニアラズ、穿孔器ト称セラルル器具ヲ用ヒテ特別ノ小票ヲ作ルナリ。アラシテ小票ノ出来タル後ヒヲ順次電気集計機ニ挿入スル件ニ機械ガ自動的ニ算上ノ作用ヲナシソノ結果ヲ機械ノ一部ニアラハスナリ。此機械ハ1889年合衆国ニ於テ Hollerith 氏ノ発明セシモノニテ其後米国ニ於テ盛ニ用ヒラレ加奈陀、露西亞、独逸ニ於テモ用ヒラレ我国ノ内閣統計局ニ於テモ近来ニ採送シテ川口式電気集計機ナルモノヲ作リヒヲ採用セントシツツアリ。

終ニナホ一言スベキハ材料粗整ノ様式ニ就テナリ。此点ニ就テハ大体ニツノ system 行ハル、ソノ一ハ中央集査 centralization ノ仕組ニシテ他ハ地方的分査 decentralization ノ仕組ナリ。前者ハ中央ニ全体ノ材料ヲ集メ一手ニテ粗整ヲ行フ方法ナリ。後者ハ中央以外ノ地方的ノ様式ニ於テ粗整ヲ行フ仕組ナリ。此ノ二者ヲ比較スレハ概シテ中央集査ノ仕組ヲ優レリトス、蓋シ此ノ仕組ニハ次ノ如キ長所アルカ故ナリ。即チ (1) 地方的様式ハヤヽモスレハ統計ノ子弟ヲ充分理解シ之ニ対シテ利害ノ関係強キモ中央様式ハ之ニ反シソノ子弟ニツキ趣味ヲ有シソノ事務ヲ理解スルコト多シ。 (2) 材料ノ粗整ニ効力アル事ヲ反リテ云フ能迅速ニ粗整ノ手数ヲ処理シ得ル。殊ニ電気集計機ノ利用ハ中央集査ノ場合ニアラサレハ望ミ難キ処ナリ。 (3) 材料ノ全体ニ亘リテ其取扱ヲ一様ニ為シ得ル。 (4) 十分ニ材料ヲ粗整シテ実際上学問上ノ用ニ供セシメラルル望多キ。

欠矣

地方的事業ニ

中央事業ト交通発達

精整

材料整理法

元要

表製表

1. 集約

等ナリ。又多クハ又中央事業ニモ欠乏ナキニアラス、ソノ主ナルモノハ此仕組ニシテハ地方的機関ノ需要ニ十分応スルニ足ルホド細カク部門ヲ細ヤ上ケサル憾アリ、併シモシカラハ此ヤ憾アル場合ニハ如何ニシテ材料徴収ノ形式ヲ一面作リ一面ニ之ヲ中央ニ送リ他ノ一面ニ地方的機関カ自ラ手許ニ此ヲ之ヲ調査スルカ、或ハ中央ニ於テ材料ノ組織ヲ終リタル後ニソノ区域ヲ示シテ自ラ之ヲ調査スルカ、二者ノ一ノ方法ヲ取レハ地方的機関ノ需要ハ之ヲ充ツル得ヘシ、

要スルニ材料ノ組織ハ時ト処トノ事情許ス限リハナルヘク中央集権ノ仕組ニシテ行ハルヘキモノナリ、但シ交通機関ノ発達ハマスマス此仕組ノ実行ヲ容易ナラシメタルモノ又ハ此仕組ノ一般ニ行ハルルニ至ルモ偶然ナラサルナリ。

第二節 統計材料ノ精整

統計材料組織ノ結果トシテ通常統計ノ原材料ハ多クノ時ニハ処ニ応シテ分類セラレタル多クノ数字トナリ又此数字カ一定ノ図式ニ記入セラレコヽニ多クノ元要ヲ形成ス、此ノ元要ハソノマヽ公ニセラルヽハ稀ニシテ普通ハ更ニ之ヲ整理シテ各種ノ数字ヲ作リ之ヲ表ニ収メ又図ニ表ハスナリ、此手続ヲ総称シテ統計材料ノ精整トイフ。之ヲ製表製図ノ二目ニ分ツ。

第一。製表

元要ニアル数字ニ基キテ更ニ之ヲ精撰整理スル為メニナサルヘキ手続ノ主ナルモノハ三ナリ、ソノ一ハ集約ナリ、集約トハ元要ノ数字ヲ更ニ少

2. 比例ノ算出

I. a ---- 20
b ---- 30
c ---- 35
d ---- 15
x ---- 100. ---- a whole.

比例数ノ場合

たとへば whole ノ内部ニ於ケル a、b、c、d、等ノ関係ハ 20:30:35:15 ノ如キニシテアラハサル。

場合二ツ
イ、一ノ数ノ全体内ニ於ケル各数ノ関係
ロ、一ノ数ノ他ノ数ノ他ノ数ノ関係

II. 人口数ト出生数トノ比例.

人口1000：出生 30. 甲地
〃 40 乙地 A.
〃 50 丙地.

面積ト人口数トノ比.

1. 平方Km：人口30人 or 人口：2平方Km.
出生 1：人口 2000
1： 1500 B.

3. 平均ノ算出

AモBモ出生ノ割合ノ次第ニ多クナルヲ示ス. 但シAノ方解リヤスシ
人口ノ総数ヲ取ルコトモ女子ノ数ヲ取ル方. 又女子ノ絶対数ヲ取ル
ヨリ 15-50才ノ女子ノ人口数ヲ取ル方. 一層精密ナル適切ナル比
ガ出ル.

算術平均
1. Simple
2. Weighted.

(1) Simple arith. aver. (30+60+60)÷3 = 50

(2). Weighted.
米ノ売買ニ A.B.C. ノ三場合アリトス.

	一石	売買高
A.	10円	10石
B.	9.	20
C.	8	30

Simple a.a. ニヨレバ (10+9+8)÷3=9円トス.
Weighted ニヨレバ
$\frac{10\times10+9\times20+8\times30}{10+20+30}=\frac{520}{60}=8.66\cdots$ 円

右数ヲ利用シ得ル代ハ Weighted ニヨル方論理ニ適ヒ居リ、
0数字ノ重ミヲ他ノ処ニ移シ持チ来ルコトアリ(次頁)

平均ノ実際ノ値ノ種々ノ方法.

1. 例外的数字ヲ除キ.
2. 最大数最小数ヲ除ク 平均ヲ求ム
3. 最大数.最小数
4. 平均数ニ対スル各数ノ離散ヲ平均数ト為ス.
5. median 又ハ mode ヲ示ス

第二応シ適当ニ、数ノ性、処ニヨリテ集団ニ合計スルヲイフ。

ソノ(二)、比例ノ算出ナリ。他対数ハ力論ヲ実ヲソノマヽ表ハス基礎的ノ数字ナリ、乍併之ヲ以テハ、数字間ノ関係ヲ知リ、数字ト数字トノ比較ヲナスニ便ナラス。依テ比例ノ算出ナル事ガ行ハルナリ。比例ノ算出ハ性質ヲ大別シテ二ノ場合トス。其一ハ(1.)二以上ノ数ヨリ成レル一ノ数ノ全体(whole)ニ就テ其ノ内部ニ於ケル各数ノ関係ヲ算出スル場合ニシテ、其一ハ(2.)一ノ数ノ全体ト或ノ他ノ数ノ全体トヲ比較シテ其比例ヲ見出ス場合ナリ。第二ノ場合ニ於テ比較ニ用フル数字ノ性質宜シキヲ得ル比較ソノモノヲシテ能フ限リ適切ナラシメタルヲ肝要トス。

(二). 平均ノ算出。ハ一団ノ数字ニ対シテ簡単ナル言ヒ表シヲ得ルガタナサルル事柄ニシテ、平均ノ中最モ簡単ニシテ普通ニ行ハルルハ算術平均 arithmetical average ナリ。之ヲ分チテ (1) Simple a. a ト (2) Weighted a. a. トニス。前者ハ数字ノ合計ヲ数字ノ項数ニテ除シタルモノナリ。後者ハ各数ノ重ミヲ量リテ其平均ヲ求ムル場合ナリ。扨平均ハ一ノ便利ナル数字ナレドモ到底十分ニ各数ノ内容特色ヲ示ス能ハス、殊ニ甚シキ不同数ヲ平均スル場合ニ於テ色々トスルヲンスヲ屢々単ニ各数ヲ平均シテ結果ヲアラハス代ニ、1. 例外的数字ト認メラルルヲ除キテ他ノ数ノ平均ヲ求メ、又2. 各数ノ中ノ最大数ト最小数ヲ除キテ或リタルノ平均ヲ求ムルアリ、又3. 或ハ平均ヲ平之外ナキモ最大数ト最小数トノ内外ニアラハスアリ、又4. 平均数ニ対スル各数(偏差)ノ離散ヲ量リテ之ヲ内容ニアラハスアリ、又5. 平均ヲアラハス代ニ median 又ハ mode ヲアラハスアリ。之等ノ事柄ハイヅレモ一ノ便宜タルヲ失ハサルモ如何ナル場合ニモ適用シテ宜シキヲ得ルニ

物價騰貴ノ割合　　人生ニ於ケル Weight ノ假定（家計調査ニヨル）

米	100 : 120	7.
酒	100 : 110	3.
燃料	100 : 97	1.

Simple ニスレバ　$\frac{327}{3}=109$.

Weighted ニスレバ　$\frac{120\times7+110\times3+97\times1}{11}=115.\cdots$

Bowley – Elementary Manual of Statistics
= Weighted arith. av. ノ算出便法アリ

比較

三位ノ割合アリ イフレノ 3位モ 賃錢ガ 2割上リタル ガルイ 全体平均シテ 2割上リタルカ トイフニ、答ウ サルコトガ要面ナリ。

	[I] 人	一人賃錢	[II] 人	一人ノ賃錢
Group A.	100 :	20銭	400 :	24銭
B.	200 :	25	200 :	30
C.	400 :	40	100 :	48
				20%
				〃
				〃

Weighted ニスレバ 一人ノ平均

[I] 32.8銭　[II] 29.1銭　即チ第一ノ全体トシテハ下リ居ルナリ。

新法ノ値	旧法ノ差	
10	0	
1	−9	+20÷3 = +6.6
17	+7	−20÷3 = ∓6.6
3	−8	
18	+8	
13	+3	+6.6 −6.6
7	−3.	
		av. 10

av. 10

Median

一定ノ数ヲ ヒトツノ大数ノ中ニ ナル数ノ値

If the members of the group are ranked in order according to the measurement (wages, ages etc.) under consideration, then the measurement of the members most nearly the half along the rank is median. (Bowley).

15才	10人	10
17	20	30
20	50	80
25	30	110
	110人	

110人ノ半分ハ 55人目ナリ。ソノ人ハ 50人ノ部ニアリ 即チ 賃錢ガ median ハ 20才ナリ、即チ 55人目ノ値ヲ以テ 全体ヲ示スナリ。

アラス。老人ノ者ニ フトムヘキハ 平均数ノミニ 拘リテ 能ク 限リ平均数ヲ形成スル各数ヲ省ミルニ アリ。

之ヲ要スルニ 以上アゲタル 諸種ノ数字ヲ 算出シ之ヲ一定ノ標準ノ下ニ アツメテ ソノ数列ヲ作リ 之ヲ 煩簡大小宜シキニ 適ヘル 明瞭ナル表ニ 収メ ハ、統計家ノ フトムヘキ 之モ ニシテ 而シテ ニ 共ノ 技能 要旨ニ 待タサルヘカラス。

Bowley. 製表 原則 — minimum space = maximum information ヲ与フル。

Mode.　多数ノ 最モ多クアラハレル 数ノ値

That value of graded quantity (wages, years etc) at which the instances (場合) are most numerous. (Bowley).

Median ノ例ニテ 15. 17. 20. 25 ハ 階級ナルモノ 数字 (graded quantity) ナリ。一人ヲ ソノ 最モ多クアラハレルハ 50人ナリ。他ノ 50人ノ値ハ 20才ナリ。Mode トイヒ 之ヲ以テ 全体ノ示スナリ。

注意
1. 零モ一ノ数ナリ。全ク数ヲ欠ケル時ハ 他ノ符号ヲ示ス。 —. /. |.
2. 見積リノ数字ノ アラハシ方 ---- 単位迄アラハサズ、千位又ハ百位ヲ以テ 止メ 可トス。
アトハ round number ニシテ ヤメ ヲ可トス。 ca.... 約.
3. 加藤(集陰)ノ 株式 Brunsviga. (スイス室ニアリ) 此ハ Brunswick ノ発明。
加藤新作ノ 株券 Millionaire (Swiss ナリ) ノ発明、設計尚ナリ)

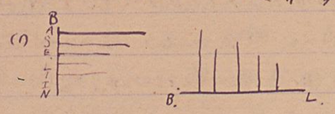
Ⅱ 製図.

line ニ於ル場合.

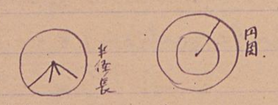
1. 單純ニ直線ヲ以テアラハス場合 ＜ Base line ヲ直線ニ取ル場合 (1) / 〃 ヲ円ニ取ル場合 (2)

注意.
1. 位置
2. 長短

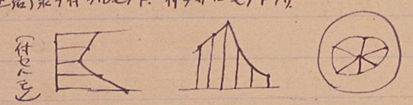
(1)



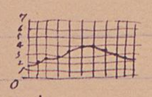
(2)



連結線ヲ付クルモノト. 付ケザルモノトアリ.



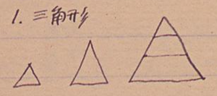
2. 曲線ヲ以テ表ハス場合
二以上ノ現象ガ数字上互ニ関係アルヤウ思ハレル場合ニ曲線ヲ幾本ヲ表ハス.



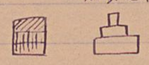
大抵ハ 0 ヨリ表ハス事ニセネバナラズ
尺度ノ取リ方ハ大ニ注意セネバナラズ

平面図式

1. 三角形

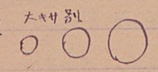


2. 四角形
正方形. 直角形 長方形



円ノ図式

1. 大キサ別



2.

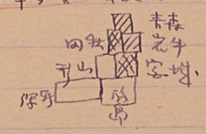
色別.
(黄色ハ除ク)

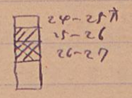
立方体 強ハ脆ク. 平面ノ上ニアラハセバ見合ヲ組ミ. 故ニ小ノ
摩重ヲツケルヲ可トス

(二) 製圖.

材料ノ精粗, 強弱トシテ生シタル数字ヲタヾニ表ニアラハスノミナラズ又之ヲ図ニアラハス. 單竟数字ノ説解ヲ容易ナラシメントスルニ出ヅ. サレバ此ノ目的ニ適ハサル図ヲ作ルコトハ実用ニ害ストイフベシ. 但シ此ノ点ニ注意スベキハ不実面ニシテ滑稽ニ流レル図ヲ作ルコトヲ避クルニアリ。製図ハ之ヲ分チテ二トス。統計幾何図、統計地図之ナリ。統計幾何図 diagram ハ統計的数字ノ関係ヲバ長、線、平面又ハ立体ヲ以テ表シタルモノヲ云ヒ, ソノ中最モ行ハレハ線並ニ平面ヲ以テナサレタル図式ナリ。統計地図 Cartogram 統計ノ数字関係ヲ地図的ニアラハシタルモノナリ、之ヲ大別シテ二トス. (イ)一ハ、要面ノ地図面ニ單純ニ線、平面等ヲ以テ示サレタル数字関係ヲ表示スモノナリ、(ロ)二ハ、統計的数字ニ基キテ特別ニ地図ヲ作ルモノナリ.

1. 等高線地図 特ニ行政区劃ノ地図ノ上ニ diagram ヲノスルモノ
2. 日本平均繁殖年齢（明治二十二年）





統計出版

廉價ナルコト

紙

紙ノ，
統計出版物ノ欠点
不廉價
不便利

出所ヲ示スコト
其他ノ説明ヲ付スルコト

1895
殖産合業調査

1. 年鑑
2. 特別ニ事項ニ関スル出版物
3. 雑誌

第三節 統計ノ出版

統計材料ノ編製ノ結果大ナル精粗ノ別アル程之ヲ出版物トナシテ世ニアラハシ衆人ノ利用ニ供セラル、之等出版物ハナルベク廉價ニ売リ世ノ需要ニ負フハ勿トモ来会家ノ口ニ於ケルトアラユル得ストモ少ク共精粗ノ如キニアルノ統計利用ノ現況ニ於ケル弱点ニ堪ヘサルトイハサルベカラス。即チ公表セラルル程度ノ統計ハ仮令簡単ナルモノニテモ之ニ一ツ出所ヲ示シ人ヲシテソノ統計ノ使途ヲ判断セラルルニ便ナラシムルヲ要ス。精細ナル統計ハ「ト」ニ寧ロ切ナル説明ヲカクコト堂々ン。現ニ近年ノ進歩シタル出版物ハ決シテ単純ナル数字ノ羅列ニアラス、特別ノ大調査又ハ一般ニ精細ナル統計ニ関スル出版物ハ常ニ先ツ文字ヲ以テソノ数字ノ生シタリシ過程並ニソノ数字ノ大意ヲ説明シ能フ限リ衆人ノ利用ニ便ナラシムルヲ普通トス。例ヘハ1895年北海道ニ行ハレタル職業及営業調査ニ関スル出版物ノ如キハ近世ノ発達シタル統計技術ヲ代表セル良標本ト見ナサルベキモノニシテ其調査ノ組織ト、調査編纂ノ手順並ニソノ費用ノ点ニ至ル迄細ニ之ヲ説明シ次ニ文字ヲ以テ数字ノ大要ヲ組合シ始メテ精密ナル統計表ノ統計図ヲ掲ケタリ。我日ニ於テハ今日マデアラハレタル統計出版ノ中ニ関スル要求ヲ最モ良ク充セルモノハ明治三十八年ニ行ハレタル臨時戸口調査ニ関スル出版物トシテ公ニス。精細ナル統計表ハ更ニ特別ノ出版物トシテ之ヲ刊行スルヲ常トス。且ツ統計事業ノ発達セル日ニ於テハ更ニ官廳ソノモノニ於テ雑誌体ノモノヲ発行シ之ニ

統計ノ出版

日本、 内閣統計局、 統計報告、 和、仏 対譯、

米 (1) 之ニ十キモノハ各官省、官名等ノ special ナル
統計ニ基クベシ

(2) 米国ノ中ハトモカク矢張リ、比較統計、
英国ノ (4) ノ長ジスルモノ、

仏、 (2). コノ、図表ノ下ニ各 special ナル数字ノ
出処ヲ説明スルナリ、比較一表ハ人口統計トイフ多ク類

瑞 (2)、 仏ノ (2) ニ近スルモノ。

独 (1). 英国ノ (1) ト (4) トヲ重ネタルモノ、即チ
巻面ノ統計年鑑ニ比較統計ヲ附加セシメタルモノ)

(2) 毎年定マリテ出版スルモノ、
1. 外国貿易、
2. 外洋航海
3. 内海航行、
4. 疾病保険
5. 国営鉱業及工場内領
6. 和蘭統計
同、臨時ノ出版物、
例ハ鉄道及営業調査、
人口調査(十年ニ一度等)

(3) 内務大臣ノ下ニ

一部ヲ別本トシテ出版サル

(4). 1905年以降ノ統計ヲマトメテ出版セシモノ

普 (2) 独逸帝国、Statist. des D.R. (2) ニ近シ
Bayern ノ (2) モ同様
墺国 ノ (2) モ同様

露 露西亜語ノ統計ヲアツメタルモノ、(露仏対照ス、仏訳)

長ク野ニシテ統計、殊ニ統計ノ学術ニ関スル論文等ヲ執スル行ハル、例ヘバ蕃、墺、伊等ニ於テ其実例ヲ見ル多シ。

国家的特別統計機関

分離セラレサル統計

Ausgelöste Statistik 分離セラレタル統計
Unausgelöste S. 分離セラレサル統計

分離セラレタル統計

Italy ハ 多分離セラレタル統計, ~~model~~ model
ト称セラレタリシナリ。

強権ナル集権主義ハ実行セラレタリシ

~~France-type~~

独逸

司法省監獄局 ~~監獄~~ 執行課
他ノ官庁ニテハ、建課ニテ統計事務ヲツカサドレリ。
若シ統計事務的ノ二ヲ出ス。然レドモ特別ノ組織ヲ常置セルニアラズ。

伊太利

仏国。
各省ニ特別機関アリ

第四章 近世諸国ニ於ケル統計機関ノ沿革

第一款 国家的特別統計機関

官庶ニ於ケル統計未タ発達セサル時ハ統計ノ事務ハ専ラ行政官庁ノ他ノ行政ノ事務ト共ニ之ヲ司レルニ過キサリシカ、近世官庶統計漸進ニ伴ヒ統計材料甚タ夥カシク其ノ取扱ヒ容易ナラサルニ至リシカハ其結果諸国ニ於テ統計ニ関スル特別ノ機関即チ他ノ専門行政事務トハ別ニ統計事務ヲハラ其固有ノ職務トスル機関ヲ設クルニ至レリ。但シ現今ニ於テハ未ヒ全部ニ行ハレズ依然トシテ旧態ヲ存セル場合少カラズ。数ノ多キ統計ニ関スル特別機関発達シタリシカ、一方ニ於テハ官庶ニ於ケル統計事業ヲ一処ニ集メ更ニ之ヲ アラユル統計ヲ作製スルハ、イツレノ国ニ於テモ実行セラレサル処ナリ。伊太利ハ往来統計事務ニ関スル集権主義ヲ最モ甚シク採用セル国トシテ推サレソノ中央統計局ハ、専門他国ニ於ケル中央統計機関ガ常ル統計ノ外ニ教育財政交通外務等ノ統計ヲモ兼ネテ作製シタリシカ、其後ハ之ヲ尚他ノ官庶ニ於ケル作ル統計ヲ示ス少カラサリキ。但シ今日ニ於テハ其既往ノ甚タ強少セラレテハ時ノ勢ナリ。要スルニ凡テノ統計事務ヲ一ノ特別ノ機関ニ集ムルハ各国ニ於ケル其実例ノ乏シカラサルモ右者ノ中ニ統計ニ関スル特別ノ部局ヲ設ケ此処ニ於ケル該者所管ノ事務ニ属シ統計ノ全部又ハ主ナル部分ノ作製ヲ掌ルハ該国ニ於テ此処ニシテ此主義ヲ現今最モ広ク採用セルハ仏国ナリ。

斯ノ如ク各関係官庁ノ中ニ於ケル特別統計機関ノ外ニ ナホ別ニ中

中央統計機関ノ成分

1. 各省統計ノ習慣統一

2. 一般ニ亘ル統計的調査

Mischler.

1. French-Type ……（中央統計機関ガ decentralize セラレテ、各省ニ於ケル統計機関ガ設置セラレタモノ）
2. English-Type
3. German-Type
4. Austrian-Type

3. 編纂発行

2 …… 仏国ヨリモ尚一層極端ニ decentralize セラレタモノ。英国ニ於ケル中央統計機関ハ、各省ニ於ケルモノヲ アマリ振ハズ、統計ハ多ク分散セラレタ状態ニアリ

英国

3 …… centralize セラル。各省ニモ アルモ中央ノ機関ガ特ニ優ル。

4 …… 中央統計機関ヲ強調 ~~ano~~ ガ委員会 Commission トナリタルモノ。之ヲ 1. 2. 3 ト並ベテ分類ニアケラルルハ不当ナリ。

我国

中央統計機関ノ制度上ノ地位

内閣直属主義

中ニ一ノ統計ニ関スル特別機関ヲ置キ、其仕事ニシテ各国ニ於ケル実施スル処多シ。モシ中央機関ハ、(1) 各省ニ於ケル統計ノ整理、統一及発達ヲ計リテ成分ニセザルベカラズ。(2) 一般ニ亘ル統計的調査ニシテ特ニ大ナル行政官庁ノミニ関係アリト認メラレザルモノ例ヘバ人口調査或ハ営業調査、類ハ之ヲ中央統計機関ノ職掌ニ属スルモノト為ス、勿論其以外ニ其時其処ノ事情ニ応ジ統計局ノ職掌ヲ拡張スルハ敢テ之ヲ妨ケズ。(3) 各種ノ統計ヲ集合シテ之ヲ秩序正シク編纂シテ統計便覧或ハ之ニ類似ノモノヲ発行スルコトモ其職掌ノ一ナリ。

右ノ如キ中央統計機関ハ之等ノ成務ヲ行フニ於テ概ネ一致スルモ英国ノ如キニアリテハ同国ノ Board of Trade ノ中ニ Commercial, Labour and Statistical Department ナル部局アリ此処ニテ独リ Statistical abstracts ヲ発行セシヲ以テ此 Department ガ中央統計機関ナルカラ見ルベキモ其主トシテ司ル処ハ強ヒテ統計ニアラズ、従テ英国ニ於ケルガ如キ中央統計機関ヲ備フルモノナキ有様ナリ。我国ニ於テハ内閣ニ統計局ナルモノヲ設ケラル其官制上ノ効能ヲ見ルニ中央統計機関ノ明ニ認ムルヲ得シモ現時ノ状態ニ於テハ未タ十分ニ其実ヲ発揮セザル憾アリ。

中央統計機関ノ職務ハ広ク全般ノ官庁統計ニ亘リテ単ニ其ノ一局部ニ限ラルベキモノニアラザルヲ以テ之ヲ普通行政官庁ノ下ニ隷属セシメズシテ直ニ内閣ニ置クヲ最モ可トス、我国ニ於テハ内閣統計局ハ内閣ノ下ニ在カルベキ外国ノ実例ヲ見ルニ却テ然ラズシテ

各省ノ下ニ分ツモノ、

全然内閣ノ独立セシムルノ説

我国ニ明治初年ニ於テ Mischler ノ要求スルモノ殆ンド独立ニシテ強ク多大ナル権力ヲ認メタリ。

会計検査院……政府ノ監督スル矣ト雖トモ独立有力ノ理由アリ。

統計局ノ独立ハ又ハ便宜上ノ理由ハ

中央統計機関ノ組織

各省組織

項

官府組織

官府機関

或ハ伊国ノ如ク商務省ノ下ニ、或ハ墺国ノ如ク文部省ノ下ニ、或ハ仏国ノ如ク農務省ノ下ニ、或ハ Prussia、Bavaria ノ如ク内務省ノ下ニ分カルルモノアリ。然ルニ Hasse, Mischler ノ如キ中央統計機関ハ之ヲ独立セシメテ普通ノ行政官廳ヨリ全ク分離シ恰モ会計検査院ノ如キ地位ヲ与フルヲ最モ可ナリト。何ナレハ斯クスレハ行政上ノ一時ノ便利ニ基ク支配ヨリ之ヲ完全ニ免ルヽヲ得ルヲ以テナリト。也説ハ一理アリモ元来中央統計機関ハ其性質上独立アル地位ヲ必要トセス、タトヒ便宜上之ニ独立ノ地位ヲ与フルモ其職務ヲ執行スルニ於テ常ニ普通ノ行政官廳ノ助力ヲ仰ガサルヘカラス。而ルニ之ヲ各行政官廳ニ於ケル統計機関ノ組織ニ其ノ統計ノ方法技術ノ発達ノ現況ニ徴シテ与フルトキハ Mischler 氏ノ説ノ如ク直ニ実行スレハトテ確期セル効果ヲ収メ得ル能ハサルヘカラス。

中央統計機関ハ之ヲ各省組織ニシテ各省ヨリノ委任員ニ統計ノ事務家等ヲ以テ組織スルヲ得、タトヘハ墺太利ニ於ケル統計中央委員会 Stat. Central Kommission ノ如キ之ナリ。但シ現今多クハ普通ノ官廳内ノ組織ト長官ヲ以テ分任ヲ負ハシメ其任ニ当ラシムルヲ通例トシ而シテ多数ノ故法ヲ以テ之ヲ勝レリトス。中央統計機関ノ傍ニ一ノ諮問機関ヲ置キ各省ノ代表者議会、議員並ニ統計ノ事務家ヲ以テ之ヲ組織スルハ諸国ニ多ク実例ヲ見ル所ナリ。此ノ組織ハ官廳統計ノ行政ノ全般ニ亘リ而モ統一ヲ保チテ一部ニ偏ハレ其ノ統計ノ成績ヲ害メ併セテ統計上ニ学問上ノ需求ヲ入レサル矣ニ於テ其効用ヲ発揮スルヤリ。但シ官廳統計ノ本ノ発達セス上世ノ者

聯邦国ノ中央統計機関

中央統計局附属図書館

瑞西、独。

米。

Bureau of Statistics. アマリ広ハズ Stat. Abstract ヲ ツクルバカリ
Bureau of Census. 十年ニ一度大仕掛ケ, Census ヲナス

地方団体ノ統計機関

市.

近代ノ社会ハ都会中心

都会ノ統計事業ノ特色

仏.

独

実ニ於ケル欠陥ノ中ガト処トニ於ケル比較的ハ殊ニ著シクアラハル。即チ国ノ如キ小ナル比較ノ標本ノ設置ノ方ニ要ヲ主張セサルヲ得ス。

多クノ国家ニテハ聯邦国ニアリテハ各国家ニ於ケル中央統計機関ノ外ニ十分聯邦共ニ中央ノ統計機関アリテ比較ニテ聯邦共ニ含ル事務ノ統計並ニ其聯邦ヲ組織セル各国家ニ関スル事務ニ関スル統計ヲツクルコト聯邦ナリ。瑞西聯邦抜ビ米国ニハ共ニ内務省ノ下ニ属スル比較ノ機関アリ。地方公共団体ニハ未タ比較的統一的機関アラス。タダ経済商業及労働者ニ属セル Bureau of Statistics ト1902年ニ始メテ未国機関トナリタル Bureau of Census トヲ併セテ中央統計機関ト称セラレタルニ過キス。

第二款 地方団体其他ノ公私団体ノ統計機関

地方団体ノ中ニ現今統計ニ関シテ特別ノ機関ヲ設ケ団体地域内ニ於ケル統計ノコトニ当ラシムルハ市ニ於テ最モ多キヲ見。其他ニ於テハ何レモ特ニ挙ケルニ足ルモノ稀ナリ。市殊ニ大市ニ於テハ特別ノ機関ヲ置キテ其機関ヲ独立シテ或ハ国家ノ為ス統計的調査ニ附帯シテ各種ノ調査ニモ応ズルコトアリ。元来近代ノ社会ノ研究上甚タ必要ナル都会ニ関スル一般ノ現象例ヘハ表者衛生住宅労働者ニ関スル事項ニ就テ詳ニ且ツ正確ニ調査ヲ行ヒ得ルコトハ都会ノ統計事業ノ特色トナスニ足ルモノニシテ経テ都会ニ於ケル統計ガ現在及将来ニ於テ一般ノ政府政策殊ニ社会政策ニ対シテ与フル材料ハ甚タ重ニセラルヘキモノナリ。都会ニ設ケラレタル特別統計機関ハ1829年ニ仏国巴黎ニ於ケル最初トシテ其後同日ヲ経ルトシテ殆ク他ノ都会ニモ置カルルニ至リ現今ニ於テハ最モ密ナル、数ヒ方ニ於テハ今日既ニ五十餘ノ

東京市. 昨年ニテハ統計課アリシガ 今日ハ商工及統計課ナリ.
各府県ニ於ケル大ナル統計書ノ如キモノヲ出セル 独逸 統計課ハ
台湾ニハ 統計課ナシ

其他公私団体ノ統計様関

東京 — 商工独会ノ月報ガ
ソレ

Journal of the Royal Stat. Society.
12月ヨリ 8月迄 毎月 一冊デス。 8—11月ハ休刊。 私人ノ集会ヨリナル 統計協会
世界ニ一等 統計雑誌ナリ。

独乙
官庁自身ニテ雑誌ヲ出セシヲ以テ 協会ハ一民間ノ雑誌
ハ比較ニ成立ナカリキ。
D. Stat. G. ハ Deutsche Gesellschaft für Sociologie ノ一分会トシテ出来タルモノ. 之ヨリ
ハ雑誌出デズ。但シ D. S. G ハ此協会ニ関係セ
ルヲ以テ考ヘテモス

国際的公共様関

材料ノ交換

International Labour Bureau
国際労働者保護協会 1901. Basel.
月一回雑誌ヲ出ス.
国際失職救済協会 1910. Brussel
report ヲ出ス.

国際志向者統様関
ニ於ケル統計事業責任

市統計局ノ設ケラレ、ソノ名称、出版物ヲ刊行セリ。且ツ1879年以来時々
市ノ統計局ノ代表者ガ会合シテ共通ノ事項ニ就テ意見ヲ交ヘ決議ヲ為セリ、加之
1890年以来ハ互ニ連合シテ独乙都会統計年鑑ナルモノヲ出版セリ。而シテ
最近ニ至ル迄ヲ重ネツツアリ。模範ナリ。
地方団体以外ニアリテ商業会議所、銀行、鉄道交社、取引所、職工理合等ノ公私
団体モ亦統計ヲ会ニセル場合ハ決シテ多シ。然レド統計ニ関シテ特別ノ様関ヲ設クルニハ至ラズ。
私人ノ集合セル統計ヲ目的ノ協会ニシテ一時ハ家、中央統計様関ノ為スベキ
事業ノ一部分ヲハ代リテ為シタルコトアリ。例ヘバ瑞西ノ統計協会ノ如キモノ。
併ラ現今ニ於テハ其効果ノ実例ヲ見ズ。併シ独逸ノ如ク統計ノ学術ノ
研究ノ為ニ設ケラレタル協会ニシテ私人ノ蒐集セル資料ヲ以テハ勿論学界ニ
貢献スルアリ

第三款 国際的統計様関并ニ国際統計会議.

現今統計ヲ専トセル国際的ノ公共様関ハ存セズ、併ラ統計ノ一ニ関シテ国家ノ間ニ公ノ関係ヲ惹起ス場合ハ間々有リ。例ハ人口調査ニ就テ外国在留ノ自国民ニ関スル材料ノ交換ヲ約束スル等ナリ。之ヨリ十中一等ヲ直ヲ或一定ノ目的ノ為ニ国際ニ設ケラレタル共同常設様関ニ其職務ノ一トシテ国際的統計ノ作製ヲ司ラシムル場合ハ僅ニアリ。例ヘバ Berne ニ設ケラルル国際郵便同盟局ニ於テ国際間ノ郵便ノ交通ニ関スル統計ヲ作ルノ、又同所ニ設ケラルル国際電信同盟局ニ於テ同盟国ノ電信交通ニ関スル統計ヲ作ルノ、Rome ニ設ケラルル国際農業協会ニ於テ諸々ノ農業統計ヲ作ルノ等之ナリ。

国際的統計会議

I.

55年 Paris
57. Wien.
72. Petersburg (Petrograd)
76. Budapest.

1872年会議ノ時始メテ常置委員会設ク。此会ハ後会議ニ関係ナク毎年一回総会ヲ開クコトヽシテ出発セリ。76年ノ会議ノ後次会ノ会議ノ準備ノタメ常置委員ガ Paris ニ会セリ。此会ノ決議ヲ各議員ニ対シテ強制力ヲ有セシムベキヲ決シ之ヲ議事トシタリ。之ガ英、独ノ不感ヲ買ヒ此ニ日、仏著者ヲ送ラサルコトナセシメタ Commission ノ議長ガ辞職シ後ヲ継ガ者ナク、78年ノ会議ヲ開ケズシテ今日ニ及ベリ。
此ノ委員会ノ出版物…重要ナル材料ナリ

II. Bertillon. Chamni[illegible] 等ノ名ヲ挙ク。
1912 Washington ニテ開キシガ最近
démographie (人口学) ヲ医学、衛生学ノ分科トシタ。

III. 墺学者 Neumann Spallart ガ首唱者ニシテ、工、五、上業ヲ以テ論ゼラレタ Congrès ニアラズ。
常置ノ Institut ナリ。
80年 Rome.
89. Paris.
1913. Wien. (最近)
通常出席200名以下、一日ノ現在出席ノ人数ノ一以上ヲ出スヲ稀ダ。

国際的統計会議

国際統計会議
1853 (Brussel)
|
1878

国際人口学及医事地理会議。
1878 (Paris)

国際衛生学及人口学会議
1882

統計材料ノ活用

統計材料ト人物

1. 統計企業家

社会知識

国際的統計会議ニ関シテ歴史上最モ有名ナ且ツ最モ効績ヲ表ハシタリト称セラルヽハ所謂国際統計会議 Congrès international de statistique ナリ。此会議ハ Quetelet ノ首唱ニヨリ各国官府統計ノ主局者ト統計ノ専門家トヲ以テ組織セラレ、1853年ニ Brussel ニ其第一回ヲ開キ、其後1876年ニ至ル迄倦セテ九回ノ会議ヲ催セシガ遂ニ1878年ニ至リテ亡ビタリ。此会議ノ後ヲ受ケテ起リシモノヲ1878年ニ Paris ニ於テ第一回ヲ開キタリシ国際人口学及医事地理会議トス、此会議ニハ第二回(1882)ノ会合セリ既ニ国際衛生学会議ト連合シテ国際衛生学及人口学会議ト改称シ大凡三四年毎ニ会合シテ今日迄存続ス。然ルニ此会議ハ専キヲ学問上ノ研究ニ置キテ統計ノ技術方法ニハアマリ力ヲ用ヒズ、且ツ其研究ノ範囲主トシテ人口ニ関スルモノニ限ラルルカタメテ一般統計ニ関スル国際的会議トシテハ不十分ナル憾アリ、依テ1887年ニ国際統計協会ガ設立セラレタリ、此協会ハ爾来毎年ニ会員ノ会合ヲ催シ専ラ統計方法及官府ニ就テ研究ヲナシ各国ニ於ケル統計ノ技術ノ進歩、国際的統計ノ統一ニ向ツテ力ヲ尽セリ。

以上説明シタル如ク近世諸国ニ於ケル統計事業ノ発達ヲ計ルコト一般ノ風潮ナリ、併ナガラ如何ニ特別ノ様式ガ設ケラルルトモ之ヲ運転スル人物宜シキヲ得ザレバ其様式ヲ効用ヲ発揮スル能ハズ。而シテ此ノ運転ニ適スル種々ノ人物ノ中重キヲナスモノハ其主観的人物ナリ、主観的人物トハ統計ニ関スル企業的活力ニ従事スルモノニシテ即チ統計材料ノ蒐集ヲ整理編纂シ、既ニ全体ノ計画ヲ立案実行スル人物ナリ、此種類ノ人物ニ一般的ニ必要ナルハ統計学知識ノ外ニ経済学法律学ヲ始社会ニ関

拙ク、統計及事業調査ノ備ヒタル人
1895 H. von Scheel; Zahn …… 社会的容量.
統計機関ノ備フル国勢、本務調査、設備.

2、一般人民ニ於ケル統計知識ノ普及

3、政治社会ノ民主的ノ統計ノ進歩改良ヲ促ス
~~新~~因

1、理学ノ進歩

"Kalculative Speculation" (Sombart).
打算的投機. …… 経済的活動的 企業.

4、立憲政治

5、経済界ノ発達

如ク容易ナラズ。自然ノ現象ニ、統計ノ場合ニハ、又夫ニ関スル学問ガ、学説ヲ要スルノハ自然ナリ。外国ノ説、知識ノ文才ニモ亦決シテ絶ツベカラザル資格ナリ。蓋スルニ統計ノ事業ハ決シテ単純ナル数字、計算ノ若干範囲ノ技術ヲ以テ成ルベキモノニアラズ、社会現象ノ通格、観察ノ共観者、結果ハ更ニ精密ナル整理ノ出ヲ待ツ。明瞭、比較スルヲ以テ主眼トスベキナリ、故ニ承知トシテハ社会的学識アルモノニアラザレバ、到底十分ニ統計様式ノ企画ヲ為シ得ズト云ハザルベカラズ。併ラ更ニ十歩一歩ヲ進メテ云ヘバ統計様式ノ如キ、整比ヲ要スル人物ノ宜シク得ベキ一般人民ニ於ケル統計ノ必要ノ理論及ビテ統計知識ノ普及十分ナラザルトキハ、善良ナル統計作表ニモ物シ難シ。故ニ国勢調査ニ統計ニ関スル知識ノ普及ハ、実ニ良統計作表スルノ上ニオイテ最モ所要ナル根本要件ナリ。又先進代ヲ以テ特ニ挙ヘネバ地学、進歩、立憲政治、発達ニ経済界ノ発達、三者ハ自ラ又統計ノ進歩改良ヲ促ス原因ナリト認メラル。蓋シ地学、進歩ハ、冷静微密、思索、発達ヲ意味シ而シテ統計的研究ハ此思索ノ一方面ヲ以テ過キザルモノナリ、又立憲政治ハ万公論ニ決スル政治ナルガ故ニ各社会階級ノ公ニ至言見ヲ開ハシ共所実ヲ主張シテ其間ニ調和点ヲ求メントスル政治ナリ、此政治ノ下ニアリテ各利害関係者ガ其主張ノ実行ヲ計リ又政府カモ間ニ立チテ公平ナル施設ヲ行ハントスレバ、特殊ナル事実ニ統計ヲ要スルニ至ルハ自然ノ理ナリ、且ツ経済界ノ発達ハ益ニ自ラ統計的数字ノ分量ヲ増加スルニモナンズ錯綜複雑ナル利害関係ノ主張ニモ調和シテ自ラ特殊ナル統計及ビ基ク研究ヲ求ムルコト急速ヲ加フルナリ。斯ノ如クニシテ現代ニ於ケル一般ノ社会的潮流ハ自ラ統計事業ノ進歩ヲ促スモノナリトモ去人ノ労ムベキハ此潮流ヲ利用シテ統計ニ関スル人ト物トノ組織ヲ整ヘ一層ノ事業ノ進歩ヲ計ルニアリト云

統計的研究ノ意義

一ノ帰納的研究ナリ

数字ニ基ク研究ナリ

数学統計派

ハサルヘカラズ。

第五章 統計的研究

統計的研究ハ、統計ヲ収集シ之ヲ比較シ其中ニ潜在法則ヲ発見シ因果関係ヲ闡明スルヲ要セルナリ。之ヲ Rümelin ノ語ヲ借リテ形容スレハ、黙シテ語ラサル数字ヲシテ口ヲ開カシムルヲ統計的研究ノ目的トス。長年ノ年月ヲ尽シテ論説ノ統計ヲ作ルハ、統計家ノ任務ナリ。統計ヲ手段トシテ之ニ加工シテ社会的真理ヲ引出スハ、統計学者ノ職務ナリ。

統計的研究ハ、其性質ニ於テハ一ノ帰納的研究ナリ。利用スル処ノ事ハ大量ノ観察ノ結果ナル社会的数字ナルヲ以テ之ヲ本トシテ帰納的ニ研究スルナリ。統計的研究トイフ一種特別ノ研究方法ガ存スルニアラサルナリ。経済的諸現象ニ関スル注意ハマタ統計的研究ノ一般学ラルヘキ準則ナリ。統計的研究ハ又数字ニ基ク研究ナリ。故ニ数字ニ関スル知識ハ重要ナルトモ未タ数字ハ抽象的ノ数字ニハアラズ社会的事実ヲ反映セル数字ナリ。経済之分析シ之ヲ解釈スルニハ社会的知識ノ量ヲ必要ス。例ヘハ貨幣統計ヲ解剖スルニハ貨幣学識ノ素養ハ欠ヘカラサル要件タルヤシ。但シ如斯之ヲ数学的ニ研究スルハ好ケカルナリ。殊ニ或範囲ニ於テハ愛ヲ以テ応用セラルル如シ。也独リ研究ニ耽ルモノヲ指ス数学統計派ト称シ愛ヲ英国ニ行ハレ併セテ社会学トシテ、統計家、全般ニ就テ日ヘハ恰ヲ経済学ニ於テ見ル同シク英国ノ社会的研究ト大ニ趣ヲ異ニスト言フヲ得ザル現況ニアリ。

余ハ未タ統計的研究ニ関シ注意スヘキ事項ノ主ナルモノヲ四ニ集約シ

統計的研究ニ関シ注意スヘキ事

I. 必要ナル材料ノ十分ナル蒐集

材料ノ性質ヲ調ベ價値ヲ判断スル

人口統計
印度ハ日本ヨリモ方法優シ。
英国ト印度トハ方法同ジナレド実行ノ結果英国ノ方ガ優シ。即チ実行ノ正確ヲモ要スル也。

2. 比較ノ最正

死産ハ出生ト同時ニ又死亡ト

ト大ス。之等ノ事項ハ事凡ニ失スル嫌アリテ往来也信憑ヲ怠リテ統計ノ濫用誤用ヲナシタル場合甚タ多キヲ以テ茲ニ之ヲ述フルカリ。

(1) 一定ノ社会現象ニ就テ統計的研究ヲナサントスレバ先ツ必要ナル材料カ必要ナルヤ否ヤ能フ限リ十分ニ之ヲ蒐集スヘキハ勿論ナリ。例ヘハ家庭ノ収入出費ヲ調査セント欲スル時ハ常ニ得ル貨幣賃金ノ外ニナホ臨時ニ得ル収入、更ニ家族ノ収入並ニ実物収入、更ニ進ミテハ之等ノ名義的賃銀、婦売力ヲモ計ルニ足ルヘキ材料ヲ必要トスル也。但シ今日ノ実際ニ於テハ統計材料カ十分ニ備ハラズ為ニ研究ヲ全ク施事スルヲ或ハ甚タ不十分ナル結果ニ陥リ止メサルヘカラサル場合多キハ人ノ常ニ遺憾トスル所カ、偖テ之トカラ能フ限リ多ク材料ヲ集メタル上ニ於テ注意スヘキハ其材料ノ一ツ一ツニ就テ何カ其地位ヲ調ベ其價値ヲ判定スルコトナリ。若シ同シ事項ニ関スル統計ニテモ比較的ニ精確ナル方法ニヨリテ作製セラレタルモノト比較的ニ不精確ナル方法ニヨリテ作ラレタルモノトハ大ニソノ價値ヲ異ニシ二者ヲ比較スルニ当リテハ至ル所其弊ヲ免カレサルカラス。又タ如ク同シク比較的正確ナル方法ニヨリテ作ラレタル統計ニテモ統計的調査カ適当ニ正確ニ行ハレタルヤ否ヤニ就テハ其統計ヲ始メノ價値ニモ大ナル影ヲ生ス、故ニ統計ヲ利用スルニ当リテハ一ツ一ツニ就テ其出処ヲ調ベ其價値ヲ判断シタル上ニシテ必要ナル基礎ヲ加フルヲ要ス。更ニ用ヒラルル研究者ノ思ハルル注意ナリ。

(2) 各種ノ統計ヲ比較対照スルニアタリテハ比較ノ本ヲ整ヘテ比較ヲ最正ニ行フニ注意スルヲ要ス。換言スレハ出来ウルタケ同様ナル事ニ就テ比較ヲナスニ注意セサルヘカラス。例ヘハ死産ヲ算入セル死亡ノ統計ト之ヲ算入セサルモノトヲ直ニ比較ヲナストカ、又ハ春季ニ行ヒシ人口調査ト冬季ニ行

ヒシテソノ内容ノモノヲミナシテ比較スルカ、或ハ又異過期ニ行ヒタル家計調査トソノ以外ニ行ヒシモノトヲ比較スルカ、或ハ通常費ヲ算入スル外ニ臨時費ノ数字ヲ立テ別ニセサルモノトヲ比較スルカ、或ハ一方ニハ除算ノ仮ヲ他ノ一方ニ決算ヲ取ルカ如キ若比較ノ宜シキヲ得ザルモノニアラサルナリ。併乍ラ同シ標準、一般ノ範囲ニ於テ比較ヲ行フハ半ニ容易ナルコトニアラズ。故ニ一々各統計ノ実質ヲ調ヘテ比較シ得ヘキ程度ヲ定ムルコトヲ必要トス。若シ統計ノ不備或ハ不一致ノ為ニ比較ヲ為スヲ能ハサル場合ニハ之ニ対シテ其ノ基礎ヲカルコトヲ要ス。

(3) 単純ナル絶対数又ハ比例数平均数ニ依拠セスシテ更ニ深ク之ヲ内部ニ立入リテ精細ナル研究ヲナサヾルヘカラス、例ハ甲乙二国ノ一年ノ人口増加数、ソノ増加率ガ同数ナル場合ニ右人ガ之ヲシテ直チニ両国ニ於ケル人口増加ノ有様ヲ同一ナリト判決スル能ハス、例トナレハ甲国ハ出生数ガ乙国ヨリモ比較的ニ多ケレド死亡数モ亦比較的ニ多キ故乙国ト同シ増加ノ有様ヲ呈スルニ過キスシテ両国ガ其人口増加ノ点ニ於テ決シテ同一ナルニアラサルヲ以テナリ。若此点ニ対シテ若人ノ陥リヤスキ誤ハ比例数ノ増減ヲ以テ直チニ絶対数ノ増減ト見ナスコトナリ。併乍ラ比例数ノ増減ハ必スシモ絶対数ノ増減ヲ意味セス、従テ例ヘハ比例数ノ減少ハ絶対数ノ減少又ハ増加モ来リ得ヘク也ノ二ツノ場合ハ決シテ之ヲ同一視シテ論スルヲ得ハカリ。

(4) 統計的研究ヲ為スニアタリテ偏見利害感情念ヲハ去リテ冷静公平ニ研究ヲ為スヘキハ勿論ナレトモ従来ヤモスレバ此ノ点ニ反シテ熱心ヲ忘レテ研究者カ無意識的ニ数字ノ採用ヲ誤リ自己ノ論論ヲ誤ル実ニ統計ハ之ヲ不確ナリ或ハ偶然的ナリトシテ容易ニ之ヲ変ル一視シ自己ニ有利ナル点ノミヲ取リテ之ヲ用フルハ若人ノ常ニ見聞スル処ニシテ

[illegible]等、特殊ナル統計ニアラサレバ、単純ナル男ツモリニモアラズ。

3. 単純ナル絶対数又ハ比例平均数ニ依頼スヘカラス。

[illegible]調査

年	米	麦
1885	43.9	
1885	37.5	
1907	35.2	
米国ニテハ		
1890	38.0	
1900	35.9	

然ルニ percentage ハ下リタレド絶対数ハ少シ多クナリテアル。
米国ニテハ耕作者ノ数ハ絶対数ニ増シタレド商工業者ガ別ニ増加シタレバ percentage ガ下リシナリ
英国ニテハ percentage モ絶対数モ下リタリ。

∴ 農業ノ percentage 減ジタルトテ之ヲ以テ直チニ農業ガ衰ヘタルト云フヲ得ズ。

比例数ノ減少ヲ絶対数ノ増減ト為スヘカラス

4. 偏見、利害感情念ヲ去ルヘシ。

Irlandノ不具者ガ増生スルノ比率ニ於テ野蛮ニ生ル立ヲ以テ
比較ハ不具者ガ多ク生ルト論結スルハ誤リ。
既婚者増生スルハ貧民ノ間ニ於テ多シ故ニ此ノ比較ニ
不具者ガ貧民ノ間ニ多ク生ルト結論スルハ誤リ。

介 原因ノ探究

因果関係ハ連鎖

統計的研究ノ注意要件
論結ノ作成
1、材料ノ正確
大胆ナル論結ノ躊躇
2、通則ノ発見

又大ニ注意ヲ要スル点ナリ。何ナレハ既ニ一若ク浅薄ナル人ニ在テハ十ノ成功
抱カシムルコト強ニ甚シケレバナリ。

(5) 凡ソ社会ノ現象ハ錯綜複雑ナル原因ノ結果トシテ生スルヲ常トスル
ヲ以テ学人ハ論理学上ノ推理ノ通則ニ従ヒテ広ク各種ノ方面ヨリ十分ニ事
実ヲ研究シテ其原因ノ発見ヲ誤ラサル様注意セサルヘカラス。然ルニ一ノ
事実ト他ノ事実トガ単純ニ共存スルカ或ハ継起スルコトヨリ直ニソノ間ニ
於ケル因果関係ヲ連想スル虞ヲ免ル、陥リ誤謬ニシテ多クハ避カヘキ
処ナリ。Mayr-Smithノ挙ケタル例ヲ以テ示セバ米合衆国ニ於テ外国
生レノ人民ト内国生レノ人民トヲ区別シテ犯罪数ヲ比較スルトキハ前者ハ
刑法ニ多シ之ヲ見テ直ニ其原因ヲnationalityノ相違ニ帰スルハ
誤ト言ハサルヘカラス。何トナレハ外国生レノ人ノ中ニハ青年男子割合ニ
多キヲ以テ犯罪数ノ多キハ決シテ直ニ之ヲ国籍ノ相違ニ帰セハヲ待サル
カノ如ク統計材料ノ価値ヲ比較シ得ヘキ程ニ熟キ十分ノ注意ヲ加ヘ公平
ニ偏ラスシテ右ノ考慮シ終ル後ニ一定ノ結論ニ達セサルヘカラス、不十分不正確ナル
統計材料ニモノ姑シ大胆ナル論結ヲ求ムルハ統計的研究者ニトリ最モ忌ムヘキ事
ニシテ、タトヘ研究ノ結果ガ或ル意味ヲ示シ因果関係ヲ確定スル情相的ノ論結ニ達セ
シ場合ニ於テモ尚之等ハ一ノ確実ナル証明ニシテ、彼ノ大胆ナル情相的論結
ヨリ実ニ何ヲヨリ十分ニ証明セサルニ比シ遠ニ勝レリト言ハサルヘカラス、併シ之ト同時ニ
注意スヘキハ統計的研究ヲ為スニ当リ其研究ノ材料多シトイフ事ハ尤モ苦シマサル所
ナレバ往々ニ多ク統計材料ノ蒐集ニノミ忙シクシテ其材料ノ中ノ何等カノ論結ヲ下シ
何等カノ通則ヲ求ムルヲ忘ルヘカラス、単純ナル材料ノ蒐集家ニ終ル人程ニ猶
越的論結ヲ下スト共ニ統計的研究ニ取ツヘキ悠々ナリト言ハサルヘカラス。

第六章 大数ノ法則.

Das Gesetz der grossen Zahl.

統計的研究ノ目的

統計的研究ノ結果ハ人ノ何者ヲ到達スルヤ. 換言スレバ人ノ統計的研究ノ目的ハ果シテ那辺ニ存スルヤ. 統計的研究ノ目的ハ前ニ述ベシ如ク社会的現象ノ中ニ存在スル数的通理通則ヲ発見スルニアリ. 然ルニ通理通則ヲ確カムルニハ単ニ数字ニ基キテ其原因ヲ探リテ因果率的ノ関係ヲ見出スニアルナリ。

通則ノ性質

仮令トカク数字ノ上ニ表レシ通則ノ発見ハ如何ナル場合ニモ統計的研究ノ目的ニシテ且ツ此通則ノ確カナル以上ニ出ツルヲ能ハサル場合モ亦少カラス。

今少シク通則ノ性質ヲ説明セニ凡ソ社会現象ハ常ニ変動シ其間ニ一定ノ秩序整キカ如キナレド今若人カ大量観察ノ結果タル広範ノ社会ニ関スル統計ヲ取リテ之ヲ物ニノミ時ニノミ所ニノミテ要約集シテ之ニ法照比較スル時ハ社会現象ノ中ニ制度個々ノ場合ニハ表徴シ得サルカキ秩序有リ其間ニ一定ノ通則アルヲ発見スベシ。

大量観察ト通則ノ発見

例ヘハ出生ニ於ケル男子ノ者ニ女子ヨリ勝ルコト、出生ハ通常一月乃至三月ノ頃ニ最モ多シト云フカ如キ之ナリ。或ハ又結婚者ノ死亡ハ非結婚者ニ比シ割合ナシ。或ハ婚姻数ハ穀物ノ価格ハ毎年大差ナシ又必需品ノ價格ノ騰貴ト貨幣ノ購買ト相反ス傾向アリ。或ハ所得少キ社会階級ハ生計ノ必要費殊ニ食料費ニ投スル部分カ益々多キヲ加フル等。凡ソ社会現象ニツキ其大量ヲ系統的ニ観察スレバ人ハ直ニ之等通則ニ到達スルコトヲ得ルナリ。

斯ノ如キ個々ノ場合ニハ容易ク思ヒ及ブコト能ハサル規律通則ガ何故ニ大量観察ノ上ニ発見シ得ルカ、蓋シ大量観察ヲ為ス件ハ一定ノ社会現象ニ対シテ一般的ニ恒久的ニ存スル原因カ独リ其結果ヲ現シ、特別的偶然的ノ原因ハ其影響ノ跡ヲオサムルニ依ルモノト解セサルヲ得ス. 社会

社会現象以外ノ事柄ニ就キ例ヲ引用サルル例ヲアケンニ、同数ノ黒白ノ球ヲ袋ノ中ニ入レ之ヲ盲目ニ一ノ球ヲ取出シ之ヲ記録セシ後ニ一ノ之ヲ袋ニ入レ更ニ再ビ盲目ニ一ノ球ヲ取出シ、カク繰返スコト数回サルル場合ニ於テ其ノ回数少キ時ハ其取出サレル二種ノ球ノ数ノ割合ハ大差アルモノナレ共 非常ニ多ク回数ヲ重ネル時ハ恒久的ノ事実ニ於テ黒白両球ガ回数ニ存在セル有様、換言スレバ両球ヲシテ各々回数ニ出テシムル原因ガ其結果ヲバ数字ノ上ニアラハシ取出サレタル両球ノ数ハ事実上其割合ガ恰度回数トナル。

又之ヲ他ノ例ヲトリテ説明スレバ 医師ガ一ノ新シキ治療法ノ效果ヲ知ラント欲シ之ヲ多数ノ患者ニ応用スレバ甚タ異キ体格ノ患者ニ応用セル場合ハ甚タ異キ患者ニ応用セル場合ト相殺セラレ、普通ニ及ス結果ヲ計ルコトヲ得。Constant ニ働ク factor ナル moment ナル治療法ノ効能ヲ知ルコトヲ得ルナリ。

社会現象ノ場合ニモ又之ト等シク例ヲ類ヲ等シクシテ、社会現象ガ一般的ノ原因ト特別的ノ原因トニヨリテ支配セラルル場合ニ於テハ個々ノ場合或ハ少数ノ場合ニハ到底一般的ノ原因、Constant ノ原因ノ結果ヲ何ヲ知ルヲ得サレ共之ヲ大量的ニ多数ニツキテ観察スル時ハ特別的偶然的ノ原因ノ結果ハ互ニ打消サレテ一般的 Constant ノ原因ノ結果ガ自ラ明ニ現ハレ来ル

? Constant moment. factor. 事情 要素 状態
~~element 要素~~ 能率
◎ moment – moving cause or force.

社会的現象ノ場合

赤玉 7　白玉 3.

之ヲ振ツテ出ル probability ハ赤玉ハ 7/10、白玉ハ 3/10。

Quetelet ノ実験。白玉100、黒玉110ヲ振リ出ス、

4096回。　白玉 2066　5054
　　黒玉 2030　49,6.　> 即 吹風数ナリ。

Wastergaard

10,000回　白 5011、
　　赤 4989.

即チ多数繰返シテ実験スレバ Probality ノ結合ヲイロイロニ変化シテ得。

自然界ノ実例 Buckle — History of Civilization.

一般的原因ヨリ生ズル一般的結果
‖
通則

大数ノ法則

故ニ又大量観察ヲ以テスレハ一般的原因ノ結果ト認メヘキ一般的ノ実際生ノ probability ヲ経験上見出スヲ得ルナリ。従テ又其結果ヲ以テ将来ヲ推測シ或ハ能ク実用ノ目的ニ利用スルヲ得ルナリ。而シテ吾人ノ上ニハタラク一般的原因最モ主ナルモノハ吾人ヲ囲繞スル自然界ノ状態ナリ。吾人ハ自然界ノ影響ヲ受クルノ大ナルハ多言ヲ待タス、個々ノ吾人ハ之ニ支配セラルルニアラス、吾人ハ単ニ自然ニ育成スルニナラス、吾人ノ生活シ活動スル社会ノ状態カ亦吾人ニ大ノ影響ヲ及スナリ。而シテ之等自然的及社会的ノ一般状態ハ急激ニ変動スルニアラサルヲ以テ影響ニ依テ生ズル結果カ亦大変動ヲ来サヾルハ自然ノ理ニシテ吾人ハコノ秩序通則ヲ発見スルモ亦怪ムニ足ラサルナリ。従テ又反対ニカヽル一般状態ニ急変アル中ニモ秩序通則ヲ若シクハ接近サルルコトアルモ亦容易ニ首肯シ得ルナリ。

彼オ大量観察ニヨリテ社会現象中ニ見出サルル regularity ヲ要因ニ

Bodio, Della statistica 1869.

「個人ハ自由ナリ。然レドモ社会ハ全体ノ見ハ一定ノ法則ニヨリ維持セラル、此法則ガ即チ大数ノ法則ナリ。換言スレバ人各ハ自由ナリ然レドモ人類ハ一定ノ方向ニ進ミツヽアルナリ。個人ハ探索ナリ、若シ社会ハ探ナリ。探ハ一定ノ方向ニ進ムモノ、探究ハ自己ノ欲スル方向ニ多ミ得。」 — Bodio

然レドモ探究ノ自由ナルハ、範内ニ於テノミ。又全体トシテハ探ノ方向ハ定ノ行ハルルナリ。故ニ探ハ実ハ探ニ支配セラレタルナリ。故ニ大数ノ法則又之ヲBodioハ名ヅケテ大数ノ上ニ行ハルル法則ト見ルノ外ナシ。

Bodio「大数ノ上ニ行ハル法則」

大数ノ法則ノ性質
(1) 普遍必然的ノ自然法ニアラズ

(2) 法律規則ノ、又ハ道徳的規則ニアラズ

Wagner, Die Gesetzmässigkeit in den scheinbar willkürlichen menschlichen Handlungen.

(3) 数的ノ法則ノ、アラズ 経験法ナリ

大数ノ法則ト意思ノ自由

大数ノ法則ト称ス。Italy ノ学者 Bodio ノ如キハ此ノ所謂大数ノ法則ヲ単ニ大数ノ上ニノミ行ハルル法則ノミナシテ説明スルモ大数ノ法則ハ左ノ意味ニアラズ、同種類ノ現象ノ多数、其集団ヲ観察シテ始メテ見出サルル面ノ意ナリ。大数ノ法則ヲ生ゼシムル一般的原因ハ個々ノ場合ニ在リテハ皆偶然ナリ、唯個々ノ場合ニハ他ノ法則ノ原因ニ妨害セラレテ其働キヲ認メ難キニ過ギス。此一般的原因ノ結果トシテ一定ノ現象ニ発現スル事実ヲ指シテモ法則ト称スルノ、特殊ナルヤ或ハ法則ナル語ヲ広義ニ解スルカ或ハ狭義ニ解スルカニヨリテ決セラル、但シ此大数ノ法則ナル語ハ余ハ適当ナリト思ハザルモ又之ヲ排斥セザルベカラストノ地モナシ。

所謂大数ノ法則ハ普遍的必然的ナル性質ヲ有スル自然法ニアラズ、唯偶然的社会的ノ一般原因カ支配セザル範囲ハ社会現象中ニ現ハルル秩序ノ面ノミ。故ニ此原因カ同様ニ存在スト認メラルル間ハ、人ハ将来ニ於テモ亦之ガ秩序ノ行ハルルヲ予想シテ之ヲ能ク実際ノ目的ニ応用スルヲ得ルナリ。然シテ其原因カ自然的原因ナル場合ニ於テハ之ヲ然リトス。若シ例ヲアシレハ死亡ト年齢トノ関係ヲ研究シテ一定ノ死亡率ヲ計算シテ之ヲ生命保険ニ応用スル等之ナリ。又大数ノ法則ハ人ノ行為ヲ強制スル法律的規則ニアラズ又人ノ意思ヲ束縛スル道徳的規則ニモアラズ。即チ人ハ一定ノ数ノ比例ヲ充スガ如ク死亡、婚姻ノ如ク一定ノ程度ノ結合ヲ言ハヾニアラズ。Quetelet ノ所謂社会ノ義務ニ準拠シテ義務ヲ実行スル為メ犠牲トナリテ自ラ近ヅキテ殉人トナルモノニアラズ。所謂大数ノ法則ハ一定ノ社会現象中ニ実存在スル数的秩序ヲ記載シ経験法ニ基キシテ一ノ準則トシテ其ノ者人ノ上ニ強制力或ハ道徳的力ヲ有スルモノニアラズ。

大数ノ法則ハ個人ノ意思ノ自由ヲ否定セズ。固ヨリ個人ハ絶対的ノ意思ノ自由ヲ有セズ。自然ノ有様ハ社会ノ状況ニヨリテ気質セラル。之等ノ気質ヲハナレテ全ク自由自在ナル人ノ思フヽ所ヘ決言シテヲ実行スル能ハズ。此気質ヲ

ト個人ノ関係ヲ部分的ニ解スルニ、即チ統計的研究ヲナス処ニシテ大数ノ法則ニソノ影響ノアラハレニ外ナラス、各人ノ大数ノ法則ニヨリテ各人ノ行為経済ノ意思ヲ自然的及社会的ノ一般的原因ニ影響セラルルヲ知ルナリ、併シ各人ノ意思ノ如キ原因ニ機械的ニ育成スルモノニアラス、之等ノ原因ハ一定不変ニシテ常ニ各人ノ上ニ一種ノ強制力ヲ有スト云フモノニシテ、各人ハ之影響ヲ拒絶スルヲ得ヘク又進ミテ之原因ノ変更ヲ図ルコトヲモ得ヘシ。之レ社会現象ニ於テ一方ニ秩序アリ他ノ一方ニハ秩序アリ、又時ト処トニヨリテ之ニ変更ヲ有シ二ヨリテ也矣ヲ察知スルヲ得。故ニ個人ノ意思ハ絶対的ニ自由ナリトイフヘカラサルモ亦全ク自由ニアラスト断言スルヲ得ス。但シ個人ノ意思ハ多キヲ十分ニ細カニ研究シテ個人自由意思ノ問題ヲ根本的ニ解釈スルハ統計学ノ成ストスル所ニアラス。統計的研究ノ見出ス通則ハ自然的社会的ノ大原因ノ結果トシテ生シタル社会現象中ニ於ケル規則正シキ関係ノ発表シナリ。大数ノ法則ハ一方ニハ個人ノ絶対的自由意思ヲ否定スルモ他方ニ於テハ又個人ノ自意思カ全ク自由ナラストノ証明ヲ為スモノニアラサルナリ。

各論ノ目的

各論ノ分類法

第一ノ説 { 人口統計論 / 経済 / 道徳 / 教育 / 政治

第二ノ説 { 人口 / 経済 / 社会

第三ノ説 { 人口 / 有形的文化 / 無形的文化

社会統計論 Meyer Zahn

系ハ Conrad ニ従フ

material culture.

道徳統計論——犯罪、婚姻、私生児等。

政治統計 — 選挙統計等。

教育統計 — 政治統計ニモ入リ得ル点。経済統計ノ範囲内ナリ。人口及其変化ノ結合行動即教育ハ人口及統計 経済ノ上ニ立ツモノナリ。

第二編 各論

統計学ノ各論トハ社会現象ノ各方面ニ亘ル統計的調査並ニ其結果ヲハ夫々綜合シテ秩序ヲ立テ論述スルヲ目的トス。而シテ従来行ハレタル各論ノ分類法ニモ種々アレドモ第一ハ人口統計論、第二ハ経済統計論、第三ハ道徳統計論、第四ハ教育統計論、第五ハ政治統計論ナリトセリ。併シ近来ハ之ヲ一層簡単ナシテ下ノ如ク分類ス即チ一、人口統計論、二、経済統計論、三、社会統計論之ナリ。併シ此分類ノ中所謂社会統計論ハ一体ノ其意義広漠ナルヲ以テ余ハ少シク修正ヲ加ヘテ各論ヲ左ノ如ク分類セント欲ス即チ(第一)人口統計論、第二即チ社会団体ヲ組織セル人口ヲ如何ニ構造セラレ又如何ニ変動スルカニ関シテ大量観察ノ方法及結果ヲ説明スル部分ナリ、分ケテ人口構成論及ビ人口変動論トナル。(第二)ハ有形的文化統計論。即チ社会ノ有形的方面ニ属スル統計的ノ研究ヲ述フル部分ニシテ普通ニ所謂経済統計論ナリ、此中ニ於テハ農業統計論ヲ始メトシ鉱業ノ生産、交易、分配並ニ消費ノ統計論ヲ包含ス。(第三)ハ無形的文化統計論。即チ社会ノ無形的方面ニ属スル部分ニシテ此中ニ於テ主ナルモノハ所謂道徳統計論ナリ。此道徳統計論ノ中主ナルモノハ犯罪統計論ナリ。道徳統計論ノ外ニ教育統計論及政治統計論モ亦此部門ニ含ムベキモノ、但シ何レモ未タ現在ノ発達ノ程度ニ到ラザルモノ多シ。以上三ノ部分ニ於ケル研究結果ヲ綜合シテ社会ノ実況ヲ明カニシテ統計的地図ヲ形成スルヲ吾人ノ最終目的トシテ追及スル所トス。

Demography。 仏人 Guillard が始メテ此法ヲ人口統計学ニ用フ。
人民 記述
しかし此法ニハ十分広キ意味アリ。(一般人類学)、

人口統計論ノ部分

Demonology (人口ニ関スル理論)。…之ヲ用フル人少数

Vital statistic 「人口ノ動態」ガ本義トシテ之ニ次テ人口統計論トイフモノアリ。

仏ノ意義

Bevölkerungsstatistik.
(Populationistik 人口学…之ハ明ナリ)

人口統計論ノ分類

Bevölkerungsstand
" bewegung

人口ニ関スル統計的ノ調査

第一部 人口統計論

人口統計論ハ統計学中最モ古クアリ又最モ発達セル部分ナリ。其成分ハ元来(如何)社会ハ一定ノ土地ノ上ニ生息セル個人ノ集団ナリ。此社会ヲ組織セル人民ノ集団ヲ人口トイフ。人口統計論ハ一口一社会ノ人口ヲ取リテ単位ニ之ヲ人民ノ集リトシテ観察シテ其組織変動ヲ論スルモノナリ。換言スレハ人口カ如何ナル分子ニヨリテ如何ニ構成セラレハカ並ニ如何ナル原因ニヨリテ如何ニ其大キサヲ変スルカヲ調ヘテ其結果ヲ説明スルモノナリ。故ニ(今)人口統計論ハ之ヲ分チテ人口構成論及人口変動論トナス ナリ。前者ハ人口ヲ単ニ静的ニ観察スルモノナリ、後者ハ之ヲ動的ニ観察スルモノナリ、往々学者ハ要面ニ人口静態論及人口動態論ナル語ヲ用フ。但シ人口ハ分論ハ時々刻々変動シテ止マス、即チ人口ノ静的状態ナルモノハ常ニ。依テ"此一定ノ時期ヲ選ミ其ノ時期ニ於テ(後ニ)人口ヲ止ラシメタルヲ観察シ其数其構成ヲ何ノ変(外)ナキナリ、即チ数ノ如クニシテ調査セラレタル人口ノ静態ト、更ニ時々変動スル人口ノ有様トヲ観察シテ人口統計論ヲ形成スルナリ。

第一章 人口ニ関スル統計的調査

人口ニ関スル統計的ノ調査ハ分チテ二トナル。(一)所謂人口静態調査ニシテ(他)ハ人口動態調査ナリ。但シ人口静態調査ハ普通ニ之ヲ略シテ人口調査トイフ。前者ハ第一次調査ニシテ後者ハ第二次調査ナリ。又前者ハ一時的調査ニシテ後者ハ連続的調査ナリ。

Census. 又スル人口調査ニ限ラサレド単ニ census トカハ人口調査ヲ言ハム。
census of production. トカハ場合ノ census ハ統計的調査ヲ言ヒ

人口調査（人口特殊調査）
人口調査ノ必要

皆神天皇 民ノ戸口ヲ調ブ
歟
器馬

1842年 Brussels ニ於テノミ行ヒタリ。ソノ成果ノ発刊シタルモノ6年ニシテ行ヒタリ。

其 嚆矢
1846

口全体ヲ範囲トセル場合ノ事

二 人口調査ノ目的物

人口ノ類別

本籍人口ノ調査

外国人其他ノ住者ノ数ハ少シ。又其土地ノ人ニシテ他ノ住所ニ住ム人ノ其地ノ人口ニシテ数ヘラレル者ニ大ノ違スルトキハ。アル特別ノ目的ノ為用ヒラルルノミ。（外国人ノ住者ノ数ヲ知ル事）

第一款 人口調査 Census.

凡ソ一国一社会ヲ組成スル人民ノ総数ニ其性質ノ一般状態ヲ知ルニハ何レノ時ニ於テモ其行政上必要ヲ感スルコトナルベシ。古来諸国ニ於テ其人口ヲ調査セシ例ハ甚タ多シ。侍ノ徒来諸国ニ行ハレシモノニ甚タ単純ナル調査ニ過キサルモノナレトモ或ハ家ノ数若クハ納税者ノ数又ハ出生死亡ノ数等ノ事柄ニ基キテ推算シタル人口ノ見積リニ過キスシテ密スルニ推算ノ方法ニ誤ノ不確実ノ数字ニ外ナラス。然ルニ近来文明諸国ニ於テ行ハルル人口調査ハ之ト趣ヲ異ニシ或一定ノ時期ヲ撰ミテ其時期ニ於テ全国一般ノ人民ニ就キテ直接ニ其有様ヲ正確ニ調ヘ上クルモノナリ。かくの如き人口調査ノ始メテ開キシハ1846年白耳義ニ於テ Quetelet ノ力ニヨリテ行ハレシ人口調査ナリト称セラル。此調査ハ彼ノ国際統計会議ノ議決ト歩待チテ欧州諸国ニ模範ヲ垂レテ此種ノ調査ノ発達ヲ促セリ。今ハ方下ニ現代諸国ニ行ハルル人口調査ヲ取リテ之ニ亮直ナル点ヲ説明セントス。

(一) 人口調査ノ目的物 ハ一国ノ人口ニアル。ナホ詳シクハ人口調査ハ人口ヲ組成セル個人ヲ観察ノ単位トシテ人口トイフ集団的現象ヲ調査スルモノナリ。而シテ此人口ニ初テ先ツ問題トナルハ如何ナル人口ヲ調フルカノ点ナリ。蓋シ人口ハ要面ニ三ツノ区別スルヲ得。(其一) ハ本籍人口或ハ法律上ノ人口 legal population ニシテ調査地ニ本籍ヲ有スル人口ヲ言フ。(其二) ハ常住人口ニシテ調査地ニ一定ノ住所ヲ有スル人口ヲ言フ。(其三) ハ現在人口ニシテ本籍或ハ住所ノ有無ニ拘ハラス調査地ニ調査ノ時ニ現在セル人口ヲイフ。此三種ノ人口ノ中本籍人口ノ調査トハ調査地ニ住居スルカ或ハ現在スルカハ全ク関ハスシテ専ラ其調査地ニ本籍ヲ有スルヤ否ヤニノミ着眼シテ其人口ヲ調フルモノナリ。故ニ往昔ノ如ク交通ノ便アマリ開ケス人口ノ移動少カリシ時代ニハ此調査ニテ足リタルモ人口及戸数ノ増加スルニシタカヒ交通頻繁トナリシ今日ニテハ到底此調査ヲ以テ人民ノ常態ヲ知ルヲ得サルベシ。故ニ諸国ニ於テハ本籍人口ノ調査ヲ廃シテ常住人口ノ調査ヲ以テ

常住人口ノ調査

例ヘバ一週間以内ノ滞在者ハバ常住者ニアラズ、又逆ニ一週間以上ノ不在者ハソノ滞在地ノ常住者ト見ナスベシ。カヤウノ制限ヲ定メテモ尚適当ナラザル点多シ。

1872. 日本政府ハ当初、人口政策ハ現在人口ノ調査ヲ主ニスルヲ可トスル旨決ス。

然ルニ日ノ人口政策ニテハ コトハズ ナレバ現在人口ナリ
秋日 〃 本籍人口ナリ

現在人口ノ調査

現在人口調査ニハ人ノ移動ヲ成ルベク少クスル様注意スベシ。例ヘバ市場学校旅行当ハベク休ムヲニスルガヨシ。カヤウ現在人口ヲ成ルベク常住人口ニ近カシムベキナリ。

調査ノ方法

世帯 {家族 / 一人 / 集合}

下宿屋 {家族所帯}

スルニ至ルハ怪シムニ足ラザルナリ。常住人口ノ調査ニアリテハ凡テ人民ヲハ其住所ノ又ハ住所ト認メラレタル処ニ於テ調査スルモノニシテ常住者ニシテ一時ノ不在者ハ凡テ之ヲ算入スルニ反シ、常住者ニアラザル一時ノ現在者ハ之ヲ算入セズ。サレバ常住人口ノ調査ハ調査地ト一時的ノ関係アルモノハ之ヲ除外シテ比較的ニ恒久ナル関係ニアル定着的ノ人民ヲ調フルモノナルモ実際上又学問上甚タ判然タルト雖モ、交通ノ大ニ開ケタル今日ニアリテハ区別シテ常住人口ヲ調査スルハ困難ニシテ一時ノ不在一時ノ滞在ナル事実ノ精密ニ之ヲ調査スルニ実際甚タ困難ニ、殊ニ大都会ノ如キ人ノ往来甚シクシテ不定的人民多キ地ニアリテハ然リトス。故ニ現今ニ於テ諸国ハ概ネ常住人口ノ調査ヲ主トスルヲ止メテ現在人口ノ調査ヲ之ニ代フルニ至リ。但シ現在人口ノ外ニ故ラニカヘテ常住人口ヲ調査スルト認メラルルモノヲ調フルハ今日ナホ諸国ニ多ク如キナリ。之方法ハ通例ハ調査ヲ為スニアタリテ現在人口ノ外ニ別ニ常住人ニシテ一時不在ノモノヲモ申告セシメ彼ラシテ之ニ基キテ現在人口ニ一時ノ現在者ヲ除キ之ニ一時ノ不在者ヲ加フル方法ヲ取リ。

現在人口ノ調査ハ調査ノ当所ニ本籍住所ヲ有スルト云フニ拘ラズ凡テ調査ノ時点ニ現在セル者ヲソノ現在セル当所ニ於テ悉ク調ベ上ルモノトスルヲ最モ簡単ニシテ実行ノ確実ナル結果ヲ得シ故ニ此調査カ人口ノ常態ト多異ナル結果ヲ生ズル虞アルニモ拘ラズ現今諸国ニ於テ一般ニ行ハルルナリ。人口調査ヲ進ムル方ハ現今実際ニ行ハルル処ニテハ世ニ個人ヲ個々ニ合就シテ調査セシメル所帯Household ヲ素単ニ所帯ヲ通シテ調査ヲ行フナリ。所帯トハ共人家ヲ経営シ日常生活ヲ営ム方法ヲ指ス。所帯ハ親子夫婦僕婢等カ集リテ作ル所謂家族所帯ナルモノヲ本体トスルモ其外ニナホ独一人ニテ所帯ヲ作ル一人所帯並ニ学校寄宿舎ノ如ク多数人カ同ジ場所ニ集リテ一ノ共同的ノ家ヲ経営ス

所帯調査ト人口調査トニ異ル。これは所帯ヲ画シテノ人口ヲ調査スルナリ。

9. 調査ノ時期

9. 調査ノ回期

米英墨 — 10年
独仏 — 5年

6. 調査ノ期日

墨 1880 以下10年毎
英 1801 以下10年毎
米 ~~1880~~ 1790 以下10年毎
独仏 1871. 1875 以下5年毎 新聞紙合理数ヲ人口数ニ比ベテ多少、比較的多年毎ニ言ル
仏 1821. 1831. 1836. 以下5年毎 --- 1911.
墨国ノ調査ハ10.又ハ11ノ2ツ年ニ於テ多ク行ハル。
我国 明治36年 1905 43年 1910 以下十年毎

人民ガ最モ安寧ナル時期
仏 — 3月 終
英 4 終
米 6 終
独 12 終
墨 12 終
日 10. 終

ガスト源ヲナル所得年税所帯アリ。人口調査ハ先ツ之等ノ所帯ニ着目シテ調査ヲ行フナリ。後ヲ所帯ヲ主宰セル或ハ管理セル者ヲシテ所帯中ニ於ケル職員ニ就テ誠実ナル答申ノ義務ヲ負担セシムルニアリトス。

(二) 調査ノ時期 ニ就テハ三ツノ点ヲ述ベテ明ラカニス。(一)ハ調査ノ回期 period (二)調査ノ期日 (三)調査ノ時刻ナリ。調査ノ回期ニ就テハ人口調査ハ絶ヘズ毎年又ハ短キ期日ニテ絶ヘズ繰リ返スコトヲ望マシキモ調査ノ準備其実行ニ費ス結果、整理編纂ニ力ヲ注ギ費用ト手間ト時日ヲ要スルノ結合ニ永キ期日ニ亙リテ繰リ返シテ行フニ甘ンセザルベカラズ。例ヘハ粗雑ナル期日換言ハ、ヨリニ十年毎ニ一度ツヽ実施スルカ或ハ独仏ノヨリニ毎五年ニ之ヲ実施スルカ二者ノ内何レカヲ画例トス。十年ト云フ期日ハ実際煩繁ニシテ世態、変遷甚シキ為ニ一度ニ失スル事アリ。調査ノ範囲ヲ主ニ単純ナル人口調査ニ止ム場合ニハ寧ロ五年毎ニ繰リ返スヲ以テ適当ト認ムル。次人口調査ハ一年ノ内ノ何レカ時期ニ於テ行フヲ適当トスルカ、歴年ノ最終ノ最終ノ日ニ之ヲ行フヲ甚タ便宜ト思ハル。何トナレバ元来人口調査ナルモノハ人民ノ常態ヲ調査スルモノトスル故、独リ限リ人民一般カ甚タ平穏ノ住所ニアリテ最モ固定セル時期ニ行ハルヲ可トスベシ。世知ノ如ハ歴年ノ終リ変ル時期ニ多クシテ適当ト見ナサズ。後テ詳ロニ述ベタル其ノ情況ニ照シテ人民カ最モ安穏ナリト認ムル時期ヲ選ビテ調査ノ期日トセン事ヲ主トイハザルベカラズ。後ヲ又調査ノ期日トシテ日限全日ヲ選ブルヲ注意スベキナリ。諸国ノ実例ニ照シテ例ヘハ仏国ニテハ三月ノ終リ、英国ニテハ四月始メ、米国ニテハ六月始メ、独国ハ十二月始メヲ選ベリ。墨国ハ恐ラク十二月最終日ヲ選ベリ。我国ニ於テハ未タ此ノ如キ人口調査ヲ全国ニ施リ(ノ範囲トシテ)セラレザリシ時、仮令実施セラルル時ニハ若干ノ

日本政府ノ公表ノ
1873　十二月ヲ以テ期トシ決行ス
1872　以前ニ於テハ報告スルノミ

台湾 10月10.
清 11月10. 時期危険 3日ハ天長節ノ為ニ以前ニ決行ス

Q. 調査ノ時刻

人民ノ国家ニ属スル時期

night census ニシテ

day census

3. 調査ノ項、範囲、

a. 常ニ調査スベキ事項

b. 時々選ンデ調ベラルル事

c. 特別ノ目的ヲ以テ一時調ベラルル事

人口ノ調査ノ効益

1. 政治ノ知識
2. 他統計ノ基礎
3. 統計的知識ノ普及

夜後中ニ調査スルニアラズ、実際中ヲ現在トシテ翌日之ヲ調査スルナリ、出生死亡ニ付テモ零時以前ニ生シタモノハ之ヲ記入シ、ソレ以後ノモノハ之ヲ記入セズ、又零時前ニ死セルモノハ記入セズ、ソレ以後ニ死セルモノハ之ヲ記入セズ。旅行者ノ取扱ハ如何。汽車ニ乗ルモノハ之ヲ車中ニテ調査スルカ、全然不可能ニアラザレバ最寄ノ駅ニ於テ、猶ホ之ニテハ其翌日ノ翌日、午前中ニ到着セル者ヲ其地ニ於ケル現在者トシテ記入ス、航中ニテハ船ノ乗務員ガ調査員トナリ領海内ニ在ル者ノ調査ヲ為ス。領海ノ範囲ヲ出ルモノ又ハ領海ニ入ラザルモノハ之ヲ調査セズ。又夜半家庭外ニアルモノ、寄宿者等ハ翌朝宅ニ於テ之ヲ調査スルナリ。サレド夜ノ状態ハ矣ニ人民ノ有様ヲ知ルヲ得ザルコトアリ。即チ London 等ニ於ケル都市ニ住ム人ハ少シ、サレバ夜中ノ調査ニテハ真実ヲ知ルヲ能ハズ。サレバ night census ト又他ノ中ニ day census ヲ行ヘリ。

姓名…… 調査ハスベテ戸主ノ見ル所ニアラズ
男女別…… 男女数ノ比例等ハ政治上ノ企業関係ニモ、又男女ノ手ニモ重大ナル関係アリ。
年齢…… 人口調査ニ付テハ英国風ニ向フ仕方ト大陸風ノ仕方トアリ。英国風ニテハ満何才ナルカヲ尋ヌルナリ。即チ満十五才ニ七月ナラバ十五才ト云フ数ヲ尋ヌルナリ。大陸風ハ生年月日ヲ問フナリ。前後説ノ方法ヲ適切トス。精密ナル第一解ル結果実際上室内上效果ナシ。
婚姻関係…… 現今ノ場合ニ属スル問ハス、未婚、婚、生別、死別ノ外ニ何レ之ヲ尋ヌルカ之ハ一夫一妻ノ国ニ限ル。一夫多妻ノ国ニテハ後説ヲ
職業…… 口ニテ、精密ニ調査スルハ甚タ困難ナリ。英国ニテハ主ナル職業ヲ一ツニ上リ、然ルニ至ル所ニテハ精密ニ尋ヌ。即チ職業ノ分類ニ本職業ト別職業トヲ問フナリ。ナホ本職業中其他数ト其職業内ノ他ノ位トヲ問フ之等ノ点ニ於テ人口調査ハ経済調査ナリ。

十月一日ヲ以テ之ニ充テント定ムルカ如シ。
調査ノ期日ノ中ノ如何ナル時刻ニ於テ有様ヲ調ブルカ。此点モ亦人民一般ノ最モ固定安静ナリト認ムル時刻ヲ選ブベキモノ故現今ハ普通ニ調査日ノ午前零時ヲ以テ之ニ充ツ。即チ此時刻ニ於テ一切ノ人ヲ有リノママニ其現在セル場所ニ於テ調ブルモノニシテ其等ノ人々ガ其平生ノ住所ニアルヤ否ヤハ問ハサル所、従テ一時ノ不在一時ノ現在(滞在)並ニ出生死亡モ此時刻ヲ標準トシテ記入スベキヤ否ヤヲ決スル所、但シ実際ノ場合ニ於テハ此時刻ニ於テ人民ノ有様ヲミヲ以テハ其調査ノ状況ヲ如何ニモ知悉スルコト能ハズ、カカル地方ニ於テハ更ニ別ノ他ノ時刻ヲ選ミテ其点ヲ補正スルヲ得策トス、コノ実例トシテ英人ハ London ニ行ハルル日中調査(Day Census)ヲ採ルヲ得。

(第三) 調査ノ事項及範囲、

人口調査ニ於テ人々ニ対シテ問フベキ事柄ハ国ヲ異ニシ時ヲ異ニスルニ従テ変動シ必スシモ一定セズ。サレド現今一般ニ行レル人口調査ニテモ殆ト常ニ調ベ得ル事項ハ
a. 姓名、男女別(性別)、年齢、既婚関係、職業、世帯主ノ続柄、国籍等ノ事柄ニテ、此外時々選ビテ調ベラルルモノハ宗教、出生地、常用語、読ミ書キノ程度、身体上又ハ精神上ノ不具(欠損)等ナリ。但シナホ他特別ノ目的ヲ以テ一時限リノ事項ヲ加ヘルコトアリ。例ヘバ兵役ノ関係、或ハ世帯ノ状態、婚姻ノ状態ノ如シ。要スルニ人口調査ハカヤウニシテ通例比較的狭キ範囲ニ其事項ヲ限ラルルモ其調査ノ効益ハ決シテ軽ストスベカラズ。即チ効益主ナルモノハ (1.) 調査ノモノガ人口ノ構成其他ノ点ニ関シテ直接ニ老人ニ与フル知識ナリ (2) 人口調査ノ結果ガ他ノ諸統計ノ基礎ノ数字ヲ供給ス、(3.) 人口調査ナルモノガ凡テ統計的調査ニシテ人民ノ直覚心並ニ統計的智識ノ発達普及ニ著シク

世帯主ノ統制… 世帯形成ノ状態ヲ見ニガタシ

口籍

家族… セトハ自分ヲ頭トシテ或今世帯調査法ト行ハレ

生地… 現今ノ人口調査ハ現在地ニテ行フ。出生地ヲ尋ヌルハ何ロ生レノモノカ現在地ニ居ル何人アルカヲ云ヒ之ニヨリ各地方人ノ移動ヲ知ルヲ得。即チ地方生ハ人口移動ノ状況ヲ知ル為ナリ

寄留法… 一口籍ニ充分ヲ要シ諸地方ニ居ル者、他ノ方法ニ代ル方法、簡便法等行ハルカ、カレハ寄留法トシテ日本流ガ為ニ行ハルカヲ問フニハ我国ノ感化ガ為ナル範囲ニマデ達セシヤヲ知ルヲ得。

人口調査附随ノ調査

言語書… 教育ノ程度ノ意味ニアラス、芸学ノ如ガ為ニ特ニ「アルヤヲ問フルナリ

特殊身体上ノ欠陥… 盲聾唇、白痴、痴愚ノ五種ニ限ルモノ、不具者カ文化ノ進ミニヨリテ減少スルカヲ知リ得。又一方ニ等ノ不具者救済ノ設備ノ研究ヲ研究シテ等ノ興味アリ、サレド近来ハ世調査ハアマリ行ハレズ、特殊ヲ期スルヲ得サルナリ

無職業状態 arbeitlozigkeit. 失業保険等ノ関係

婚姻ノ状態、 仏国ニ実例アリ。Zweikinderesystem ノ調査ナリ。 ボヘミヤノ統計ヲ調ベタリ。

人口調査ノ利益

住所ノ調査、人口調査ノ準備的調査ナリ

1875年独ノ人口調査兼家屋調査… 結果不満足

内務省令第15号
市町村ハ、ソレ等ノ設ケタル調査ノ為ニ当リテ申告ヲ拒ミ又ハ虚偽ノ申告ヲ為シタル者ニハ二十五円以下ノ罰金ニ処ス。

第15条以内ノ罰金

4. 調査方式ノ調査割及結果ノ偏整

人口調査ノ方式

個票
世帯票

尚アルコトナリ。若シ人口調査以外ノ一般公衆ノ為ニシテ行ハレル独立ノ調査法ニ強ヒ関係ノ調査ニ至リテハ、其ヲ為サザル者ノ制裁関係ニ触レルコト甚シク徒ラニ虚偽ノ申告、不正ナル申告ヲ誘致スル虞甚タ大ナルモノアリ。サレハ人口調査ノ如キ人民ニ疑念ヲ抱カシムルコト制令ニ方キモノナルカ故ニ公衆ヲ教導スルコトハ決シテ難用ニアラサルナリ。

以上第4ノ事項ニ関スル人口調査ニ関シ付テ簡単ナル各種ノ調査例ハ不動産ノ所有、家畜ノ所有ニ関スル調査、或ハ住居ニ関スル調査ナルコト屡々アリ、之ハ決シテ不得策ニアラス。併シ人口調査ノ範囲ヲハ甚タ拡張シテ農工商ノ営業ニ関スル経済的特質ナル調査ヲカラ、或ハ今既ニ行ハレタカキ特殊ナル発事、調査並ニ人口移動ノ調査ノ併スルカ如キハ、ソレ等特殊ニシテ信スヘキ統計ヲ得キ世帯ヲ方法ヲ為ス者人、殺多シ難キ処ナリ。人口調査ノ調査ヲ以テ付ス之ニ対スル申告ヲ拒ミ或ハ故意ニ偽ノ申告ヲ為スカキ場合ニハ之ニ対シテ如何ナル制裁ヲカケルカ問題ニ成ルカラ実例ヲ見ル処ナリ。併シ之モ制裁ハ其所定罰ヲ目的トスルモノニアラス。唯調査ノ正確ヲ期スル為設ケラルルニ過キス、従テ実際ハ訴ニ止ムヲ得サル場合ニ限リテ此制裁ヲ科セリ。

(第四) 調査様式並ニ調査実行及調査結果偏整方法,

現今一般ニ採用セラルル人口調査ハ主トシテ二ツノ別アリ、一ハ之ヲ個人票 Bulletin individuel, Zählkarte ト称シ、他ハ之ヲ世帯票 B. de ménage. Household Schedule, Haushaltungsliste ト云フ。前者ハ前ニ述ヘシ単記票ニシテ一枚ニシテ人一人ニ付テ一枚ヲ宛テ之ニ調査事項ニ対スル答ヲ記入セシム。後者ハ列記票ニシテ一枚ニシテ一ツノ世帯ニ一枚ノ用紙ヲ宛テ之ニ其世帯ニ現在セル人ノ全員ニ対スル答ヲ順序正シク記入セシム。但シ前ニ述ヘシカ如ク現今人口調査ハ世帯ヲ通シテ行ハルルモノナルヲ以テ

用紙ノ記入

調査実行ノ方法

調査区域
ノ調査
ノ配付及回収

独逸、50世帯ノ区ヲ一調査区域トシ、ダスシモ行政地域ガ或ハ地理的地域ニ限ル十分ニ為ス必要ニアリ
東京ニテ、200世帯ヲ一調査区域トセシ点、立ハ世話ノ限ニ亡ル。

我国、調査日ノ三日前ニ配付ヲ始メ、調査日ノ午後ニ回収ヲ始メ僅カニ二日間ニ回収ヲ終ル。

東京先例…一ヶ月位トナリタリ

調査系記事

統計的出版物

結果ノ編整

人口調査ト法令

境界線画ノ一般基本的法令ノ存スル
英仏独……存セス

地域、法規、根本的
三ヶ条「十分ニ一般行フ」
英仏等…堤案ニ過ギ足ラズ。
我国…項目式ニ終ル

人口調査ノ準備スル必要

我国ニ於ケル人口調査
以前ノ戸籍簿

人口ノ増減ニ比シ、世帯数ノ簡単ナル世帯原ヲ割ハテ之ヲ併セ調査セシム場合ト為ル。之等ノ方式ノ採入ハ善良ナル人民自身ヲシテ之ヲ為サシムルノ原則トス。併シ地方庁ヲ採用シ難キ時ハ処ト雇ハレタル調査員ヲシテ人民ニ面会セシメテ其ノ結果ヲ記入セシム。

人口調査ノ実行ニ関シテハ全国ヲ数多ノ調査区域ニ分チ各区域ニ必ス一人ノ有給又ハ無給ノ調査員ヲ置キ之ヲシテ調査方式ノ配付及回収等凡テノ調査ノ直接実行ニ任ズル事。
調査用式ノ配付回収ハ成ルベク之ヲ決定シ期日ヲ定メテ調査ノ正確ニ行ハレル目的ヲ達セン事ヲ要ス。

人口調査ノ結果ノ整理編纂ハ決シテ容易ニアラザルノミナラズ全我邦ノソノママ中央ニ集メ集合シテ之ヲ編整シテ各種ノ統計表ニシ説明的ノ出版物ヲ出スコト諸国ニ於テハ、換言スレバ中央集査、及一般的編整ノ方法ハ行ハレ且ツ理論上ニ言ッテモ適当ナルベキナリ。

以上列挙セル人口調査ノ主ナル点其他一般ノ調査ノ実施編整ニ付テハ各国ニ於テ法令ヲ以テ之ヲ規定ヲ設ク。但シ項目、場面等ニ於テハ先ツ憲法ヲ以テ此調査ニ関スル簡単ナル根本的法規ヲ定メ詳細ノ規定ハ之ヲ他ノ法令ニ於テ命令ヲ以テ定ム。之ニ反シ英仏独等ニ於テハ此種類ノ根本法規存在セズシテ一つ一つノ法令ニ規定ヲ設ク。 或ハ次ノ如キ方ヲ採ル者アリ即人口調査ハ単一回之ヲ実施シテ之ニヨリテ人口ノ全等ヲ調査スルガ如シ其ノ後ハ人口ノ移動ニ関スル統計ハ調査ヲ以テ之ヲ補ハバ可カラン。併シ人口ノ移動ノ調査ハ如何ニ厳密ニ行ッテモ到底重複遺漏ヲ免レズ。故ニ文明諸国ニ於テハ一定ノ時期ニ変更シテ人口調査ヲ行ハン至当ナリト認メラル。我国ニ於テハ既ニ五年ニ調査シ戸籍簿ヲ本ニシテ之ニヨリテ往来人口ニ付テハ大体ノ実ヲ調査スルニ過キザリキ。而シテ戸籍ノ事務ハ内務省ニ属ス、故ニ人口ノ統計ハ亦

昭和二十一年戸籍法

内閣統計局出版「大日本帝国人口動態統計表」.

甲種現住人口 ——本籍人口ヲ基礎トシ之ニ
居留人口ヲ加減セル。一多寡ニ要シ

本籍人口 現住人口 居留

乙種現住人口 ——

明治37年3月統計集協 言博次郎「本邦人口論」

本籍人口ノ不正確ナル。
戸籍ニ付テノ誤ル。(生シタル件)
戸籍ヲ離レルモノ誤ル。(死シタル件)
現住人口ノ不正確ナル。
多数ニ付テ 東京市ノ調ベ
警視庁ノ調ベ. ソノ間ニ五十万人ノ差アリタリ

甲類人口調査 ―杉享二.「甲類人別調べ」

○台湾 38年10月一日
○満洲 40年4月25日
大阪 41.10.1.
神戸 41.11.1
札幌 42.3.1
佐世保 42.12.1
京都 44.11.1

地方人口調査 実例

二十六年 人口調査法律

内閣統計局ハ全国ノ統計ヲ集メテ調査シタリシガ 明治三十一年ニ戸籍法ガ実施セラルルニ至リ戸籍ノ不備ハ不信用ノ結果、人口統計ニ関スル不備ハ免レ内閣統計局ノ所管ニナリ、カクテ明治三十一年以後ハ所謂人口動態ニ関スル統計材料ハ既ニ三十一年ヲ第一回トシテ其以後毎年十二月三十一日ノ数字ヲハ一定ノ様式ニ記入シ各市町村ヨリ道府県庁ヲ経テ内閣統計局ニ送付セラルルコトナリ、内閣統計局ハ此材料ト並ニ別ニ徴収スル人口動態統計ノ材料等ニ基キテ所謂本籍人口及ビ現住人口ヲ算出スルナリ、従テ前ニ述ベシ如キ人口調査ハ昔ハ明治十二年ニ甲類国ニ限リテ行ヒシ以外、更ニ計劃ヲ見サリシガ、我国ノ本籍人口並ニ現住人口共ニ我人口ノ実数ヲ精密ニ表ハサルハ疑フ能ハサル事実ナルカラ、人口調査ノ必要認メラレテ明治二十六年十二月ニ国勢調査ニ関スル法律発布セラルルニ至リ。此法律ニヨル、国勢調査ハ明治三十八年ヲ第一回トシテ之ヲ以後十年毎ニ之ヲ行フ、但シ第二回ニ限リテ第一回ノ翌年ニ第二回ノ翌年ニ之ヲ行フモトセリ。此国勢調査ノ調査ノ範囲ハ第一回ニ於テ既ニ公表セラレタルガ如ク今日迄ニ既ニ知ルヲ得サルモノ多キニ拘ラズ人口調査ヲ完ウシ難キ疑ナシ。シカルニ明治三十八年ニ第一回ノ調査ヲ行フハ日露戦争ノ関係上不可能ニシテ不得策ナルヲ以テ政府ハ法律ヲ改メテ其実施ヲ延期セリ、但シ其実施ノ時期ニ至テ勅令ヲ以テ定ムルモトセリ。故ニ我人ハ何時此種ノ調査ガ我全国ニ亘リテ行ハルルヤヲ確定シ得サルナリ。唯台湾、熊本市、東京市、神戸市、札幌区、佐世保、京都市等ノ地方ニテハ時ヲ異ニシテ各々ソノ地方限リノ調査ヲ実行シテ其効果ヲ上ケ公表セリ。

人口動態調査ノ内容

結婚死亡出生ニ関スル事務ノ發達

寺院

1792 仏蘭西政府ノ管轄ニ入ル
1865 伊D
Russia ハ今日ニ寺院ノ手ニアリ

D家

比較ノ統計編纂方法

1. 地方分査
2. 中央

68

第二類 婚姻出生死亡ニ関スル調査

所謂人口動態調査ハ一方ニハ1.婚姻離婚出生死亡ニ関スル調査ニシテ、他方ニハ2.人口ノ来住往住ニ関スル調査ヲ併セ称スルナリ、ソノ中コヽニハ前者ニ就テ述ヘンモ、唯離婚ノミハ人口統計論ニテハ寧ロ直接統計論ニ属スル故茲ニハ略ス。今既ニノベタル事実ニ就テ見レバ昔ハ結婚及出生死亡ノ三ツハ寺院ノ管轄ニ属シ、D家ハ敢ヘテ干渉ヲ試ミズ、従テ之等ノ事ニ関スル記録ハ寺ノ帳簿ニ残リテ存在セリ、然レドモ凡テ婚姻出生死亡ノ発生並ニ其変遷ノ有様ヲ知ルニハ、D家ニ取リテ甚ダ重要ナルニ十ラズ、モノハ又私人ノ権利ノ得喪ニ大関係アリ、従テ私権ノ保護ヲ任務トスルD家ハ之ヲ怠慢ニ附スル能ハズ、カナ近世ニ到リテD家ノ統合勢達、D家的ノ制度組織整ヒ来ルニ従ヒ従来寺院ノ手ニ委セラレタル之等ノ事ノミニ対シテD家カ干渉ヲ試ムルニ至リ遂ニハ全ク D家ノ手ニ移リテ、寺院ニアル処ハ単ニ儀式ニ過ギザルニ至リ、即チ之等ノ事柄ニ付テノ記録ハ由D家自身ノ調査スル如キ其成果従来ニ比シテ大ニ完備スルニ至リ、カクノ如キ制度ハ現今文明D ニ普通ニ行ハルル処ニシテ、之ニ来合衆D、如キD ニ於テ未タ全D ニ亘リテ統一的ニ比制度ノ設ケラレザルモノハ寧ロ奇怪ニ堪ヘザルナリ。

カクノ如ク婚姻出生死亡ニ就テノ記録ハ既ニD家ノ手ノ帳簿中ニ納メラレアルヲ以テD家ハ此帳簿ヲ利用シテ割合ニ容易ニ之ニ関スル主ナル統計材料ヲ集メ之ヲ編纂整理シテ種々ノ統計表ヲ作ルコトヲ得。カクシテ統計ヲ作ル上ニ於テ地方分査、中央分査、二者何レノ方法ヲ取ルヘキカ、前者ハ例ヘバ仏D ニ於テ行ハレ比較的統計ノ整備ヲ待ツベキモノナルベシ。地方ノ実績ヲシテ又統計ノ編纂ニ主ニ当ラシムル理由ナリ。

比較統計——婚姻死亡出生等

2. 中央集権

a、戸口

b、独、墨

欧回

内閣統計局

統計小票

前者…明治35年より毎年1冊宛（材料、32年分）

後者…明治42年より出版（材料、39年以来より）

出版物

後者ハ中央機関ニ材料ヲ集メ編整セシムル仕組ナリ。但シ英国ノ如キニアリテハ、比較類聚統計ノ事務ハ中央機関ニ於テ同時ニ統計ヲ編整スルニ反シ、独、墨其他多ク行ハルル所ニテハ一般統計ニ関スル中央機関ガ又比較統計ニ付テモ中央機関タルナリ。我国ニ於テハ、明治三十一年戸籍法ノ発布ト共ニ凡テ人口統計ノ事務ガ内閣統計局ノ管掌ニ帰シ、其後引続キ独墨等ニ行ハルル組織ヲ採用セリ。但シ大正三年戸籍法ニ幾分ノ改正ヲ加ヘラレシモ大体ノ仕組ハ少シモ変セズ、即チ我国ニ行ハルル処ニテハ戸籍ノ事務ヲ司ル市町村長ガ婚姻出生死亡ニ関スル報告ヲ調査ヲ遂ゲタル其原本、書類並ニ戸籍簿等ニモリテ隙メ内閣統計局ニ送付シ、統計小票トイフ様式ニ一々記入ス。統計小票ハ一ノ事件ニツキ各一枚ヲ宛ツ之ヲ毎年四度ニ分リマトメテ内閣統計局ニ送ル。内閣統計局ハ此等材料ヲ自ラ編整シテ独逸ノ統計ヲ作リ日本帝国人口動態統計並ニ日本帝国死因統計ノ二種類ノ出版物ヲ公ニス。

合計論
東京帝國大學
統計學教授
高野岩三郎
IWAJIRO TAKANO.
SABU
Iwasaburo Takano.
Iwa.
Iwa.
Iwa
教授
統計學講座
Professor of Tokyo Imperial University.
Statistics
IIIna
Ina
Ina
Ina
Ina
6
1

TRADE MARK